

山梨市国民健康保険
第2期データヘルス計画
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年3月
山梨市

第1章 計画策定の基本方針	
1. 計画策定の背景	1
2. 計画の趣旨	2
3. 計画の位置づけ	3
4. 計画の期間	4
第2章 山梨市の特性分析	
1. 山梨市の特性	6
(1) 基本情報	6
(2) 医療費等の状況	7
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	8
① 特定健康診査	8
② 特定保健指導	10
(4) 介護保険の状況	12
(5) 主たる死因の状況	16
2. 医療情報分析結果	18
(1) 基礎統計	18
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	20
① 高額レセプトの件数及び割合	20
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	22
(3) 疾病別医療費	26
① 大分類による疾病別医療費統計	26
② 中分類による疾病別医療費統計	30
(4) 生活習慣病に係る医療費	40
第3章 第2期データヘルス計画	
1. 計画の基本事項	44
(1) 保健事業の実施方針	44
(2) 実施体制・関係者連携	45
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	46
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	46
① 保健事業への基盤づくり、市民への健康意識の向上	47
② 特定健診	48
③ 特定保健指導事業	49
④ 糖尿病性腎症重症化予防	50
⑤ 高血圧性疾患	51
⑥ 予防歯科の普及	52
⑦ 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	53
3. 保健事業実施に係る分析結果	54
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	54
(2) 特定健康診査に係る分析	55
(3) 特定保健指導に係る分析	57

	(4) 健診異常値放置者に係る分析	59
	(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	61
	(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	63
	(7) 受診行動適正化に係る分析	67
	(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	70
	(9) 薬剤併用禁忌に係る分析	73
	(10) 服薬情報に係る分析	75
	4. 分析結果に基づく健康課題の把握	77
	(1) 分析結果	77
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	81
	5. 保健事業実施計画	82
	(1) 各事業の目的と概要一覧	82
	(2) 各事業の実施内容と評価方法	84
	① 特定健康診査受診勧奨事業	84
	② 特定保健指導事業	87
	③ 糖尿病性腎症重症化予防事業	89
	④ ジェネリック医薬品差額通知事業	91
	⑤ 健診異常値放置者受診勧奨事業	93
	⑥ 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	96
	6. 地域包括ケアに係る取り組み	98
	7. その他	99
	(1) データヘルス計画の見直し	99
	① 評価	99
	② 評価時期	99
	(2) 計画の公表・周知	99
	(3) 個人情報の取り扱い	99
第4章	第3期特定健康診査等実施計画	
	1. 計画の基本事項	101
	(1) 特定健康診査及び特定健康指導	101
	(2) 生活習慣病予防の意義	101
	(3) メタボリックシンドローム(内臓脂肪型症候群)への着目	101
	2. 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況	103
	(1) 特定健康診査の受診率	103
	(2) 特定保健指導の実施率	104
	3. 特定健康診査及び特定保健指導に係る主な取り組み	107
	4. 特定健康診査及び特定保健指導に係る分析結果	108
	(1) 特定健康診査結果の分析	108
	① 有所見者割合	108
	② 質問別回答状況	111
	③ 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	114

	(2) 特定保健指導の効果分析	115
	(3) 特定保健指導対象者の分析	117
	①保健指導レベル該当状況	117
	②特定保健指導リスク因子別該当状況	120
	③特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較	122
	5. 特定健康診査及び特定保健指導実施状況に基づく課題と対策	123
	6. 特定健康診査等実施計画	124
	(1) 目標	124
	(2) 対象者数推計	124
	①特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み	124
	②特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み	125
	(3) 実施方法	126
	①特定健康診査の実施方法	126
	②特定保健指導の実施方法	127
	(4) 実施スケジュール	129
	7. その他	130
	(1) 個人情報の保護	130
	①個人情報保護関係規定の遵守	130
	②データの管理	130
	(2) 特定健康診査等実施計画の公表及び周知	130
	(3) 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	130
	①評価	130
	②計画の見直し	130
	(4) 事業運営上の留意事項	130
	①各種検(健)診等との連携	130
	②健康づくり事業との連携	130
巻末資料		
	1. 地区分析	
	(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 年度別 特定健康診査結果分析	
	(1) 有所見者割合	
	(2) 質問別回答状況	
	①喫煙習慣	
	②運動習慣	
	③食習慣	
	④飲酒習慣	
	⑤生活習慣	
	3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	4. 用語解説集	
	5. 疾病分類	

第1章 計画策定の基本方針

1. 計画策定の背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。これを踏まえ、厚生労働省は、平成26年3月に「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部を改正する等により、市区町村国保においても健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施・評価・改善等を行うこととなった。

データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる対象者を明確にし、優先順位をつけて行うこととなった。

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

2. 計画の趣旨

本市では、平成20年4月から施行された「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、第1期山梨市特定健康診査等実施計画を策定し、特定健康診査等及び特定保健指導を開始した。平成25年3月には、5ヵ年計画の第2期山梨市特定健康診査等実施計画を策定し、被保険者の生活習慣病の早期発見及び予防による健康保持増進及び生活の質の向上を図り、ひいては、中長期的な医療費の伸びの適正化に取り組んできた。

さらに、本市の被保険者の健康状態や疾病構成、医療費の現状の把握及び健康課題を明確化し、その課題に対してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施するための山梨市国民健康保険保健事業実施計画(第1期データヘルス計画)を策定した。このことにより、特定健康診査及び特定保健指導のみならず、ターゲットを絞った保健事業の展開や生活習慣病の重症化予防の取り組みまで網羅的に保健事業を実施してきた。

これらの第2期山梨市特定健康診査等実施計画及び山梨市国民健康保険保健事業実施計画(第1期データヘルス計画)の計画期間が満了となることから、両計画の最終評価を行うとともに新たな実施計画を策定し、被保険者の健康保持増進を図る。策定にあたっては、保健事業の核となる特定健康診査及び特定保健指導の実施計画である「第3期特定健康診査等実施計画」を「第2期データヘルス計画」の一部として位置づけ、一体的に策定することとした。

3. 計画の位置づけ

本計画は、第2次山梨市まちづくり総合計画及び第3次山梨市健康増進計画を上位計画として、国の健康日本21(第2次)や県の健やか山梨21(第2次)と整合性を図るものとして策定する。

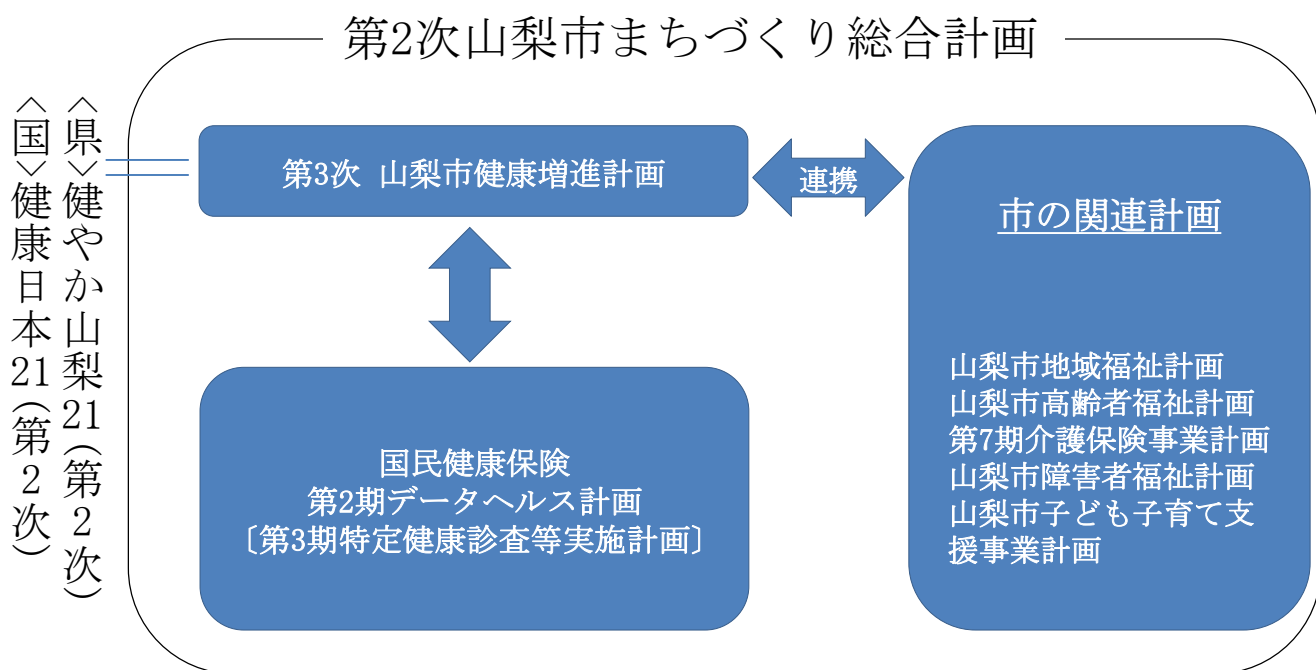
また、市の関連計画との連携を図りながら山梨市地域包括ケアシステムの取り組みの一助となることを念頭に置きながら、被保険者の健康増進を推進する。

【データヘルス計画】

根拠指針：「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」

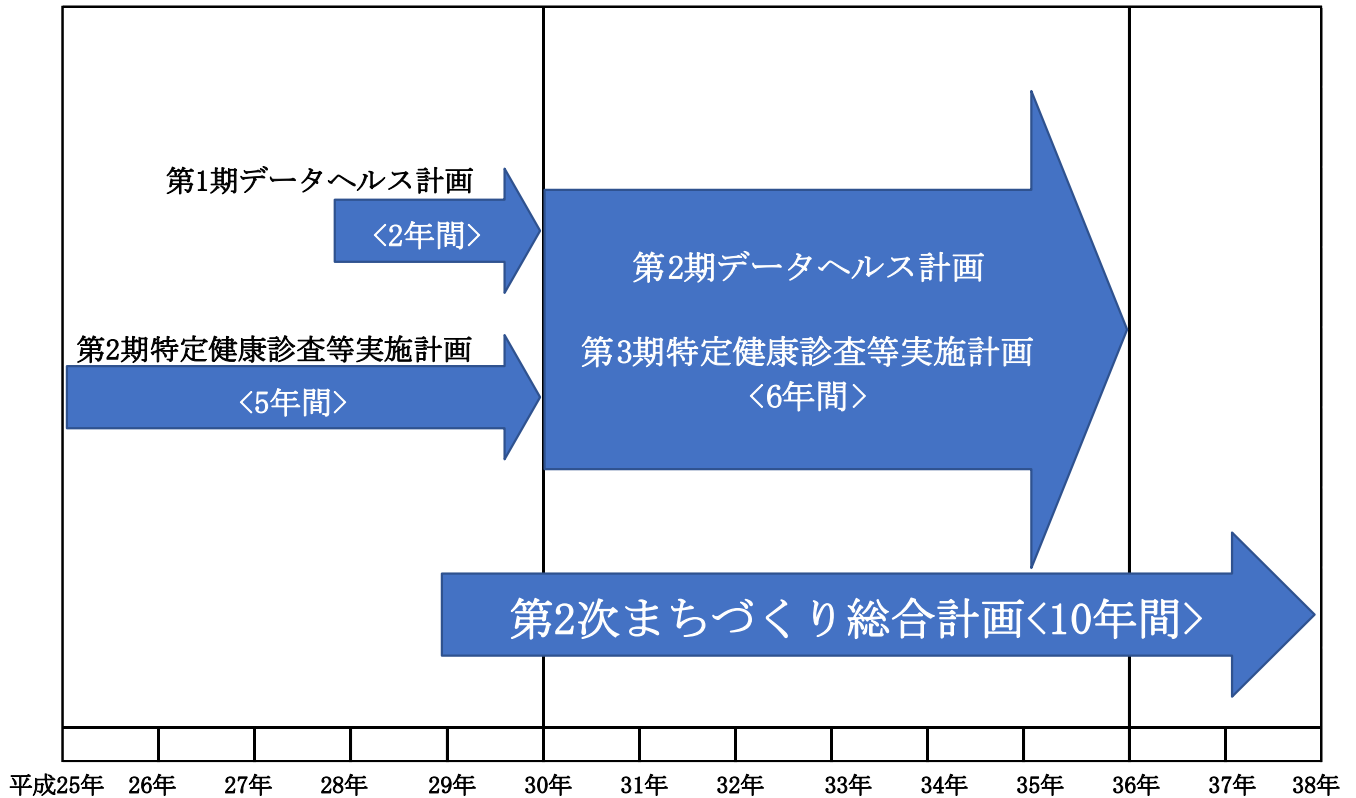
【特定健康診査等実施計画】

根拠法令：「高齢者の医療の確保に関する法律」



4. 計画の期間

本計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、高齢者の医療の確保に関する法律第19条の規定に基づき、平成30年度から平成35年度の6年間とする。



第2章 山梨市の特性分析

1. 山梨市の特性

(1) 基本情報

本市の高齢化率(65歳以上)は31.5%であり、県との比較で約1.1倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は10,150人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は27.8%である。国民健康保険被保険者平均年齢は52.1歳である。

人口構成概要

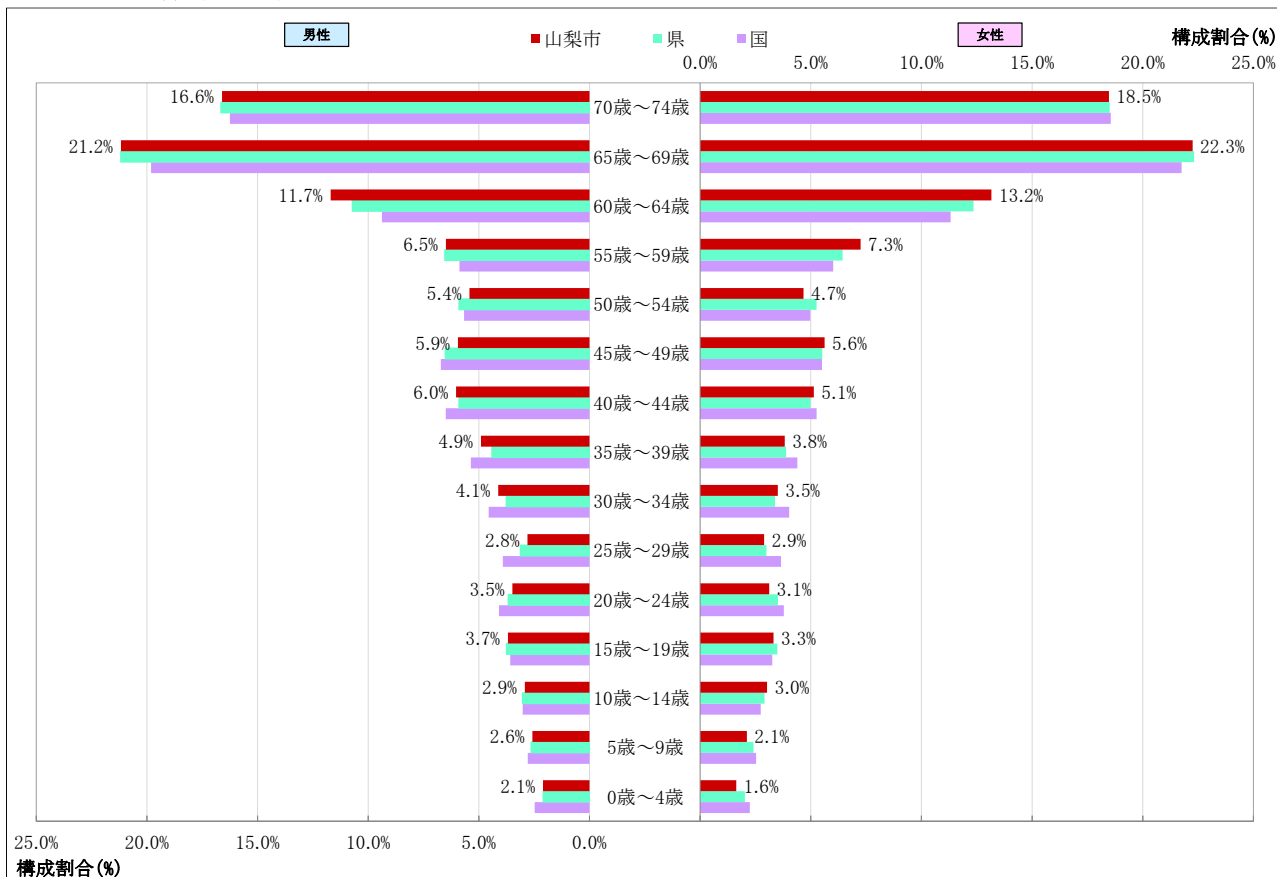
区分	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
山梨市	35,739	31.5%	10,150	27.8%	52.1	5.7%	13.4%
県	839,750	28.8%	221,467	26.2%	51.7	7.1%	11.7%
国	126,760,784	27.5%	32,587,866	26.9%	50.7	7.8%	10.5%

※高齢化率(平成29年4月1日現在) 国保被保険者数(平成29年3月31日現在)

※「県」は山梨県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」、人口推計、人口動態総覧
住民基本台帳、保健統計、高齢者基礎調査

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	山梨市	県	国
千人当たり			
病院数	0.4	0.3	0.3
診療所数	2.5	3.1	3.0
病床数	107.6	49.8	46.8
医師数	12.0	8.7	9.2
外来患者数	634.0	660.1	668.1
入院患者数	21.4	18.6	18.2
受診率	655.5	678.6	686.3
一件当たり医療費(円)	38,400	35,850	35,330
一般(円)	38,540	35,880	35,270
退職(円)	34,170	34,910	37,860
後期(円)	0	0	0
外来			
外来費用の割合	60.0%	61.0%	60.1%
外来受診率	634.0	660.1	668.1
一件当たり医療費(円)	23,810	22,490	21,820
一人当たり医療費(円)	15,100	14,840	14,580
一日当たり医療費(円)	15,010	14,590	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.6
入院			
入院費用の割合	40.0%	39.0%	39.9%
入院率	21.4	18.6	18.2
一件当たり医療費(円)	469,850	510,540	531,780
一人当たり医療費(円)	10,070	9,490	9,670
一日当たり医療費(円)	26,190	31,350	34,030
一件当たり在院日数	17.9	16.3	15.6

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

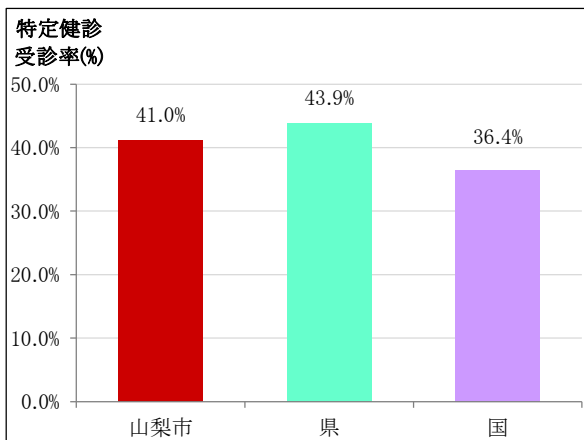
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

区分	特定健診受診率
山梨市	41.0%
県	43.9%
国	36.4%

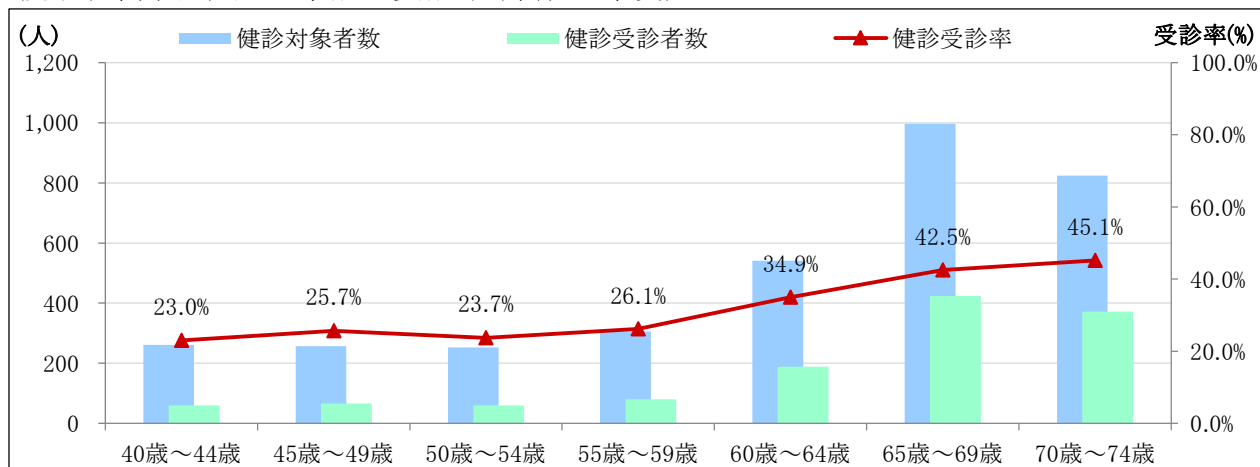
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成28年度)



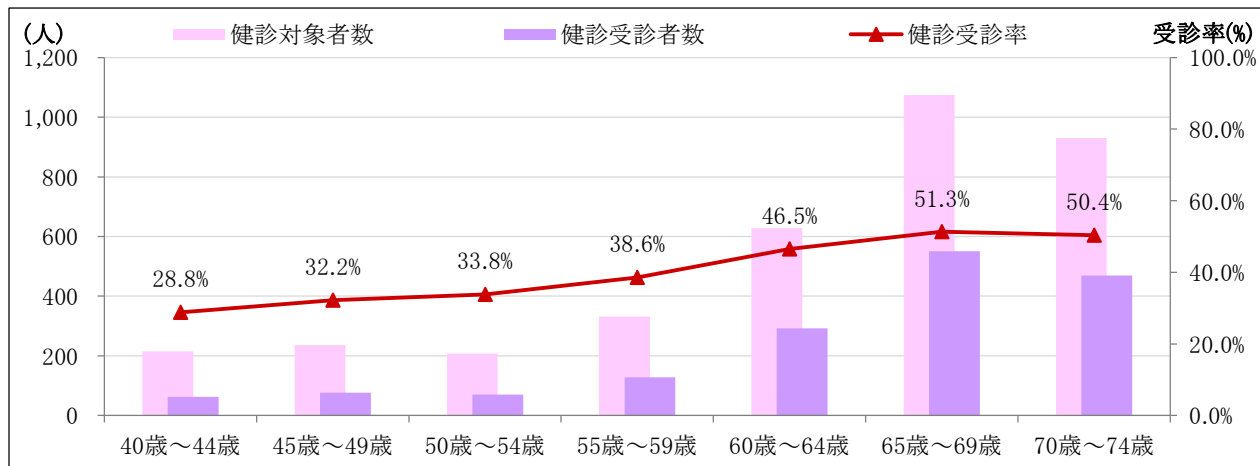
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

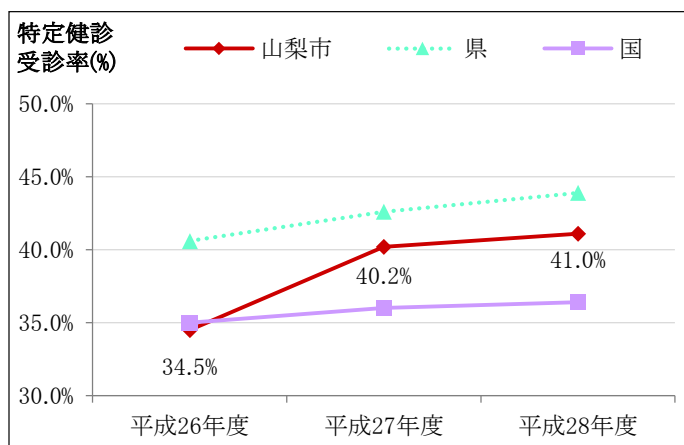
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率41.0%は平成26年度34.5%より6.5ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

区分	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
山梨市	34.5%	40.2%	41.0%
県	40.6%	42.6%	43.9%
国	35.0%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

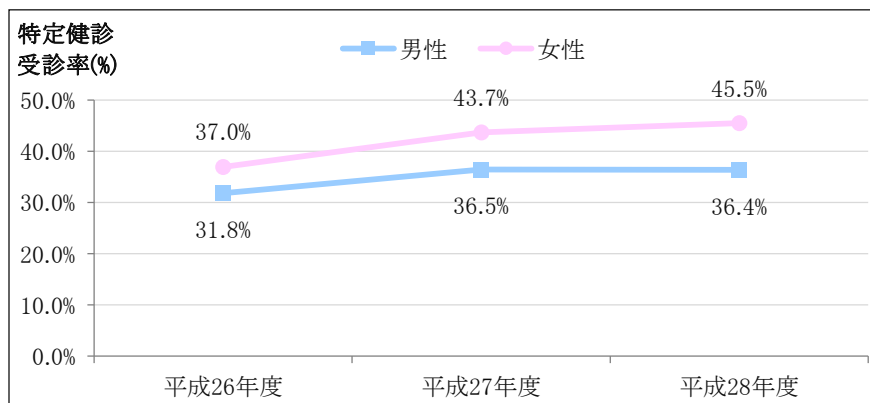
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率36.4%は平成26年度31.8%から4.6ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率45.5%は平成26年度37.0%より8.5ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

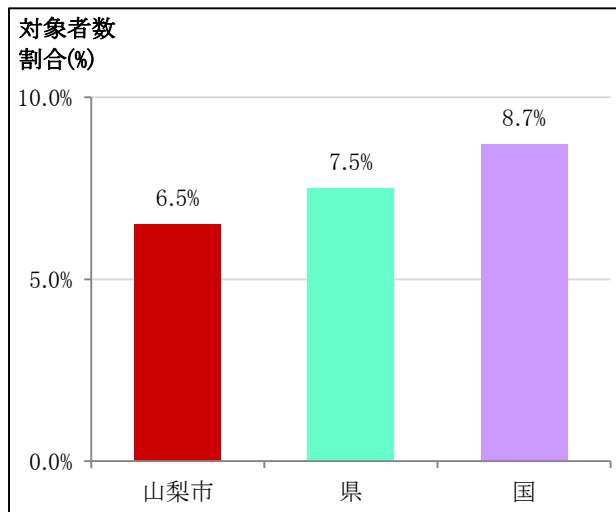
特定保健指導実施状況(平成28年度)

区分	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
山梨市	6.5%	2.7%	9.2%	18.0%
県	7.5%	3.2%	10.7%	45.6%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

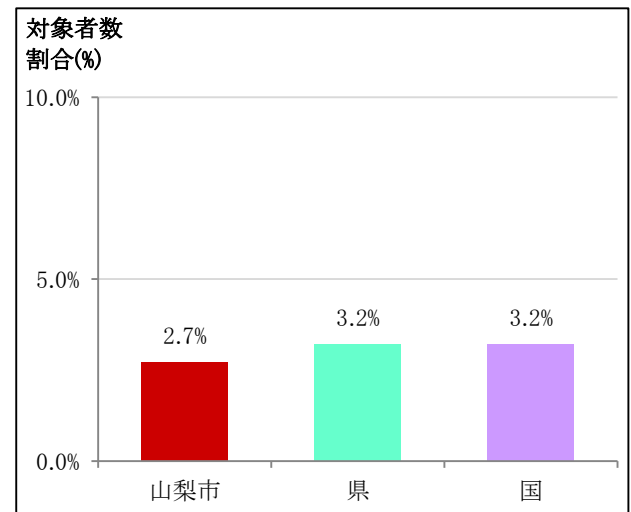
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



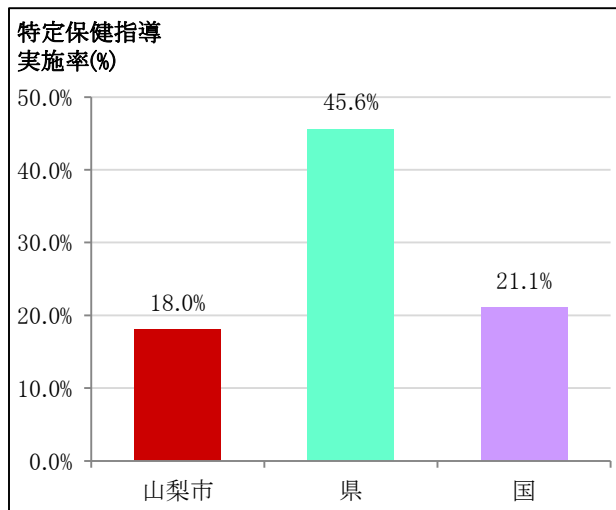
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率18.0%は平成26年度24.7%より6.7ポイント低下している。

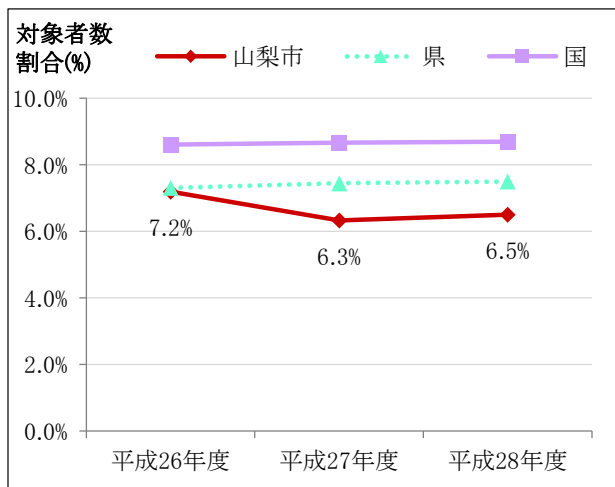
年度別 特定保健指導実施状況

区分	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
山梨市	7.2%	6.3%	6.5%	2.6%	3.0%	2.7%	9.8%	9.4%	9.2%	24.7%	20.8%	18.0%
県	7.3%	7.4%	7.5%	3.2%	3.3%	3.2%	10.5%	10.7%	10.7%	46.9%	44.9%	45.6%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

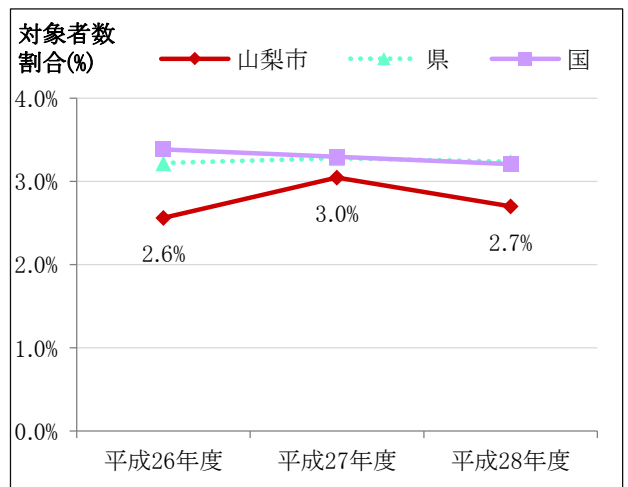
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



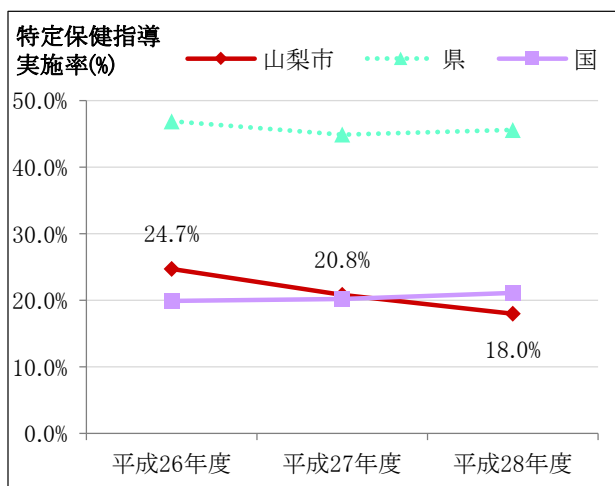
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

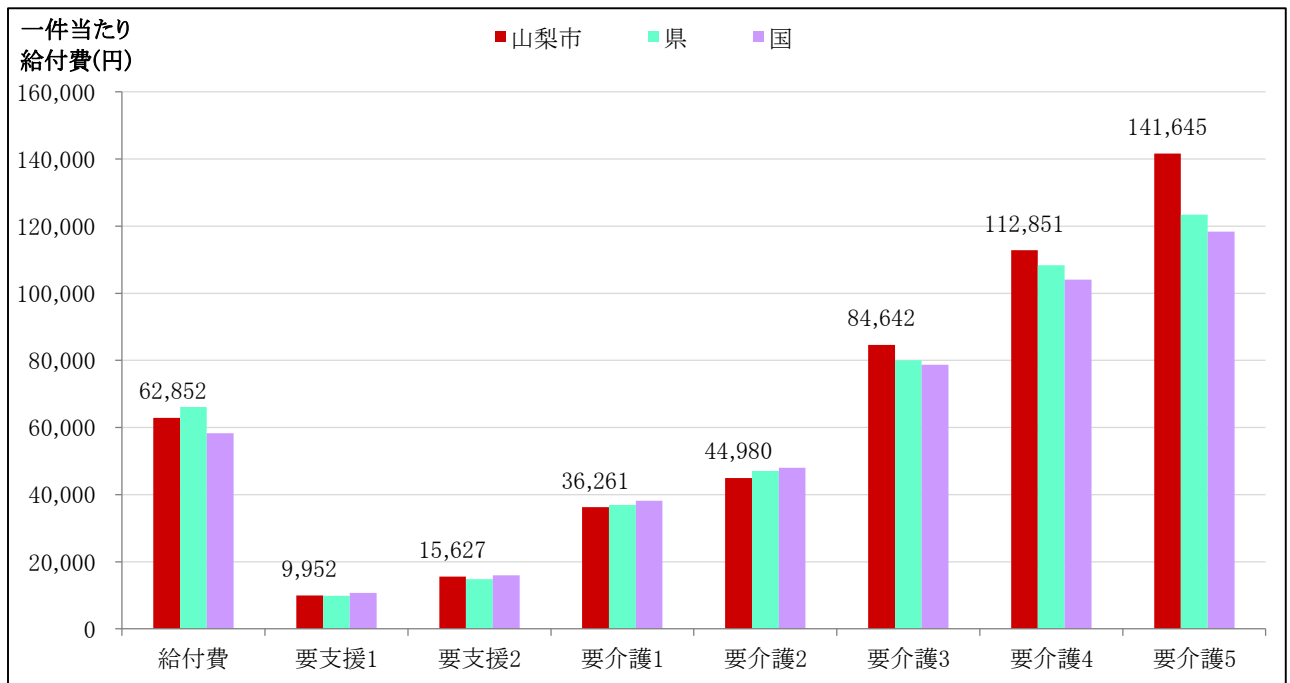
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	山梨市	県	国
認定率	19.5%	17.9%	21.2%
認定者数(人)	2,018	38,702	6,037,083
第1号(65歳以上)	1,984	37,888	5,885,270
第2号(40～64歳)	34	814	151,813
一件当たり給付費(円)			
給付費	62,852	66,103	58,284
要支援1	9,952	9,907	10,735
要支援2	15,627	14,802	15,996
要介護1	36,261	36,939	38,163
要介護2	44,980	47,079	48,013
要介護3	84,642	80,058	78,693
要介護4	112,851	108,312	104,104
要介護5	141,645	123,374	118,361

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

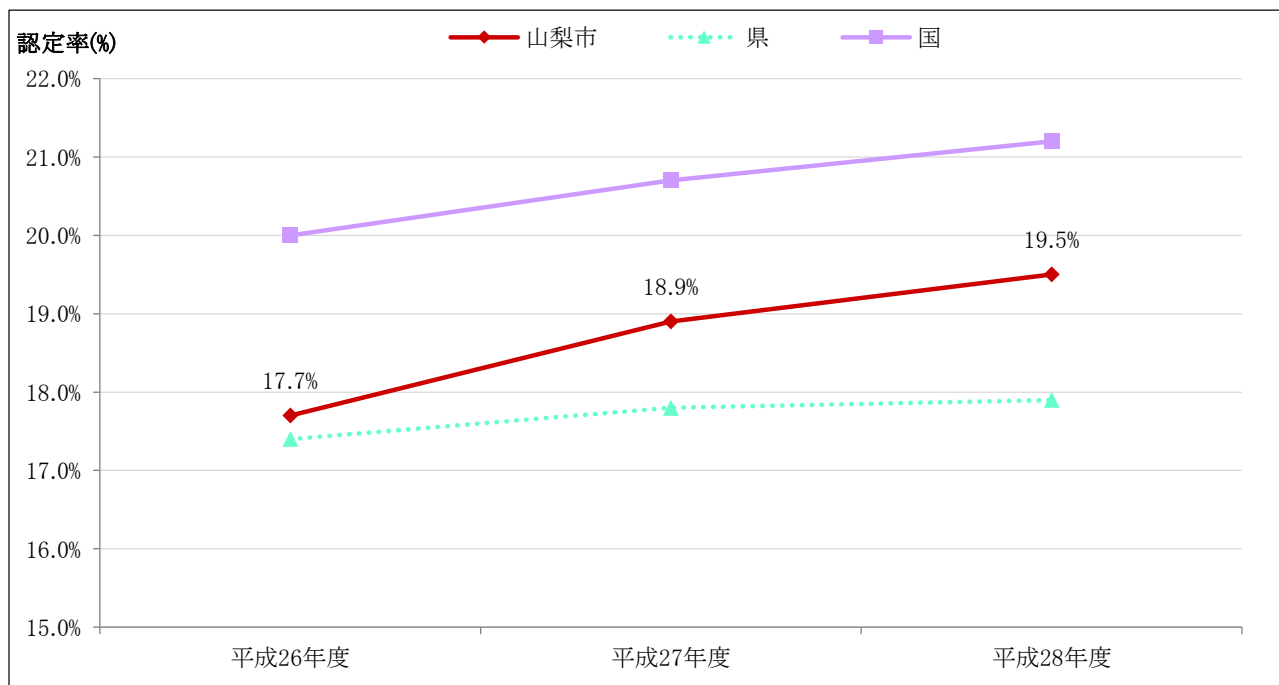
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率19.5%は平成26年度17.7%より1.8ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数2,018人は平成26年度1,893人より125人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
山梨市	平成26年度	17.7%	1,893	1,853	40
	平成27年度	18.9%	1,987	1,948	39
	平成28年度	19.5%	2,018	1,984	34
県	平成26年度	17.4%	38,062	37,174	888
	平成27年度	17.8%	38,334	37,483	851
	平成28年度	17.9%	38,702	37,888	814
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると6,166人となり、認定者は平均3.1疾病を有していることがわかる。

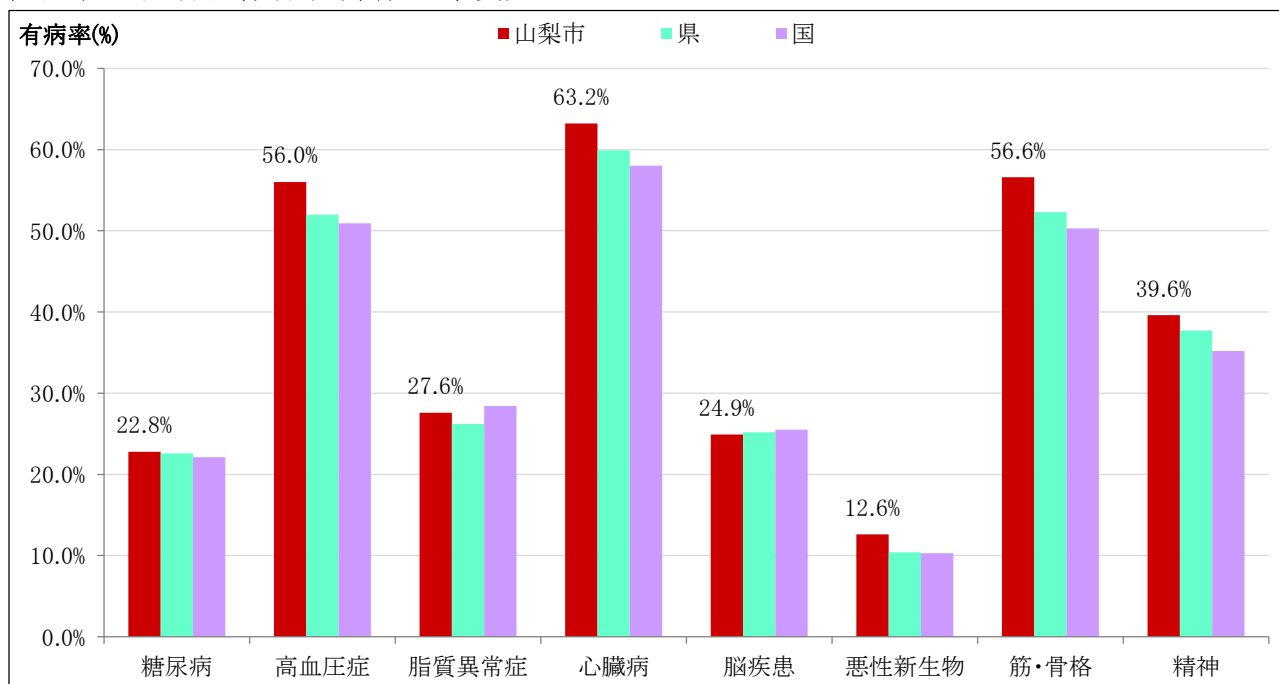
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	山梨市	順位	県	順位	国	順位
認定者数(人)	2,018		38,702		6,037,083	
糖尿病	実人数(人)	465	8,842	7	1,350,152	7
	有病率	22.8%	22.6%	7	22.1%	7
高血圧症	実人数(人)	1,127	20,405	3	3,101,200	2
	有病率	56.0%	52.0%	3	50.9%	2
脂質異常症	実人数(人)	570	10,249	5	1,741,866	5
	有病率	27.6%	26.2%	5	28.4%	5
心臓病	実人数(人)	1,276	23,489	1	3,529,682	1
	有病率	63.2%	59.9%	1	58.0%	1
脳疾患	実人数(人)	493	9,765	6	1,538,683	6
	有病率	24.9%	25.2%	6	25.5%	6
悪性新生物	実人数(人)	265	4,195	8	631,950	8
	有病率	12.6%	10.4%	8	10.3%	8
筋・骨格	実人数(人)	1,134	20,466	2	3,067,196	3
	有病率	56.6%	52.3%	2	50.3%	3
精神	実人数(人)	836	14,831	4	2,154,214	4
	有病率	39.6%	37.7%	4	35.2%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数3.1疾病は平成26年度3.0疾病より増加している。

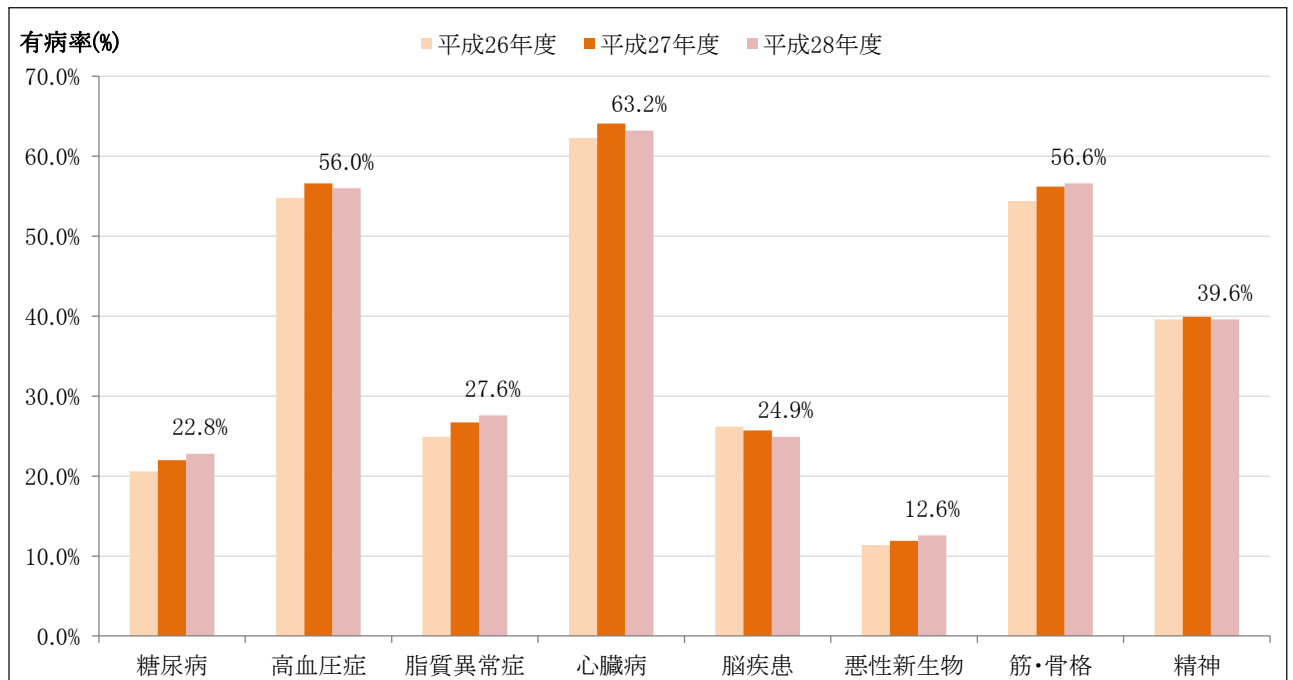
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	山梨市				県			国					
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	1,893		1,987		2,018		38,062	38,334	38,702	5,324,880	5,751,982	6,037,083	
糖尿病	実人数(人)	406	7	457	7	465	7	8,479	8,739	8,842	1,089,285	1,241,024	1,350,152
	有病率(%)	20.6%		22.0%		22.8%		21.9%	22.3%	22.6%	20.3%	21.4%	22.1%
高血圧症	実人数(人)	1,073	2	1,152	2	1,127	3	19,959	20,252	20,405	2,551,660	2,865,466	3,101,200
	有病率(%)	54.8%		56.6%		56.0%		51.5%	52.2%	52.0%	47.9%	49.7%	50.9%
脂質異常症	実人数(人)	489	5	554	5	570	5	9,689	10,094	10,249	1,386,541	1,586,963	1,741,866
	有病率(%)	24.9%		26.7%		27.6%		24.7%	25.7%	26.2%	25.7%	27.3%	28.4%
心臓病	実人数(人)	1,216	1	1,293	1	1,276	1	22,881	23,253	23,489	2,914,608	3,261,576	3,529,682
	有病率(%)	62.3%		64.1%		63.2%		59.1%	59.9%	59.9%	54.8%	56.7%	58.0%
脳疾患	実人数(人)	483	6	505	6	493	6	9,928	9,842	9,765	1,324,669	1,455,985	1,538,683
	有病率(%)	26.2%		25.7%		24.9%		26.0%	25.7%	25.2%	25.2%	25.4%	25.5%
悪性新生物	実人数(人)	225	8	249	8	265	8	3,805	4,022	4,195	493,808	569,967	631,950
	有病率(%)	11.4%		11.9%		12.6%		9.8%	10.2%	10.4%	9.2%	9.8%	10.3%
筋・骨格	実人数(人)	1,052	3	1,143	3	1,134	2	19,739	20,258	20,466	2,505,146	2,813,795	3,067,196
	有病率(%)	54.4%		56.2%		56.6%		51.2%	52.0%	52.3%	47.1%	48.9%	50.3%
精神	実人数(人)	746	4	793	4	836	4	14,119	14,575	14,831	1,720,172	1,963,213	2,154,214
	有病率(%)	39.6%		39.9%		39.6%		36.1%	37.3%	37.7%	32.2%	33.8%	35.2%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

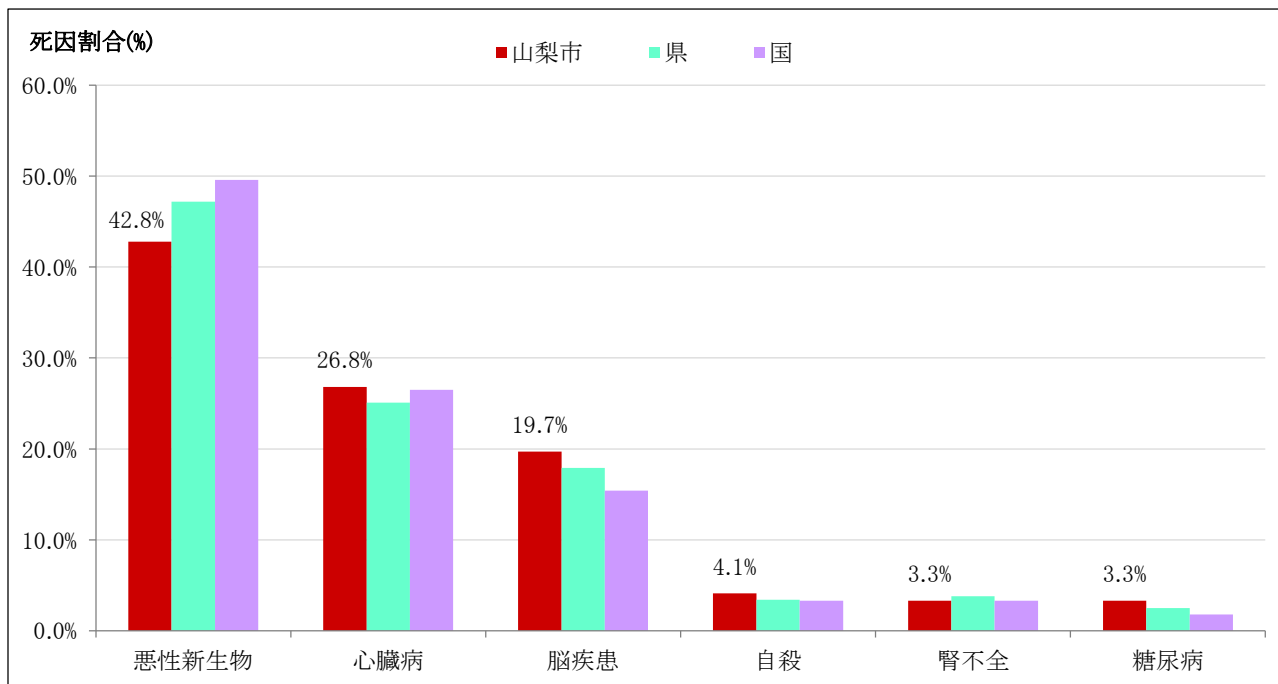
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	山梨市		県	国
	人数(人)	割合(%)		
悪性新生物	115	42.8%	47.2%	49.6%
心臓病	72	26.8%	25.1%	26.5%
脳疾患	53	19.7%	17.9%	15.4%
自殺	11	4.1%	3.4%	3.3%
腎不全	9	3.3%	3.8%	3.3%
糖尿病	9	3.3%	2.5%	1.8%
合計	269			

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

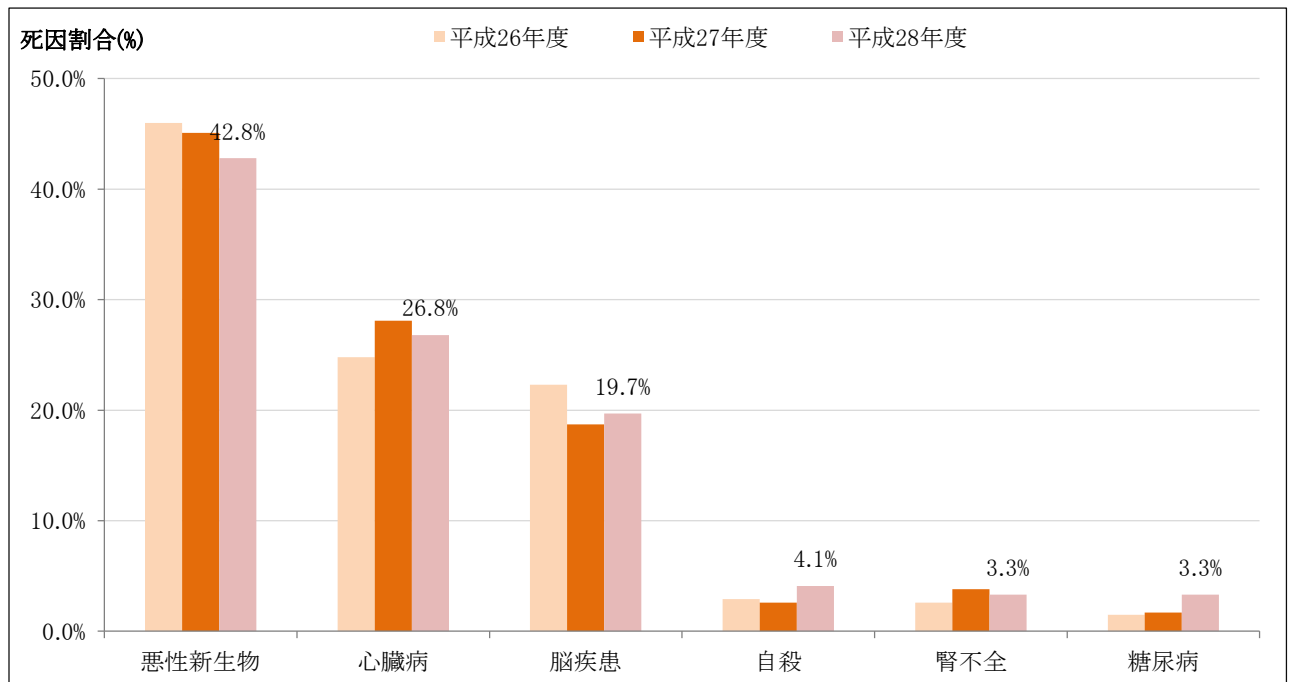
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数115人は平成26年度126人より11人減少しており、心臓病を死因とする人数72人は平成26年度68人より4人増加している。また、脳疾患を死因とする人数53人は平成26年度61人より8人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	山梨市						県			国		
	人数(人)			割合(%)			平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度						
悪性新生物	126	106	115	46.0%	45.1%	42.8%	47.4%	47.5%	47.2%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	68	66	72	24.8%	28.1%	26.8%	26.4%	24.3%	25.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	61	44	53	22.3%	18.7%	19.7%	17.9%	18.9%	17.9%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	8	6	11	2.9%	2.6%	4.1%	3.4%	3.7%	3.4%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	7	9	9	2.6%	3.8%	3.3%	2.9%	3.3%	3.8%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	4	4	9	1.5%	1.7%	3.3%	2.0%	2.4%	2.5%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	274	235	269									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、山梨市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均9,847人、レセプト件数は平均11,809件、患者数は平均5,064人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均52,004円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	10,113	9,946	9,927	9,926	9,878	9,837	9,861	
B	レセプト件数(件)	入院外	7,000	6,562	6,601	6,423	6,389	6,347	6,669
		入院	208	212	220	215	222	225	232
		調剤	5,301	4,936	4,883	4,805	4,740	4,771	5,022
		合計	12,509	11,710	11,704	11,443	11,351	11,343	11,923
C	医療費(円) ※	254,303,110	247,044,970	260,729,910	255,439,200	264,192,600	255,599,380	282,570,060	
D	患者数(人) ※	5,330	5,032	5,038	4,951	4,961	4,902	5,096	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,146	24,839	26,265	25,734	26,746	25,983	28,655	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,330	21,097	22,277	22,323	23,275	22,534	23,700	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	47,712	49,095	51,753	51,593	53,254	52,142	55,449	
B/A	受診率(%)	123.7%	117.7%	117.9%	115.3%	114.9%	115.3%	120.9%	
D/A	有病率(%)	52.7%	50.6%	50.8%	49.9%	50.2%	49.8%	51.7%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	9,767	9,749	9,747	9,710	9,699	9,847		
B	レセプト件数(件)	入院外	6,519	6,850	6,529	6,577	6,971	6,620	79,437
		入院	223	218	237	238	235	224	2,685
		調剤	4,875	5,192	4,893	4,943	5,227	4,966	59,588
		合計	11,617	12,260	11,659	11,758	12,433	11,809	141,710
C	医療費(円) ※	252,847,860	271,928,000	269,619,390	266,611,920	279,122,010	263,334,034	3,160,008,410	
D	患者数(人) ※	4,965	5,187	4,983	5,087	5,233	5,064	60,765	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,888	27,893	27,662	27,457	28,778	26,743		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,765	22,180	23,125	22,675	22,450	22,299		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	50,926	52,425	54,108	52,410	53,339	52,004		
B/A	受診率(%)	118.9%	125.8%	119.6%	121.1%	128.2%	119.9%		
D/A	有病率(%)	50.8%	53.2%	51.1%	52.4%	54.0%	51.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数9,847人は、平成26年度10,178人より331人減少しており、医療費31億6,001万円は平成26年度32億3,086万円より7,085万円減少している。また、一カ月平均の患者数5,064人は、平成26年度5,326人より262人減少している。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	10,178	10,026	9,847	
B	レセプト件数(件)	入院外	82,443	81,082	79,437
		入院	2,936	2,915	2,685
		調剤	61,110	60,061	59,588
		合計	146,489	144,058	141,710
C	医療費(円) ※	3,230,862,860	3,306,242,700	3,160,008,410	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	5,326	5,234	5,064	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	317,441	329,756	320,922	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,055	22,951	22,299	
D/A	有病率(%)	52.3%	52.2%	51.4%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

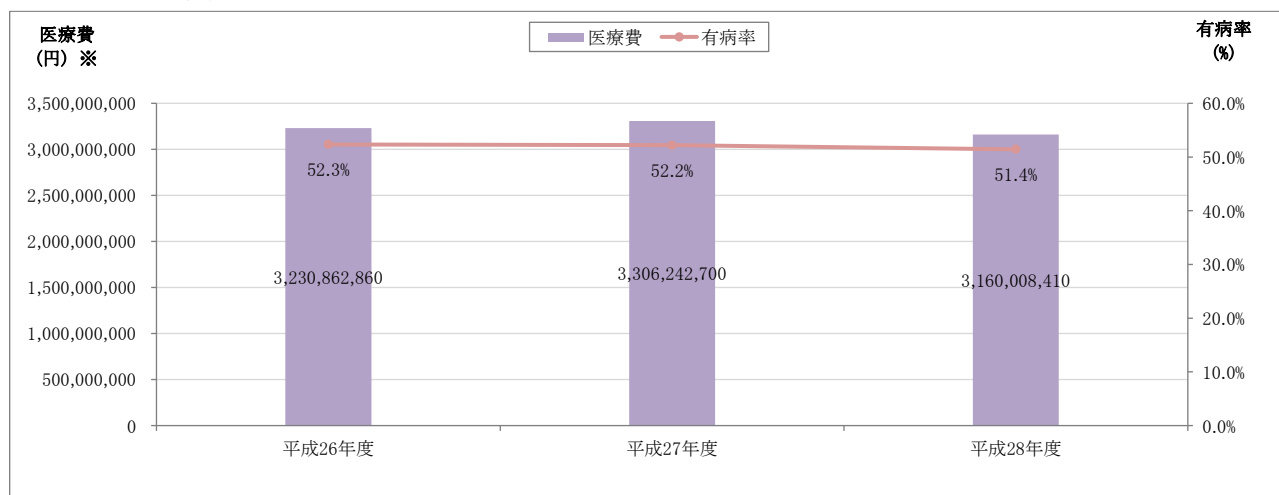
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局を受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局を受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局を受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは880件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は8億4,545万円となり、医療費全体の26.8%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	12,509	11,710	11,704	11,443	11,351	11,343	11,923
B	高額レセプト件数(件)	56	67	64	80	74	75	87
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.4%	0.6%	0.5%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
C	医療費(円) ※	254,303,110	247,044,970	260,729,910	255,439,200	264,192,600	255,599,380	282,570,060
D	高額レセプトの医療費(円) ※	49,947,370	59,812,040	67,116,860	70,194,200	73,714,130	65,445,950	85,308,320
E	その他レセプトの医療費(円) ※	204,355,740	187,232,930	193,613,050	185,245,000	190,478,470	190,153,430	197,261,740
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	19.6%	24.2%	25.7%	27.5%	27.9%	25.6%	30.2%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	11,617	12,260	11,659	11,758	12,433	11,809	141,710
B	高額レセプト件数(件)	67	76	87	70	77	73	880
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	
C	医療費(円) ※	252,847,860	271,928,000	269,619,390	266,611,920	279,122,010	263,334,034	3,160,008,410
D	高額レセプトの医療費(円) ※	58,322,290	76,778,810	83,151,130	77,609,650	78,053,750	70,454,542	845,454,500
E	その他レセプトの医療費(円) ※	194,525,570	195,149,190	186,468,260	189,002,270	201,068,260	192,879,493	2,314,553,910
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	23.1%	28.2%	30.8%	29.1%	28.0%	26.8%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数880件は平成26年度799件より81件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費8億4,545万円は平成26年度7億9,102万円より5,443万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	146,489	144,058	141,710
B	高額レセプト件数(件)	799	883	880
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	3,230,862,860	3,306,242,700	3,160,008,410
D	高額レセプトの医療費(円) ※	791,022,780	880,424,500	845,454,500
E	その他レセプトの医療費(円) ※	2,439,840,080	2,425,818,200	2,314,553,910
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	24.5%	26.6%	26.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

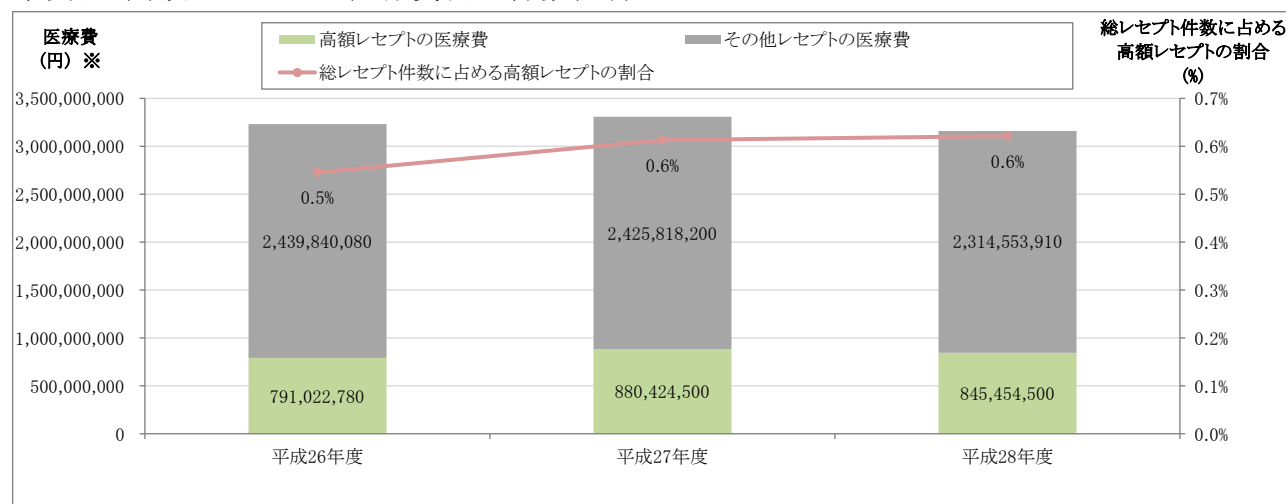
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「白血病」「その他の周産期に発生した病態」「真菌症」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0209	白血病	急性骨髄性白血病	2	16,449,050	789,320	17,238,370	8,619,185
2	1602	その他の周産期に発生した病態	新生児呼吸障害	1	5,946,410	1,029,600	6,976,010	6,976,010
3	0107	真菌症	真菌症	1	3,868,810	2,503,770	6,372,580	6,372,580
4	1404	その他の腎尿路系の疾患	神経因性膀胱	1	6,369,910	0	6,369,910	6,369,910
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	8	17,686,900	30,143,700	47,830,600	5,978,825
6	1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	2	10,093,650	747,230	10,840,880	5,420,440
7	0501	血管性及び詳細不明の認知症	血管性認知症	1	4,955,060	368,020	5,323,080	5,323,080
8	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	血友病B, 播種性血管内凝固	2	9,785,830	768,260	10,554,090	5,277,045
9	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	嚥下障害, 失語症	2	10,442,630	102,550	10,545,180	5,272,590
10	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	胃瘻造設状態	1	4,862,010	0	4,862,010	4,862,010
11	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	ALアミロイドーシス, 先端巨大症, 腎アミロイドーシス	3	11,593,490	2,629,500	14,222,990	4,740,997
12	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	四肢麻痺, 四肢不全麻痺, 片麻痺	3	12,990,960	323,850	13,314,810	4,438,270
13	0905	脳内出血	脳出血後遺症, 視床出血, 脳出血	6	24,872,250	450,920	25,323,170	4,220,528
14	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	うつ病, 躁うつ病, 精神病症状を伴う重症うつ病エピソード	3	11,862,160	704,730	12,566,890	4,188,963
15	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想型統合失調症	5	19,484,240	1,209,790	20,694,030	4,138,806
16	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	13	7,944,650	45,055,200	52,999,850	4,076,912
17	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, B細胞リンパ腫	2	2,608,160	5,540,440	8,148,600	4,074,300
18	0904	くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	3	11,144,690	143,510	11,288,200	3,762,733
19	1004	肺炎	肺炎	4	11,451,260	2,795,420	14,246,680	3,561,670
20	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ, 関節リウマチ・手関節	5	14,091,360	3,487,890	17,579,250	3,515,850

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※	
平成26年度	1	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	1	16,993,100
	2	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	9	5,723,446
	3	0904	くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, くも膜下出血	2	5,238,270
	4	1307	その他の脊柱障害	変性側弯症, 腰椎分離すべり症	2	4,791,030
	5	0106	その他のウイルス性疾患	サイトメガロウイルス性肝炎	1	4,737,840
平成27年度	1	0904	くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, くも膜下出血	2	11,926,940
	2	0507	その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害	1	8,294,830
	3	0601	パーキンソン病	パーキンソン病	2	7,814,980
	4	0209	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄単球性白血病	4	6,665,113
	5	0606	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, デュシェンヌ型筋ジストロフィー, ミオクロームス	3	6,550,293
平成28年度	1	0209	白血病	急性骨髄性白血病	2	8,619,185
	2	1602	その他の周産期に発生した病態	新生児呼吸障害	1	6,976,010
	3	0107	真菌症	真菌症	1	6,372,580
	4	1404	その他の腎尿路系の疾患	神経因性膀胱	1	6,369,910
	5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	8	5,978,825

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の損傷及びその他の外因の影響」「その他の心疾患」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	腎細胞癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	35	66,772,120	49,275,090	116,047,210	3,315,635
2	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	半月板損傷, 脊椎損傷, 肩腱板断裂	25	38,088,370	6,490,370	44,578,740	1,783,150
3	0903	その他の心疾患	非弁膜症性発作性心房細動, 非弁膜症性心房細動, 心房粗動	19	46,518,670	13,561,470	60,080,140	3,162,113
3	1113	その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 潰瘍性大腸炎・全大腸炎型, 小腸大腸クローン病	19	30,887,910	15,972,130	46,860,040	2,466,318
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 腰椎破裂骨折	19	37,665,780	6,770,960	44,436,740	2,338,776
6	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 原発性膝関節症	18	40,320,180	7,539,990	47,860,170	2,658,898
6	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症	18	35,148,380	7,273,850	42,422,230	2,356,791
8	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房下外側部乳癌	16	21,173,240	21,035,620	42,208,860	2,638,054
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	14	19,953,790	24,075,080	44,028,870	3,144,919
10	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	13	7,944,650	45,055,200	52,999,850	4,076,912
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 裂孔原性網膜剥離, 牽引性網膜剥離	13	10,160,610	3,949,770	14,110,380	1,085,414
12	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 盲腸癌, 横行結腸癌	12	27,184,320	7,809,720	34,994,040	2,916,170
13	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 髄膜腫, キヤッスルマン病	11	15,710,440	7,706,250	23,416,690	2,128,790
13	0606	その他の神経系の疾患	肘部管症候群, デュシェンヌ型筋ジストロフィー, 胸腺摘出後重症筋無力症	11	31,671,320	2,786,680	34,458,000	3,132,545
13	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞, 急性前壁心筋梗塞	11	23,396,930	4,781,360	28,178,290	2,561,663
13	0906	脳梗塞	脳梗塞, 血栓性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期	11	20,048,040	2,854,520	22,902,560	2,082,051
17	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃前庭部癌	9	9,697,050	5,197,800	14,894,850	1,654,983
18	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	8	14,435,510	12,146,720	26,582,230	3,322,779
18	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	8	17,686,900	30,143,700	47,830,600	5,978,825
20	0402	糖尿病	糖尿病, 2型糖尿病性腎不全, 増殖性糖尿病性網膜症	7	14,117,440	7,074,810	21,192,250	3,027,464

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膵頭部癌	45	2,954,717
	2	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 頸部脊柱管狭窄症	31	2,351,388
	3	0903 その他の心疾患	発作性心房細動, うっ血性心不全, 心房細動	29	3,426,838
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 膝蓋骨骨折, 骨折	29	2,840,988
	5	1113 その他の消化器系の疾患	単径ヘルニア, クロウン病, 潰瘍性大腸炎	15	2,467,213
	5	1302 関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 一側性原発性股関節症	15	2,864,290
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 乳癌骨転移	48	2,787,302
	2	1901 骨折	骨折, 踵骨骨折, 脛骨骨折	28	2,158,437
	3	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	内側半月板損傷, 外側半月板損傷, 脊髄損傷	27	2,717,399
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害, 妄想型統合失調症	23	3,915,137
	5	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 変形性脊椎症	19	2,430,728
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	腎細胞癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	35	3,315,635
	2	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	半月板損傷, 脊髄損傷, 肩腱板断裂	25	1,783,150
	3	0903 その他の心疾患	非弁膜症性発作性心房細動, 非弁膜症性心房細動, 心房粗動	19	3,162,113
	3	1113 その他の消化器系の疾患	単径ヘルニア, 潰瘍性大腸炎・全大腸炎型, 小腸大腸クローン病	19	2,466,318
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 腰椎破裂骨折	19	2,338,776

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「精神及び行動の障害」が医療費合計の14.0%、「循環器系の疾患」は医療費合計の13.1%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	108,346,208	3.4%	11	11,220	13	2,770	9	39,114	13
II. 新生物<腫瘍>	404,171,918	12.8%	3	11,384	12	2,843	8	142,164	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25,834,774	0.8%	15	2,488	17	593	16	43,566	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	304,079,098	9.7%	5	47,479	2	4,463	3	68,133	9
V. 精神及び行動の障害	439,923,804	14.0%	1	15,155	8	1,175	14	374,403	1
VI. 神経系の疾患	154,618,761	4.9%	9	25,132	6	2,264	11	68,295	8
VII. 眼及び付属器の疾患	94,685,198	3.0%	12	14,271	9	3,331	6	28,425	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	10,666,947	0.3%	16	2,732	15	804	15	13,267	20
IX. 循環器系の疾患	413,859,234	13.1%	2	49,021	1	4,041	4	102,415	5
X. 呼吸器系の疾患	174,478,238	5.5%	8	30,357	5	5,215	1	33,457	14
X I. 消化器系の疾患 ※	223,908,194	7.1%	6	39,751	3	4,674	2	47,905	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	63,812,259	2.0%	13	15,881	7	3,107	7	20,538	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	331,517,831	10.5%	4	34,527	4	3,732	5	88,831	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	214,558,358	6.8%	7	11,458	11	1,936	12	110,826	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	4,759,555	0.2%	20	171	20	47	20	101,267	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	8,735,454	0.3%	17	58	21	26	21	335,979	2
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,823,242	0.2%	19	687	19	185	19	26,072	16
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,746,106	1.3%	14	12,009	10	2,499	10	15,905	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	118,924,692	3.8%	10	5,996	14	1,826	13	65,129	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,205,413	0.2%	18	2,530	16	416	17	17,321	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	956,246	0.0%	21	765	18	229	18	4,176	21
合計	3,149,611,530			140,369		9,150		344,220	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、毎月に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

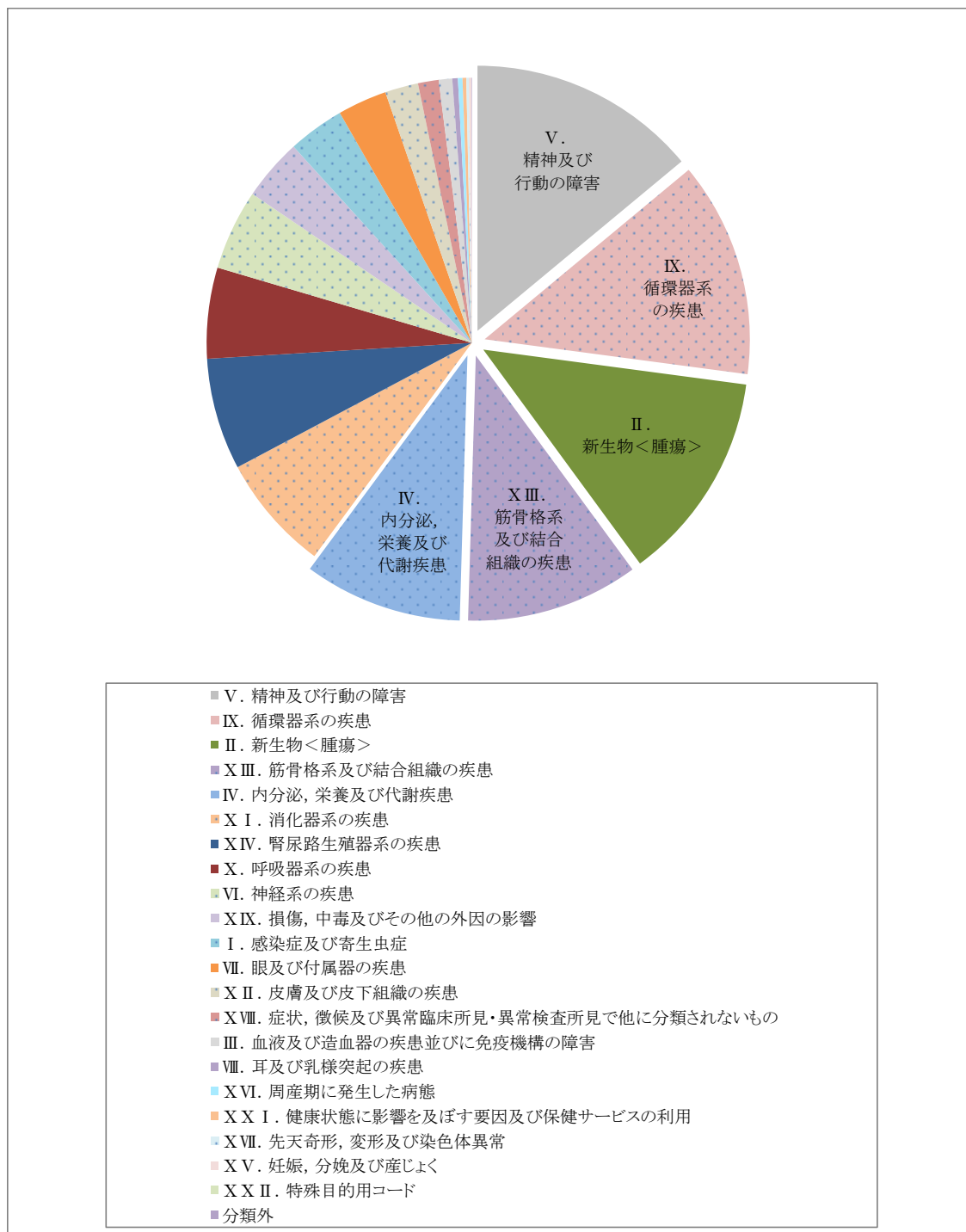
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「精神及び行動の障害」「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	67,544,437	2.1%	12	126,423,566	3.8%	11	108,346,208	3.4%	11
II. 新生物<腫瘍>	335,609,391	10.4%	4	353,891,396	10.7%	3	404,171,918	12.8%	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	26,658,753	0.8%	15	27,107,903	0.8%	15	25,834,774	0.8%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	301,885,873	9.4%	5	302,297,289	9.2%	5	304,079,098	9.7%	5
V. 精神及び行動の障害	452,570,245	14.1%	2	462,068,241	14.0%	1	439,923,804	14.0%	1
VI. 神経系の疾患	163,724,145	5.1%	9	184,585,120	5.6%	9	154,618,761	4.9%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	100,522,986	3.1%	11	108,676,231	3.3%	12	94,685,198	3.0%	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	12,981,938	0.4%	16	11,347,520	0.3%	17	10,666,947	0.3%	16
IX. 循環器系の疾患	480,507,005	14.9%	1	442,576,715	13.4%	2	413,859,234	13.1%	2
X. 呼吸器系の疾患	183,075,984	5.7%	8	185,510,946	5.6%	8	174,478,238	5.5%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	242,557,926	7.5%	6	239,985,123	7.3%	6	223,908,194	7.1%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	61,159,577	1.9%	13	63,853,742	1.9%	13	63,812,259	2.0%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	351,797,863	10.9%	3	328,668,887	10.0%	4	331,517,831	10.5%	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	210,057,023	6.5%	7	210,875,232	6.4%	7	214,558,358	6.8%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	8,394,396	0.3%	17	8,433,915	0.3%	18	4,759,555	0.2%	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,026,391	0.0%	21	12,356,547	0.4%	16	8,735,454	0.3%	17
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,724,654	0.2%	20	2,899,703	0.1%	21	4,823,242	0.2%	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	54,808,914	1.7%	14	58,016,644	1.8%	14	39,746,106	1.3%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	146,782,372	4.6%	10	153,188,657	4.6%	10	118,924,692	3.8%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,195,435	0.2%	18	6,882,922	0.2%	19	7,205,413	0.2%	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	6,288,472	0.2%	19	6,719,671	0.2%	20	956,246	0.0%	21
合計	3,220,873,780			3,296,365,970			3,149,611,530		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

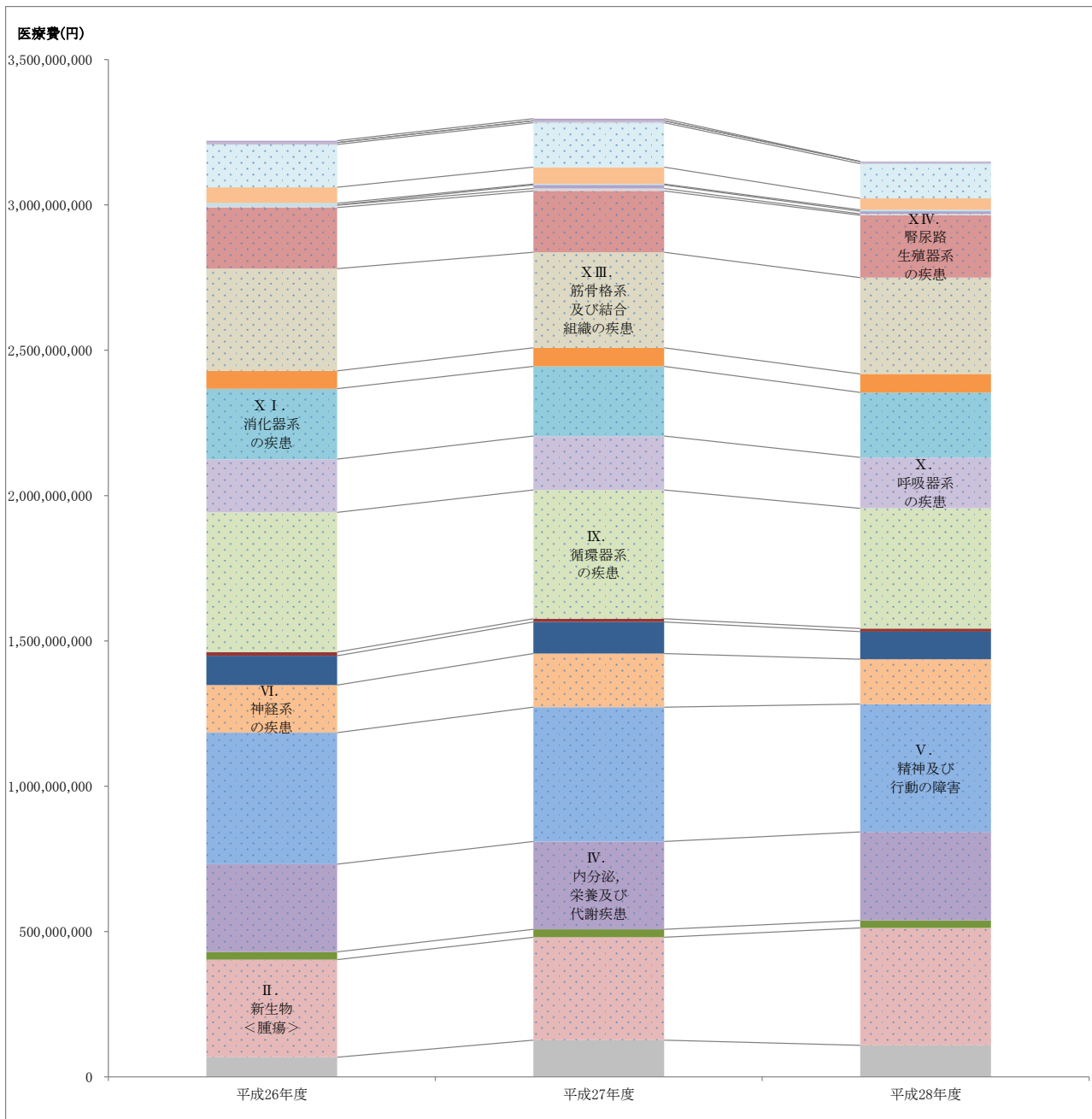
※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、毎月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	296,628,254	9.4%	402
2	0901 高血圧性疾患	164,657,869	5.2%	3,020
3	1402 腎不全	157,274,254	5.0%	264
4	0402 糖尿病	156,901,255	5.0%	2,937
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	152,065,863	4.8%	1,188
6	1113 その他の消化器系の疾患	128,461,219	4.1%	2,733
7	0903 その他の心疾患	105,512,298	3.4%	1,389
8	0403 脂質異常症	100,724,426	3.2%	2,447
9	0606 その他の神経系の疾患	85,498,191	2.7%	2,052
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	76,041,227	2.4%	466

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、毎月に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	164,657,869	3,020	33.0%
2	0402 糖尿病	156,901,255	2,937	32.1%
3	1113 その他の消化器系の疾患	128,461,219	2,733	29.9%
4	1006 アレルギー性鼻炎	34,307,638	2,614	28.6%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	32,849,035	2,608	28.5%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,746,106	2,499	27.3%
7	0403 脂質異常症	100,724,426	2,447	26.7%
8	0703 屈折及び調節の障害	9,880,227	2,286	25.0%
9	1003 その他の急性上気道感染症	14,017,696	2,173	23.7%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	27,085,637	2,155	23.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	9,898,620	12	824,885
2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	23,774,694	32	742,959
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	296,628,254	402	737,881
4	1402 腎不全	157,274,254	264	595,736
5	1602 その他の周産期に発生した病態	5,987,377	14	427,670
6	0904 くも膜下出血	11,659,739	28	416,419
7	0602 アルツハイマー病	16,224,411	48	338,009
8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	13,536,016	44	307,637
9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	51,841,854	180	288,010
10	0506 知的障害<精神遅滞>	6,300,294	24	262,512

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	322,242,038	10.0%	400
	2	0901 高血圧性疾患	199,739,522	6.2%	3,137
	3	0402 糖尿病	159,315,491	4.9%	3,071
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	150,759,775	4.7%	1,100
	5	1402 腎不全	139,473,229	4.3%	192
	6	1113 その他の消化器系の疾患	126,756,167	3.9%	2,738
	7	0903 その他の心疾患	123,765,741	3.8%	1,330
	8	0403 脂質異常症	104,753,853	3.3%	2,417
	9	0606 その他の神経系の疾患	92,269,881	2.9%	2,171
	10	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	90,815,218	2.8%	1,342
平成27年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	321,199,762	9.7%	400
	2	0901 高血圧性疾患	187,943,351	5.7%	3,106
	3	0402 糖尿病	157,580,253	4.8%	3,022
	4	1402 腎不全	144,763,394	4.4%	210
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	141,968,413	4.3%	1,190
	6	1113 その他の消化器系の疾患	124,483,562	3.8%	2,760
	7	0403 脂質異常症	103,366,933	3.1%	2,422
	8	0903 その他の心疾患	100,482,967	3.0%	1,356
	9	0606 その他の神経系の疾患	93,056,525	2.8%	2,163
	10	0105 ウイルス性肝炎	78,791,809	2.4%	339
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	296,628,254	9.4%	402
	2	0901 高血圧性疾患	164,657,869	5.2%	3,020
	3	1402 腎不全	157,274,254	5.0%	264
	4	0402 糖尿病	156,901,255	5.0%	2,937
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	152,065,863	4.8%	1,188
	6	1113 その他の消化器系の疾患	128,461,219	4.1%	2,733
	7	0903 その他の心疾患	105,512,298	3.4%	1,389
	8	0403 脂質異常症	100,724,426	3.2%	2,447
	9	0606 その他の神経系の疾患	85,498,191	2.7%	2,052
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	76,041,227	2.4%	466

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、毎月に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	199,739,522	3,137	32.3%
	2	0402 糖尿病	159,315,491	3,071	31.6%
	3	1105 胃炎及び十二指腸炎	40,857,708	2,894	29.8%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	126,756,167	2,738	28.2%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	37,108,309	2,553	26.3%
	6	0703 屈折及び調節の障害	11,775,660	2,423	24.9%
	7	0403 脂質異常症	104,753,853	2,417	24.9%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	54,808,914	2,350	24.2%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	15,378,976	2,333	24.0%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	25,676,291	2,187	22.5%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	187,943,351	3,106	32.7%
	2	0402 糖尿病	157,580,253	3,022	31.8%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	124,483,562	2,760	29.0%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	36,477,163	2,724	28.7%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	36,401,770	2,543	26.7%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	58,016,644	2,528	26.6%
	7	0703 屈折及び調節の障害	10,867,368	2,450	25.8%
	8	0403 脂質異常症	103,366,933	2,422	25.5%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	27,471,295	2,216	23.3%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	13,981,277	2,187	23.0%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	164,657,869	3,020	33.0%
	2	0402 糖尿病	156,901,255	2,937	32.1%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	128,461,219	2,733	29.9%
	4	1006 アレルギー性鼻炎	34,307,638	2,614	28.6%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	32,849,035	2,608	28.5%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,746,106	2,499	27.3%
	7	0403 脂質異常症	100,724,426	2,447	26.7%
	8	0703 屈折及び調節の障害	9,880,227	2,286	25.0%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	14,017,696	2,173	23.7%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	27,085,637	2,155	23.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、毎月疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	322,242,038	400	805,605
	2	1402 腎不全	139,473,229	192	726,423
	3	0209 白血病	3,845,649	7	549,378
	4	0208 悪性リンパ腫	15,547,713	35	444,220
	5	0602 アルツハイマー病	13,344,630	47	283,928
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	8,020,512	31	258,726
	7	0601 パーキンソン病	25,450,449	104	244,716
	8	0507 その他の精神及び行動の障害	30,078,620	123	244,542
	9	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,846,158	34	230,769
	10	0501 血管性及び詳細不明の認知症	6,855,125	33	207,731
平成27年度	1	0209 白血病	16,833,633	13	1,294,895
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	321,199,762	400	802,999
	3	1402 腎不全	144,763,394	210	689,349
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	19,536,606	31	630,213
	5	0904 くも膜下出血	15,486,605	33	469,291
	6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	22,897,221	54	424,023
	7	0602 アルツハイマー病	18,704,434	48	389,676
	8	0208 悪性リンパ腫	11,109,275	29	383,078
	9	0501 血管性及び詳細不明の認知症	7,539,931	21	359,044
	10	1602 その他の周産期に発生した病態	9,215,802	28	329,136
平成28年度	1	0209 白血病	9,898,620	12	824,885
	2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	23,774,694	32	742,959
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	296,628,254	402	737,881
	4	1402 腎不全	157,274,254	264	595,736
	5	1602 その他の周産期に発生した病態	5,987,377	14	427,670
	6	0904 くも膜下出血	11,659,739	28	416,419
	7	0602 アルツハイマー病	16,224,411	48	338,009
	8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	13,536,016	44	307,637
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	51,841,854	180	288,010
	10	0506 知的障害<精神遅滞>	6,300,294	24	262,512

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、毎月に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,149,611,530	140,369	9,150

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	108,346,208	3.4%		11,220	8.0%		2,770	30.3%		39,114	
0101 腸管感染症	8,136,902	0.3%	71	2,723	1.9%	44	960	10.5%	29	8,476	101
0102 結核	854,540	0.0%	107	259	0.2%	95	100	1.1%	88	8,545	100
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	831,865	0.0%	108	330	0.2%	92	146	1.6%	85	5,698	109
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	13,444,389	0.4%	52	2,179	1.6%	50	632	6.9%	40	21,273	72
0105 ウイルス性肝炎	60,995,371	1.9%	13	1,605	1.1%	61	348	3.8%	58	175,274	16
0106 その他のウイルス性疾患	1,169,284	0.0%	103	150	0.1%	106	81	0.9%	93	14,436	85
0107 真菌症	15,606,082	0.5%	47	3,198	2.3%	42	779	8.5%	34	20,033	73
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	24,104	0.0%	119	8	0.0%	119	5	0.1%	119	4,821	113
0109 その他の感染症及び寄生虫症	7,283,671	0.2%	72	1,729	1.2%	58	632	6.9%	40	11,525	93
II. 新生物<腫瘍>	404,171,918	12.8%		11,384	8.1%		2,843	31.1%		142,164	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	20,254,305	0.6%	41	862	0.6%	74	256	2.8%	66	79,118	30
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	42,464,161	1.3%	20	1,928	1.4%	52	803	8.8%	33	52,882	39
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	23,774,694	0.8%	37	237	0.2%	97	32	0.3%	106	742,959	2
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	6,279,182	0.2%	77	575	0.4%	83	158	1.7%	84	39,742	50
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	40,472,745	1.3%	21	727	0.5%	77	186	2.0%	78	217,595	13
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	51,841,854	1.6%	19	876	0.6%	73	180	2.0%	81	288,010	9
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	10,406,517	0.3%	65	236	0.2%	98	88	1.0%	90	118,256	23
0208 悪性リンパ腫	6,774,159	0.2%	75	173	0.1%	104	44	0.5%	100	153,958	20
0209 白血病	9,898,620	0.3%	68	57	0.0%	112	12	0.1%	115	824,885	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	152,065,863	4.8%	5	4,483	3.2%	32	1,188	13.0%	26	128,002	22
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	39,939,818	1.3%	23	3,959	2.8%	35	1,372	15.0%	21	29,111	58
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25,834,774	0.8%		2,488	1.8%		593	6.5%		43,566	
0301 貧血	6,970,955	0.2%	74	1,752	1.2%	57	440	4.8%	50	15,843	83
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,863,819	0.6%	43	817	0.6%	75	196	2.1%	75	96,244	25
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	304,079,098	9.7%		47,479	33.8%		4,463	48.8%		68,133	
0401 甲状腺障害	12,125,886	0.4%	54	3,261	2.3%	41	774	8.5%	35	15,667	84
0402 糖尿病	156,901,255	5.0%	4	21,624	15.4%	5	2,937	32.1%	2	53,422	38
0403 脂質異常症	100,724,426	3.2%	8	30,798	21.9%	2	2,447	26.7%	7	41,162	49
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	34,327,531	1.1%	26	9,918	7.1%	12	1,304	14.3%	23	26,325	63
V. 精神及び行動の障害	439,923,804	14.0%		15,155	10.8%		1,175	12.8%		374,403	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	5,783,408	0.2%	81	111	0.1%	108	23	0.3%	110	251,453	11
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	8,258,035	0.3%	70	244	0.2%	96	35	0.4%	105	235,944	12
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	296,628,254	9.4%	1	6,353	4.5%	27	402	4.4%	53	737,881	3

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,149,611,530	140,369	9,150

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	76,041,227	2.4%	10	6,978	5.0%	22	466	5.1%	49	163,179	19
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	26,389,292	0.8%	35	5,210	3.7%	29	515	5.6%	47	51,241	40
0506	知的障害<精神遅滞>	6,300,294	0.2%	76	133	0.1%	107	24	0.3%	109	262,512	10
0507	その他の精神及び行動の障害	20,523,294	0.7%	40	948	0.7%	71	118	1.3%	86	173,926	17
VI. 神経系の疾患		154,618,761	4.9%		25,132	17.9%		2,264	24.7%		68,295	
0601	パーキンソン病	17,953,621	0.6%	44	1,259	0.9%	63	86	0.9%	92	208,763	15
0602	アルツハイマー病	16,224,411	0.5%	46	470	0.3%	88	48	0.5%	98	338,009	7
0603	てんかん	20,199,385	0.6%	42	2,792	2.0%	43	231	2.5%	70	87,443	27
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	13,536,016	0.4%	51	229	0.2%	100	44	0.5%	100	307,637	8
0605	自律神経系の障害	1,207,137	0.0%	102	719	0.5%	78	64	0.7%	96	18,862	75
0606	その他の神経系の疾患	85,498,191	2.7%	9	22,184	15.8%	4	2,052	22.4%	11	41,666	48
VII. 眼及び付属器の疾患		94,685,198	3.0%		14,271	10.2%		3,331	36.4%		28,425	
0701	結膜炎	10,710,357	0.3%	63	6,761	4.8%	24	1,791	19.6%	14	5,980	108
0702	白内障	17,832,725	0.6%	45	3,897	2.8%	36	770	8.4%	36	23,159	68
0703	屈折及び調節の障害	9,880,227	0.3%	69	9,008	6.4%	15	2,286	25.0%	8	4,322	115
0704	その他の眼及び付属器の疾患	56,261,889	1.8%	16	9,290	6.6%	14	1,949	21.3%	12	28,867	59
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		10,666,947	0.3%		2,732	1.9%		804	8.8%		13,267	
0801	外耳炎	577,387	0.0%	112	420	0.3%	90	208	2.3%	74	2,776	120
0802	その他の外耳疾患	953,831	0.0%	105	461	0.3%	89	271	3.0%	64	3,520	117
0803	中耳炎	1,959,062	0.1%	97	542	0.4%	85	184	2.0%	79	10,647	96
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	317,789	0.0%	114	217	0.2%	101	68	0.7%	94	4,673	114
0805	メニエール病	3,015,627	0.1%	91	928	0.7%	72	165	1.8%	82	18,277	76
0806	その他の内耳疾患	2,506,884	0.1%	95	492	0.4%	87	114	1.2%	87	21,990	70
0807	その他の耳疾患	1,336,367	0.0%	100	563	0.4%	84	250	2.7%	67	5,345	110
IX. 循環器系の疾患		413,859,234	13.1%		49,021	34.9%		4,041	44.2%		102,415	
0901	高血圧性疾患	164,657,869	5.2%	2	42,394	30.2%	1	3,020	33.0%	1	54,522	37
0902	虚血性心疾患	40,191,107	1.3%	22	6,572	4.7%	26	885	9.7%	32	45,414	43
0903	その他の心疾患	105,512,298	3.4%	7	8,846	6.3%	17	1,389	15.2%	20	75,963	31
0904	くも膜下出血	11,659,739	0.4%	58	174	0.1%	103	28	0.3%	108	416,419	6
0905	脳内出血	20,647,352	0.7%	39	301	0.2%	93	96	1.0%	89	215,077	14
0906	脳梗塞	29,403,327	0.9%	33	3,460	2.5%	39	415	4.5%	52	70,851	32
0907	脳動脈硬化(症)	65,614	0.0%	117	23	0.0%	115	6	0.1%	117	10,936	94
0908	その他の脳血管疾患	5,866,187	0.2%	80	665	0.5%	80	241	2.6%	68	24,341	65
0909	動脈硬化(症)	11,230,885	0.4%	61	2,355	1.7%	48	469	5.1%	48	23,946	66
0911	低血圧(症)	764,404	0.0%	110	232	0.2%	99	29	0.3%	107	26,359	62
0912	その他の循環器系の疾患	23,860,452	0.8%	36	1,884	1.3%	54	391	4.3%	55	61,024	35
X. 呼吸器系の疾患		174,478,238	5.5%		30,357	21.6%		5,215	57.0%		33,457	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	947,436	0.0%	106	952	0.7%	70	396	4.3%	54	2,393	121
1002	急性鼻咽頭炎及び急性扁桃炎	12,032,052	0.4%	56	6,859	4.9%	23	1,935	21.1%	13	6,218	107
1003	その他の急性上気道感染症	14,017,696	0.4%	50	6,580	4.7%	25	2,173	23.7%	9	6,451	106

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,149,611,530	140,369	9,150

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	15,273,298	0.5%	48	1,620	1.2%	60	674	7.4%	39	22,661	69
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	10,826,445	0.3%	62	4,737	3.4%	30	1,463	16.0%	17	7,400	103
1006	アレルギー性鼻炎	34,307,638	1.1%	27	13,037	9.3%	7	2,614	28.6%	4	13,125	87
1007	慢性副鼻腔炎	2,732,793	0.1%	93	986	0.7%	68	230	2.5%	71	11,882	91
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	4,130,887	0.1%	87	1,987	1.4%	51	600	6.6%	43	6,885	105
1009	慢性閉塞性肺疾患	12,042,573	0.4%	55	2,338	1.7%	49	338	3.7%	59	35,629	52
1010	喘息	36,022,855	1.1%	25	7,590	5.4%	19	1,224	13.4%	24	29,430	56
1011	その他の呼吸器系の疾患	32,144,565	1.0%	30	4,564	3.3%	31	1,470	16.1%	16	21,867	71
X I . 消化器系の疾患		223,908,194	7.1%		39,751	28.3%		4,674	51.1%		47,905	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	17,695	0.0%	120	10	0.0%	118	6	0.1%	117	2,949	118
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	42,734	0.0%	118	25	0.0%	114	15	0.2%	113	2,849	119
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	29,727,621	0.9%	32	11,183	8.0%	9	1,217	13.3%	25	24,427	64
1105	胃炎及び十二指腸炎	32,849,035	1.0%	28	16,105	11.5%	6	2,608	28.5%	5	12,595	89
1106	痔核	3,122,709	0.1%	90	956	0.7%	69	191	2.1%	77	16,349	80
1107	アルコール性肝疾患	1,385,307	0.0%	98	283	0.2%	94	39	0.4%	103	35,521	53
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	482,443	0.0%	113	344	0.2%	91	45	0.5%	99	10,721	95
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	1,966,536	0.1%	96	516	0.4%	86	67	0.7%	95	29,351	57
1110	その他の肝疾患	10,070,495	0.3%	66	3,297	2.3%	40	955	10.4%	30	10,545	97
1111	胆石症及び胆のう炎	10,436,274	0.3%	64	987	0.7%	67	238	2.6%	69	43,850	46
1112	膵疾患	5,346,126	0.2%	84	1,030	0.7%	66	389	4.3%	57	13,743	86
1113	その他の消化器系の疾患	128,461,219	4.1%	6	24,034	17.1%	3	2,733	29.9%	3	47,004	41
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		63,812,259	2.0%		15,881	11.3%		3,107	34.0%		20,538	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	5,946,714	0.2%	79	1,904	1.4%	53	594	6.5%	44	10,011	98
1202	皮膚炎及び湿疹	27,085,637	0.9%	34	10,456	7.4%	11	2,155	23.6%	10	12,569	90
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	30,779,908	1.0%	31	8,573	6.1%	18	1,789	19.6%	15	17,205	79
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		331,517,831	10.5%		34,527	24.6%		3,732	40.8%		88,831	
1301	炎症性多発性関節障害	59,575,882	1.9%	14	5,682	4.0%	28	736	8.0%	38	80,945	29
1302	関節症	65,688,685	2.1%	11	9,793	7.0%	13	1,152	12.6%	27	57,021	36
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	64,171,637	2.0%	12	10,922	7.8%	10	1,395	15.2%	18	46,001	42
1304	椎間板障害	14,096,163	0.4%	49	1,539	1.1%	62	312	3.4%	61	45,180	44
1305	頸腕症候群	5,167,603	0.2%	85	4,460	3.2%	33	576	6.3%	46	8,972	99
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	11,451,368	0.4%	60	7,231	5.2%	21	989	10.8%	28	11,579	92
1307	その他の脊柱障害	12,976,243	0.4%	53	1,668	1.2%	59	294	3.2%	62	44,137	45
1308	肩の傷害<損傷>	9,977,260	0.3%	67	3,859	2.7%	37	611	6.7%	42	16,329	81
1309	骨の密度及び構造の障害	55,900,954	1.8%	17	9,007	6.4%	16	898	9.8%	31	62,251	34
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	32,512,036	1.0%	29	7,283	5.2%	20	1,393	15.2%	19	23,340	67

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,149,611,530	140,369	9,150

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	214,558,358	6.8%		11,458	8.2%		1,936	21.2%		110,826	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	5,711,456	0.2%	82	1,083	0.8%	64	184	2.0%	79	31,041	55
1402 腎不全	157,274,254	5.0%	3	2,560	1.8%	45	264	2.9%	65	595,736	4
1403 尿管結石症	3,551,540	0.1%	89	719	0.5%	78	195	2.1%	76	18,213	77
1404 その他の腎尿路系の疾患	20,745,592	0.7%	38	4,073	2.9%	34	770	8.4%	36	26,942	61
1405 前立腺肥大(症)	11,791,350	0.4%	57	2,489	1.8%	47	313	3.4%	60	37,672	51
1406 その他の男性生殖器系の疾患	1,237,735	0.0%	101	93	0.1%	110	38	0.4%	104	32,572	54
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,674,083	0.1%	94	1,051	0.7%	65	212	2.3%	73	12,614	88
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	11,572,348	0.4%	59	1,775	1.3%	56	585	6.4%	45	19,782	74
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	4,759,555	0.2%		171	0.1%		47	0.5%		101,267	
1501 流産	817,201	0.0%	109	17	0.0%	117	9	0.1%	116	90,800	26
1502 妊娠高血圧症候群	210,890	0.0%	115	5	0.0%	120	3	0.0%	120	70,297	33
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	3,731,464	0.1%	88	159	0.1%	105	43	0.5%	102	86,778	28
XVI. 周産期に発生した病態	8,735,454	0.3%		58	0.0%		26	0.3%		335,979	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	2,748,077	0.1%	92	40	0.0%	113	16	0.2%	112	171,755	18
1602 その他の周産期に発生した病態	5,987,377	0.2%	78	22	0.0%	116	14	0.2%	114	427,670	5
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,823,242	0.2%		687	0.5%		185	2.0%		26,072	
1701 心臓の先天奇形	150,318	0.0%	116	66	0.0%	111	20	0.2%	111	7,516	102
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	4,672,924	0.1%	86	621	0.4%	82	165	1.8%	82	28,321	60
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,746,106	1.3%		12,009	8.6%		2,499	27.3%		15,905	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,746,106	1.3%	24	12,009	8.6%	8	2,499	27.3%	6	15,905	82
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	118,924,692	3.8%		5,996	4.3%		1,826	20.0%		65,129	
1901 骨折	53,741,796	1.7%	18	1,854	1.3%	55	390	4.3%	56	137,799	21
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	5,425,019	0.2%	83	109	0.1%	109	52	0.6%	97	104,327	24
1903 熱傷及び腐食	608,527	0.0%	111	204	0.1%	102	87	1.0%	91	6,995	104
1904 中毒	1,362,372	0.0%	99	644	0.5%	81	277	3.0%	63	4,918	112
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	57,786,978	1.8%	15	3,737	2.7%	38	1,361	14.9%	22	42,459	47
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,205,413	0.2%		2,530	1.8%		416	4.5%		17,321	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	5,291	0.0%	121	1	0.0%	121	1	0.0%	121	5,291	111
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,149,611,530	140,369	9,150

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	7,200,122	0.2%	73	2,529	1.8%	46	416	4.5%	51	17,308	78
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		956,246	0.0%		765	0.5%		229	2.5%		4,176	
9999	分類外	956,246	0.0%	104	765	0.5%	76	229	2.5%	72	4,176	116

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

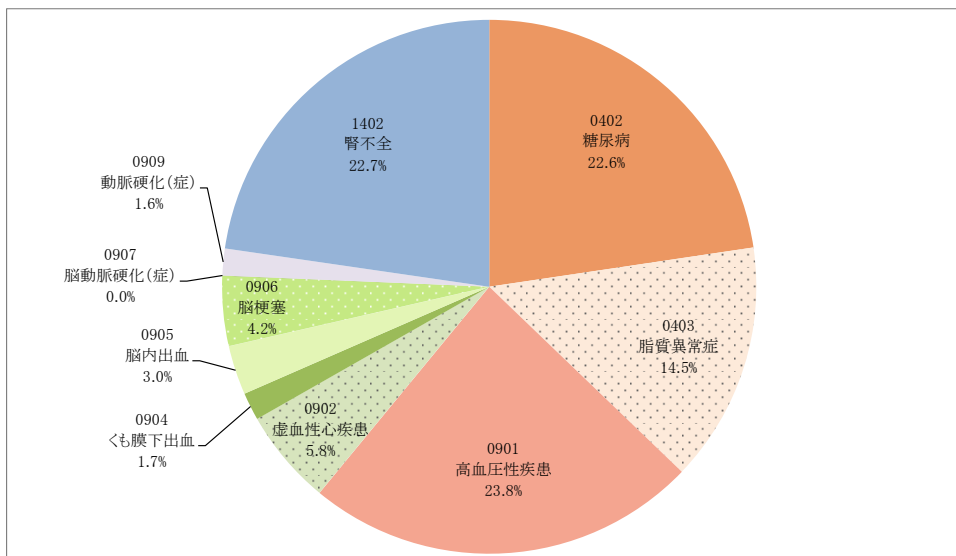
(4) 生活習慣病に係る医療費

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は1億5,690万円、脂質異常症医療費は1億72万円、高血圧性疾患医療費は1億6,466万円となっている。

生活習慣病医療費

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
3	0402 糖尿病	156,901,255	2,937	53,422
4	0403 脂質異常症	100,724,426	2,447	41,162
1	0901 高血圧性疾患	164,657,869	3,020	54,522
5	0902 虚血性心疾患	40,191,107	885	45,414
8	0904 くも膜下出血	11,659,739	28	416,419
7	0905 脳内出血	20,647,352	96	215,077
6	0906 脳梗塞	29,403,327	415	70,851
10	0907 脳動脈硬化(症)	65,614	6	10,936
9	0909 動脈硬化(症)	11,230,885	469	23,946
2	1402 腎不全	157,274,254	264	595,736
		計 692,755,828	延べ 10,567	

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

また、平成26年度から平成28年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、糖尿病医療費1億5,690万円は、平成26年度1億5,932万円より242万円減少している。また、脂質異常症医療費1億72万円は、平成26年度1億475万円より403万円減少しており、高血圧性疾患医療費1億6,466万円は、平成26年度1億9,974万円より3,508万円減少している。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	159,315,491	22.4%	157,580,253	22.0%	156,901,255	22.6%
0403	脂質異常症	104,753,853	14.7%	103,366,933	14.4%	100,724,426	14.5%
0901	高血圧性疾患	199,739,522	28.1%	187,943,351	26.3%	164,657,869	23.8%
0902	虚血性心疾患	40,352,608	5.7%	44,187,509	6.2%	40,191,107	5.8%
0904	くも膜下出血	4,535,963	0.6%	15,486,605	2.2%	11,659,739	1.7%
0905	脳内出血	14,373,601	2.0%	15,857,134	2.2%	20,647,352	3.0%
0906	脳梗塞	34,930,962	4.9%	36,325,076	5.1%	29,403,327	4.2%
0907	脳動脈硬化(症)	70,643	0.0%	65,119	0.0%	65,614	0.0%
0909	動脈硬化(症)	12,657,805	1.8%	10,117,688	1.4%	11,230,885	1.6%
1402	腎不全	139,473,229	19.6%	144,763,394	20.2%	157,274,254	22.7%
合計		710,203,677		715,693,062		692,755,828	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

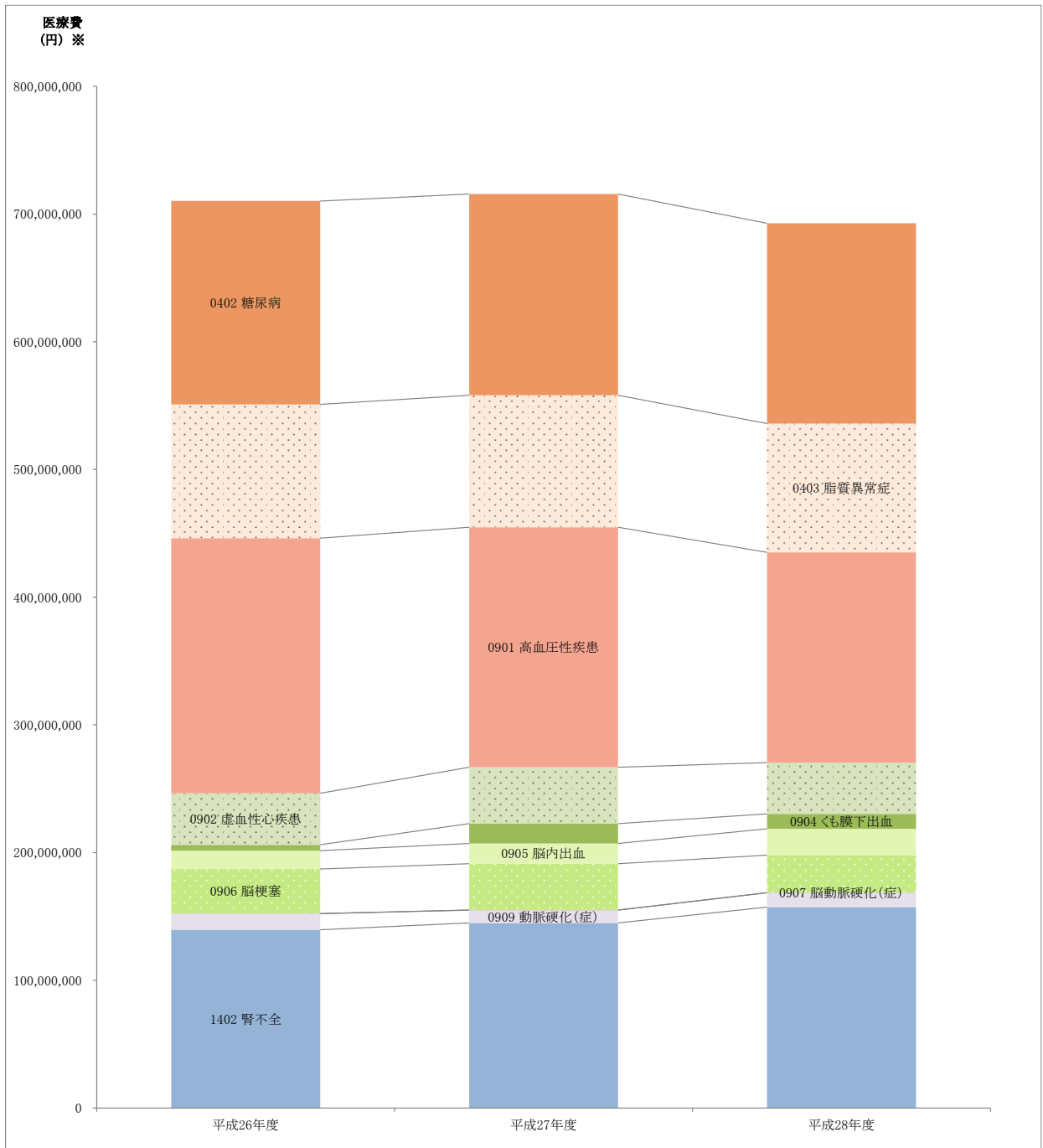
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…医療費分解技術は、毎月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

第3章 第2期データヘルス計画

1. 計画の基本事項

(1) 保健事業の実施方針

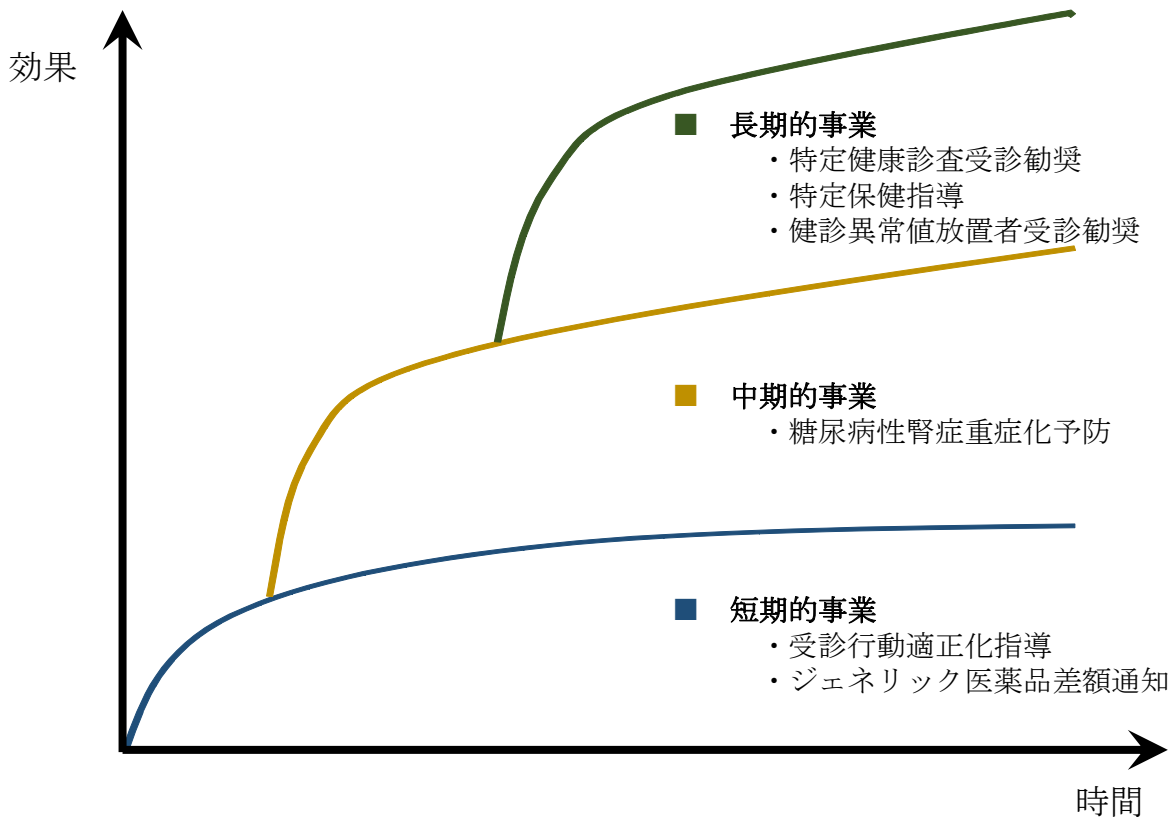
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の実施方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生源となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を山梨市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



(2) 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保健事業の主たる業務を担う健康増進課が主体となり、関係部局(保険担当部門、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等の設置を検討し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等を活用し、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

■ 分析方法

- ・ 医療費分析
レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ・ 傷病分析
レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、
傷病の重症度を判定する。
- ・ レセプト分析
中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を評価した。全7事業のうち目標達成した事業は無かった。「高血圧疾患」については個別保健指導を実施したものの新たな事業展開に至らず、評価困難とした。

「糖尿病性腎症重症化予防」では、医師会との連携が構築できたことが、事業進展に向け好材料となった。「予防歯科の普及」では、歯周、歯科検診の助成に加え、新たに妊婦歯科検診の無料化をスタートさせたことで、普及促進が図られた。「保健事業の基盤づくり、市民への健康意識の向上」「特定健診」「特定保健指導」及び「慢性閉塞性肺疾患COPD」は、改善傾向が見られず、横ばい評価とした。

事業名	①保健事業の基盤づくり、市民への健康意識の向上
	②特定健診
	③特定保健指導
	④糖尿病性腎症重症化予防
	⑤高血圧性疾患
	⑥予防歯科の普及
	⑦慢性閉塞性肺疾患(COPD)

①保健事業への基盤づくり、市民への健康意識の向上

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】健康意識の向上、個々の保健事業の実施効果を高める。

【事業概要】正しい健康情報を的確に伝える。

【実施内容】出前講座にて成人健診の内容や感染予防など、多岐の健康指導
成人健診結果説明会にて、受診の勧奨を含めた健康管理の指導

【目標値】第2次山梨市健康増進計画に掲げた7つの健康分野における43項目の健康指標を設定

【達成状況】第3次山梨市健康増進計画の策定のため、市民を対象にアンケート調査を実施した。43項目の健康指標のうち、目標に達した項目と目標に達していないが、改善傾向にある項目は、19項目であり、全体の44.2%にとどまった。

【考察】市民が健康づくりを自らの取り組み課題としてとらえ、知識を身に付け、主体的かつ継続的に健康づくりに取り組む環境づくりを推進することは、市民の健康意識の向上に必要である。

そのために、市民・家庭・地域・行政との連携を強化し、市民の健康を支え、守るための社会環境整備の具体的な行動を明確にすることが求められる。

②特定健診

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握およびリスク者のスクリーニング

【事業概要】40～74歳を対象とした健康診査の実施

【実施内容】対象者への受診票(受診券)と健診日程、健診の概要の送付
広報や健康カレンダーでの周知 未受診者への勧奨通知
受診勧奨・受診継続を目的とした健康集会や講演会の実施

【目標値】受診率 平成29年度60%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
対象者数(人)	7,271人	7,072人	6,928人
受診率 (%)	40.2%	41.0%	41.0%

【考察】平成28年度受診率は41.0%であり、目標の60%にはたどり着かなかった。
未受診者への受診勧奨を継続して行うほか、更なる取り組みを検討していく必要がある。

③特定保健指導事業

【実施年度】 平成27年度から平成29年度

【事業目的】 メタボリックシンドロームの減少

【事業概要】 特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、訪問等で行う。

【実施内容】 指導対象者に対して動機づけ支援は健診業者へ委託し、積極的支援は市の保健師が実施した。

【目標値】

	平成29年度
実施率(%)	60%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
実施者数(人)	274人	267人	262人
実施率(%)	19.0%	23.6%	21.8%

【考察】 平成28年度の実施率は、23.6%であり、平成27年度の19.0%から4.3ポイント増加している。目標とする60%には届かず、第1期の計画期間を終了した。第2期では、積極的支援の部分も委託するなど、取り組みや目標値の設定も見直す必要がある。

④糖尿病性腎症重症化予防

【事業目的】 重症化予防と医療費抑制

【事業概要】 糖尿病性腎症の方に直接保健指導を行い、人工透析への移行者を減少させる。

【実施内容】 医療機関と連携し重症化予防の施策、体制、対策について検討する。予防医学的な知識、経験が必要である為、外部事業者等の活用を検討する。

【目標値】 医療機関との連携体制の構築
外部事業者を活用した事業の実施

【達成状況】 市内医師会には、本事業に対する承諾を受け、開始の運びとなった。
29年度、本データヘルス計画策定と並行しながら、事業に向けての方針を固めた。

【考察】 平成30年度に、本事業を開始する予定。山梨市医師会と、データ解析業者、訪問指導業者と連携しながら事業を進めていくことが望まれる。
これからデータ解析業者や訪問指導業者、各担当との連携に向けて、庁内では、健康増進課、市民課国保年金担当との連携強化も不可欠になる。

⑤高血圧性疾患

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】減塩について知ることができ、高血圧予防、高血圧重症化予防を図る。

【事業概要】健診結果説明会にて減塩指導をする。

【実施内容】健診結果説明会にて、実際に調理された味付けの味噌汁を試飲し、自身の塩分感覚を知るきっかけを提供する民間事業委託も含めた新規事業の導入を検討

【目標値】高血圧予防に関する新たな事業実施

【達成状況】健診結果説明会にて、高血圧の方に保健指導を継続して行った一方で、新たな事業への発展は行えなかった。

【考察】高血圧に関する取り組みを進めたが、医療費抑制や患者数の削減にはつながらなかった。生活習慣に関連する疾患全体を把握し、高血圧だけでなく生活習慣病に関連する項目を総合的にアプローチしていく方針が必要になる。一度、本事業単独での実施は休止し、高血圧のみでなく生活習慣病関連の事業として見直していく。

⑥予防歯科の普及

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】 歯科の二次感染を防ぐ付随する認知症予防・糖尿病重症化予防

【事業概要】 歯周疾患健診助成と、予防歯科事業の実施

【実施内容】 第1期の期間は歯周疾患検診の助成の継続
平成29年度妊婦歯科検診無料助成開始
平成29年度(単年)母子手帳発行時の歯科保健グッズの配布

【目標値】 歯周疾患検診受診者70名
歯科事業実施回数2回以上
参加者数35名以上

【達成状況】 歯周疾患検診受診者
平成27年度 74名 平成28年度 106名 平成29年度 45名(見込み値)
妊婦歯科検診無料化を開始し、妊婦歯科保健グッズの配布(単年)を実施した。

【考察】 妊婦歯科検診無料化を開始し、成人に対しても歯周歯科検診の助成を継続し、実施することと予防歯科活動を進めた。
糖尿病重症化予防事業等に合わせて、細部な取り組みとして引き続き、実施していく。

⑦慢性閉塞性肺疾患(COPD)

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】COPDの認知不足

【事業概要】COPDが全身性の疾患である可能性があり、広報等で正しい情報の普及・啓発活動を行う。

【実施内容】健康カレンダーに記事を掲載

【目標値】各種事業団体と連携した講演会等の事業実施
広報誌掲載、ホームページ掲載、イベント時での広報活動の実施

【達成状況】年度初めに健康カレンダー配布をし、普及啓発は行ったが、講演会等の事業は実施できていない。

【考察】COPDの普及啓発活動について重要な取り組みである一方で、国保対象者の疾病別医療費統計によると慢性閉塞性肺疾患は55位の状況である。COPDについては単に呼吸器疾患というだけでなく、生活習慣に起因する疾患とも呼ばれている。今期の計画においては、単独の事業については一時中断とするが、糖尿病対策や糖尿病重症化予防事業の中でも合わせて普及啓発に取り組んでいく。

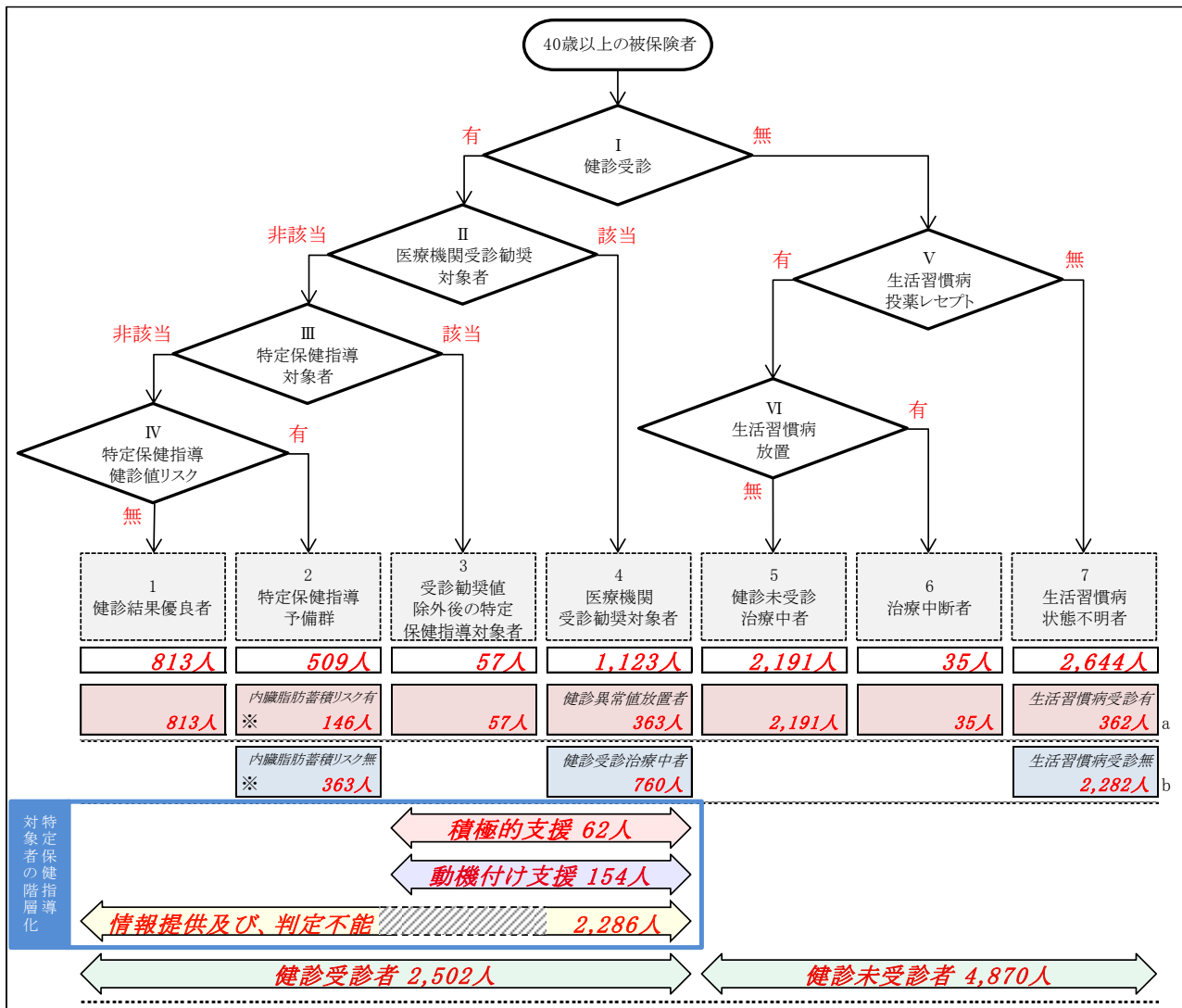
3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

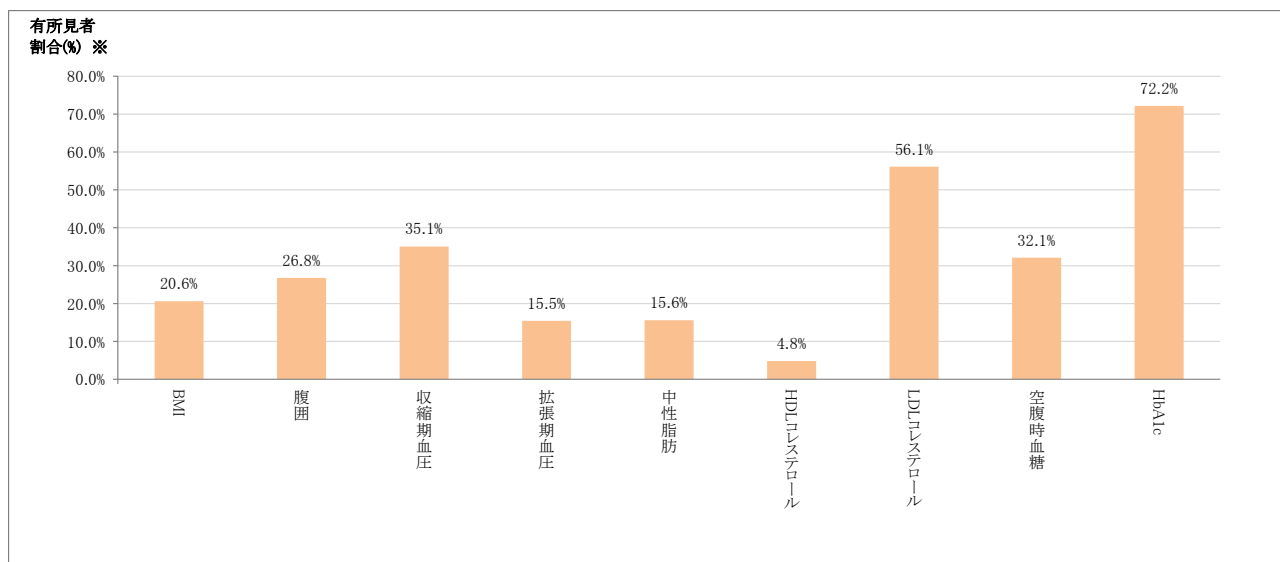
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,310	2,310	2,310	2,310
有所見者数(人) ※	476	619	810	357
有所見者割合(%) ※	20.6%	26.8%	35.1%	15.5%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,310	2,310	2,310	2,195	2,295
有所見者数(人) ※	360	111	1,296	705	1,656
有所見者割合(%) ※	15.6%	4.8%	56.1%	32.1%	72.2%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

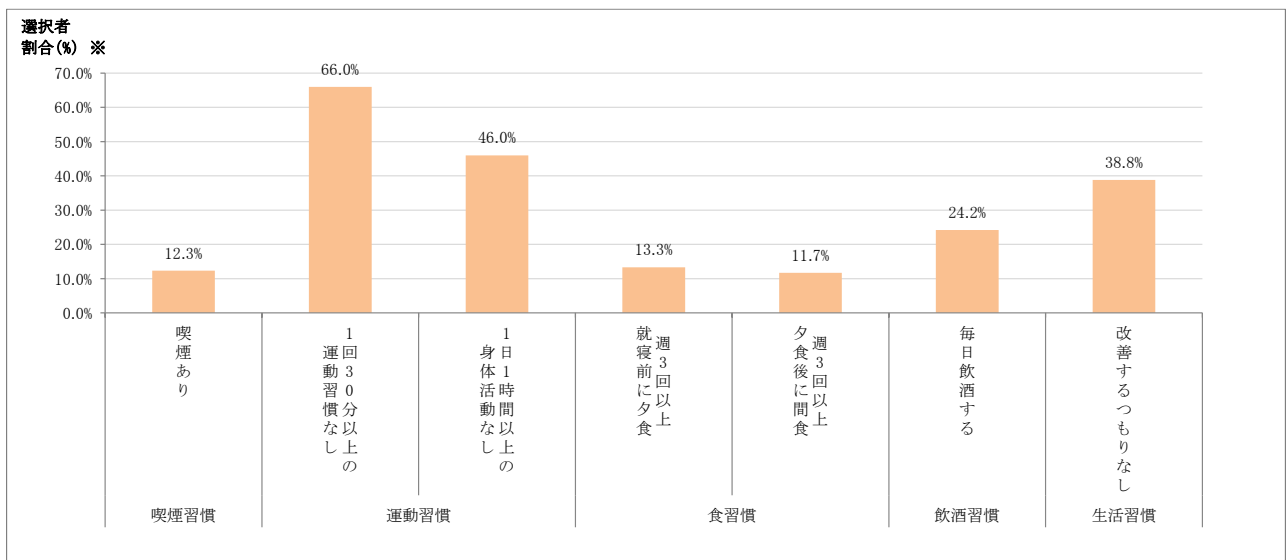
空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,310	2,310	2,310
選択者数(人) ※	285	1,524	1,062
選択者割合(%) ※	12.3%	66.0%	46.0%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,310	2,310	2,309	2,309
選択者数(人) ※	308	271	559	896
選択者割合(%) ※	13.3%	11.7%	24.2%	38.8%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は216人である。このうち、積極的支援の対象者は62人、動機付け支援の対象者は154人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			216人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	3人	62人 29%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	8人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	4人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	5人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	6人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	11人	
	●		●			血糖+脂質	5人	
	●		●	●		血圧+脂質	9人	
		●		●		血糖+喫煙	4人	
			●	●		血圧+喫煙	5人	
				●	脂質+喫煙	2人		
			●		因子数1	血糖	0人	
				●		血圧	0人	
		●		脂質		0人		
			●	喫煙	0人			
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	2人	154人 71%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	7人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	2人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	3人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	24人	
	●		●			血糖+脂質	9人	
	●		●	●		血圧+脂質	11人	
		●		●		血糖+喫煙	1人	
			●	●		血圧+喫煙	3人	
				●	脂質+喫煙	4人		
			●		因子数1	血糖	28人	
				●		血圧	37人	
		●		脂質		20人		
			●	喫煙	0人			
				因子数0	なし	2人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

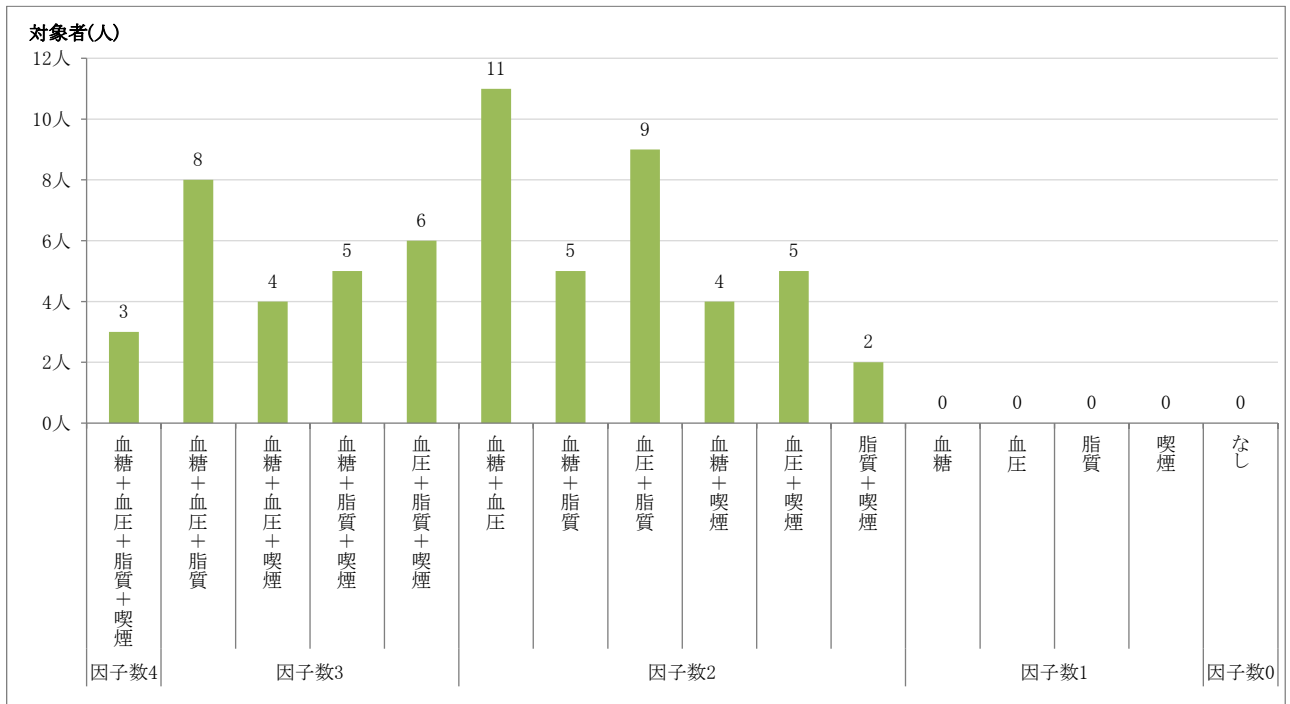
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

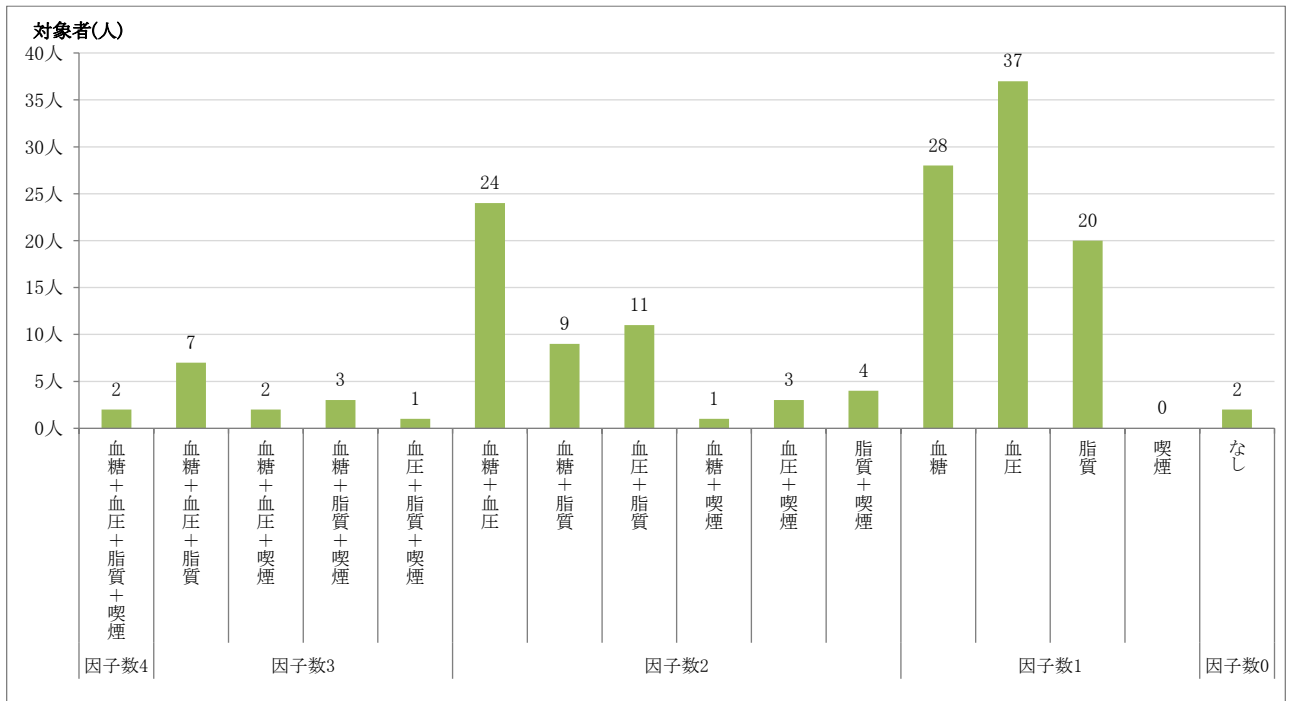
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する363人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	363 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	116 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	247 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者247人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1人	候補者C 4人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 7人	候補者D 29人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 36人	候補者F 170人
	喫煙	非喫煙	
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			247人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者46人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 35 人
	上記以外のグループ	11 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		46 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 3 人
		除外患者を除き、候補者となった患者数 43 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者43人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 1人	候補者B2 5人	候補者B3 1人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 1人	候補者C2 22人	候補者C3 13人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				43人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、58.3%が生活習慣を起因とするものであり、透析患者数全体の55.6%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

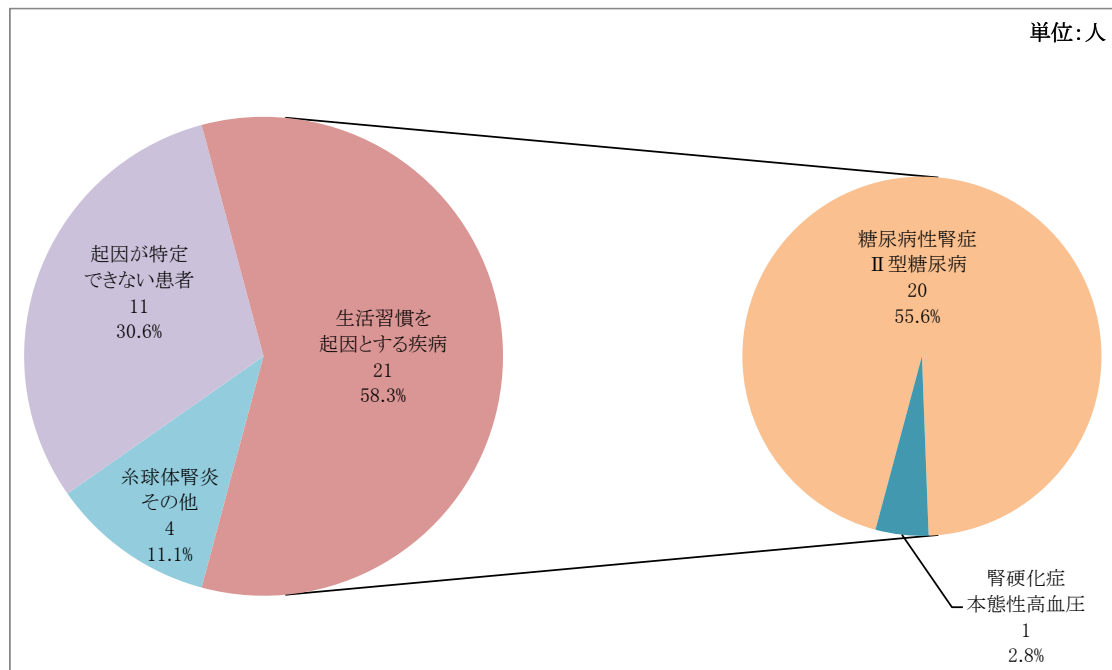
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	36
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	36

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

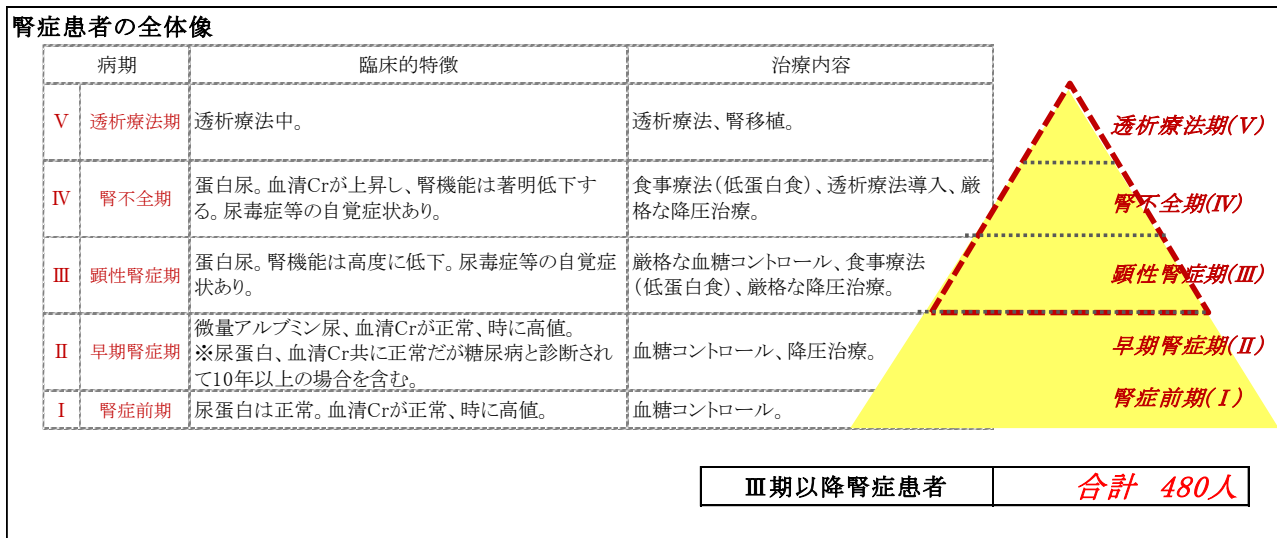
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者480人中162人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

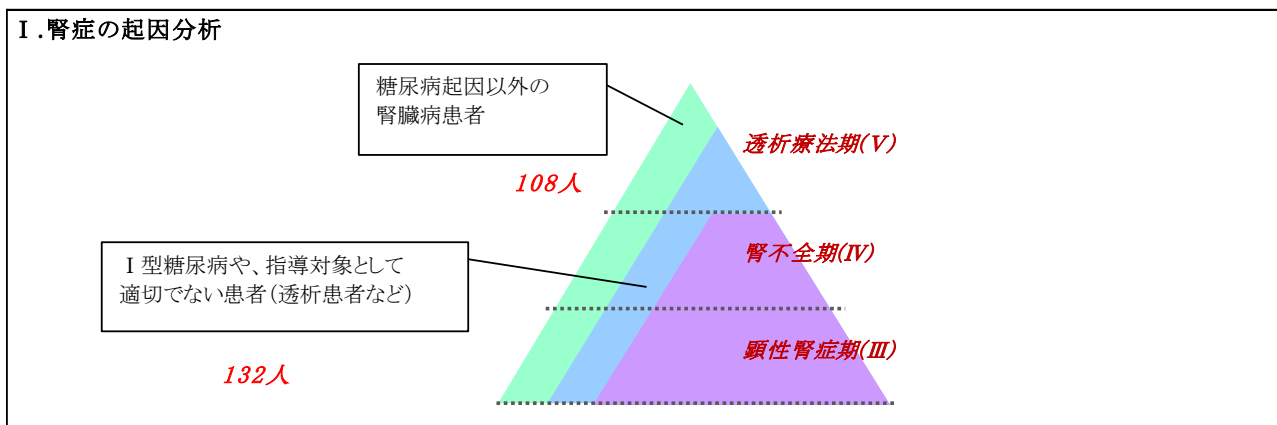
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、108人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、132人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

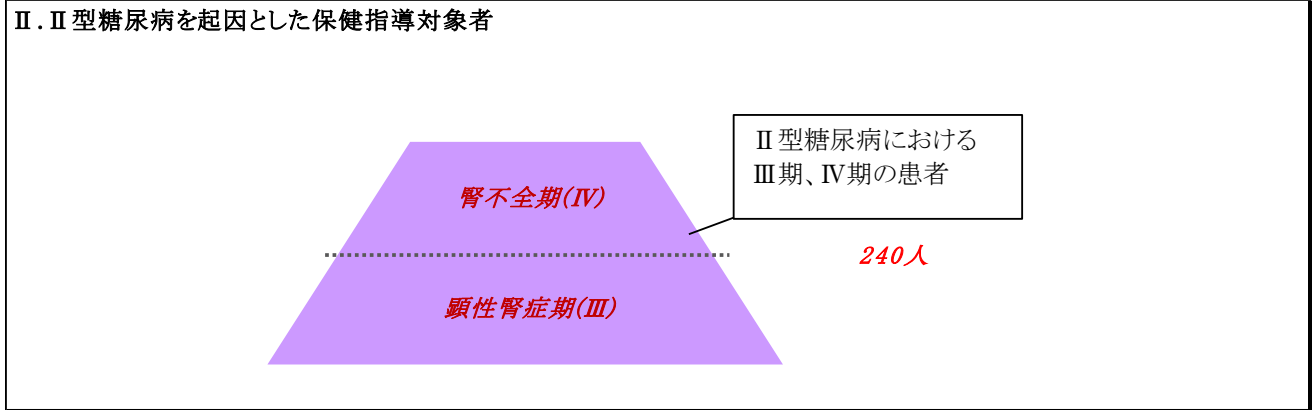
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて240人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

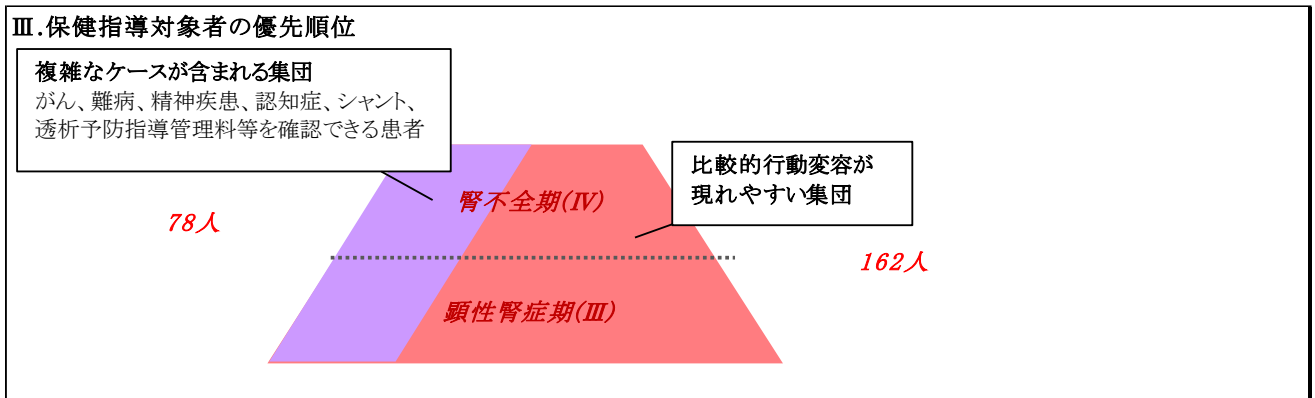


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。240人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、78人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、162人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

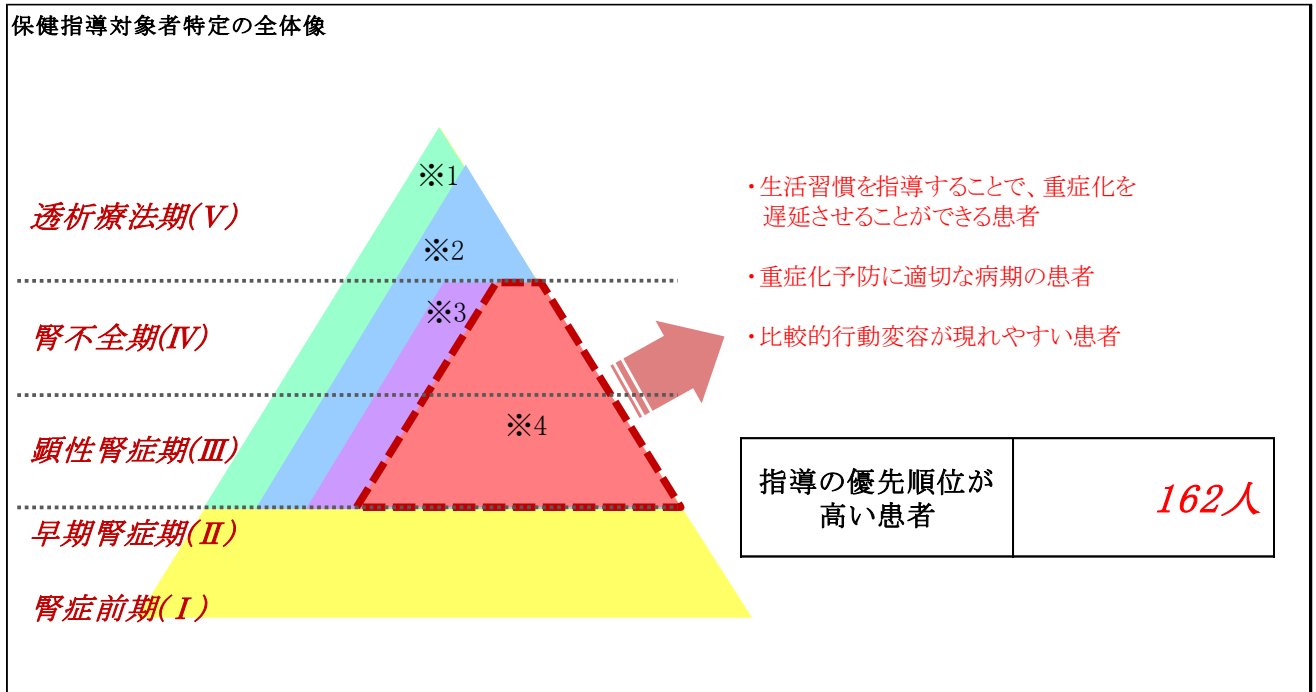
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、162人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	7	0	3	3	11	3	4	4	4	4	2	5
12カ月間の延べ人数											50	
12カ月間の実人数											40	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	46	44	49	52	54	51	53	47	41	43	44	54
12カ月間の延べ人数											578	
12カ月間の実人数											116	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	39	33	36	45	42	36	45	36	37	33	26	39
12カ月間の延べ人数											447	
12カ月間の実人数											209	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は40人、頻回受診者は116人、重複服薬者は209人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	345 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	271 人
除外②	がん、難病等 ※	271 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		74 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者74人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは8人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 0人	候補者C 0人	候補者 と し な い 66人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 5人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 2人	候補者F 1人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			8人	

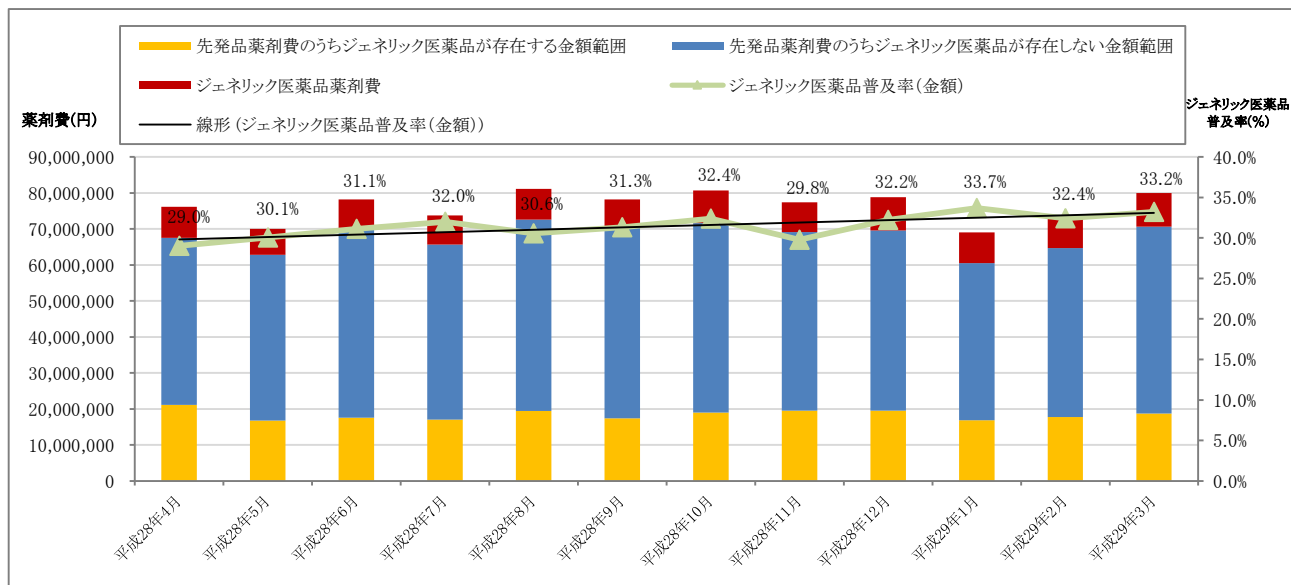
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

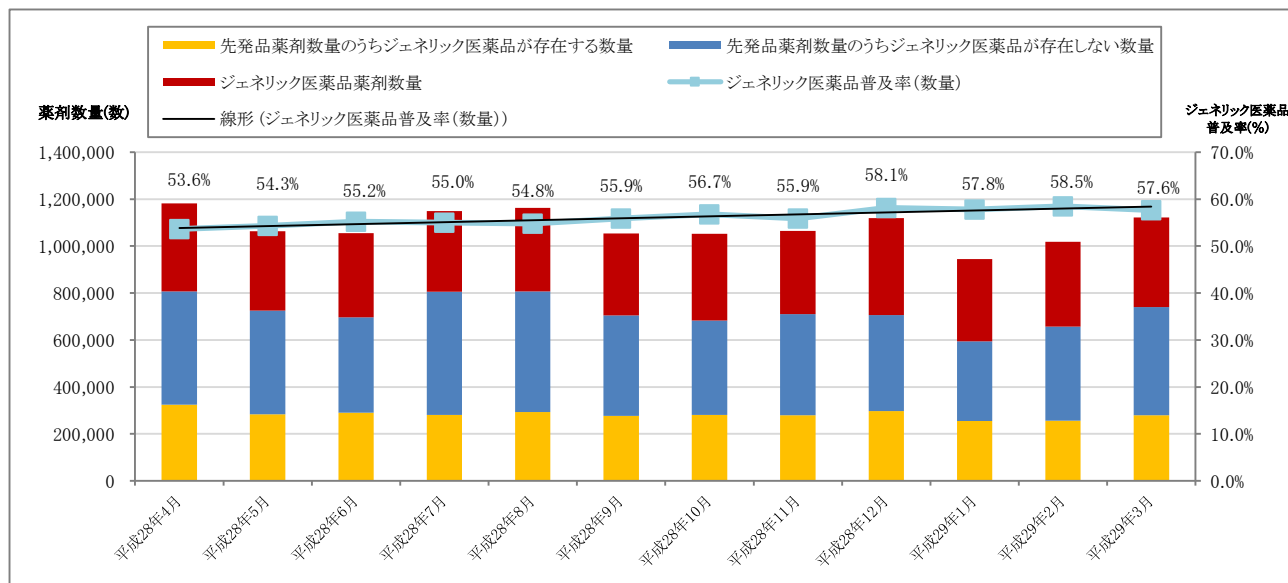
以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は31.5%(金額ベース)、56.1%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

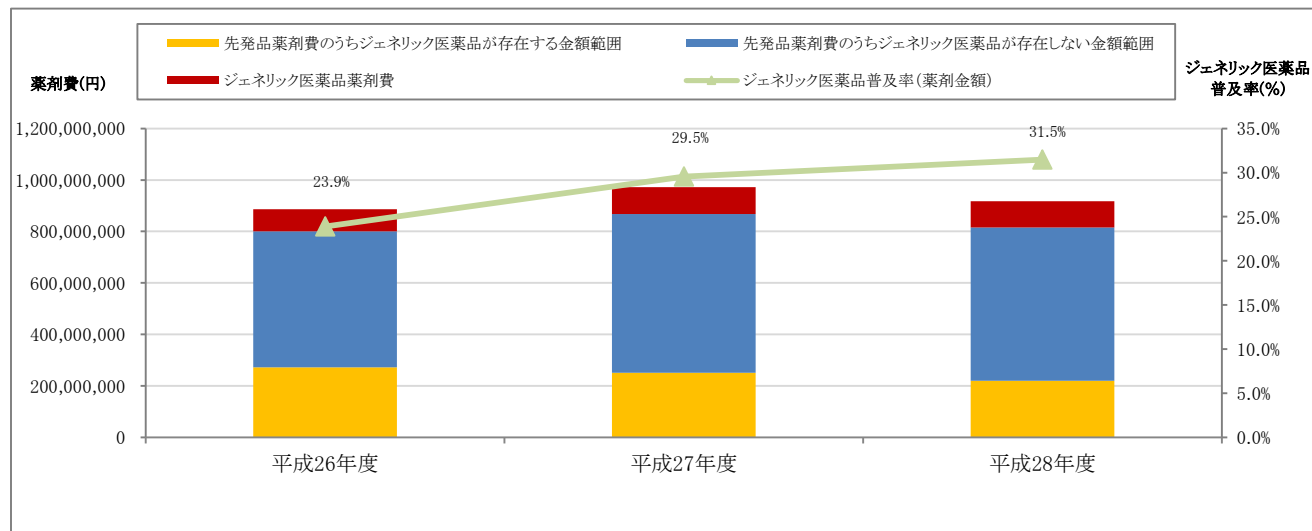
ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)31.5%は、平成26年度23.9%より7.6ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)56.1%は、平成26年度44.4%より11.7ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

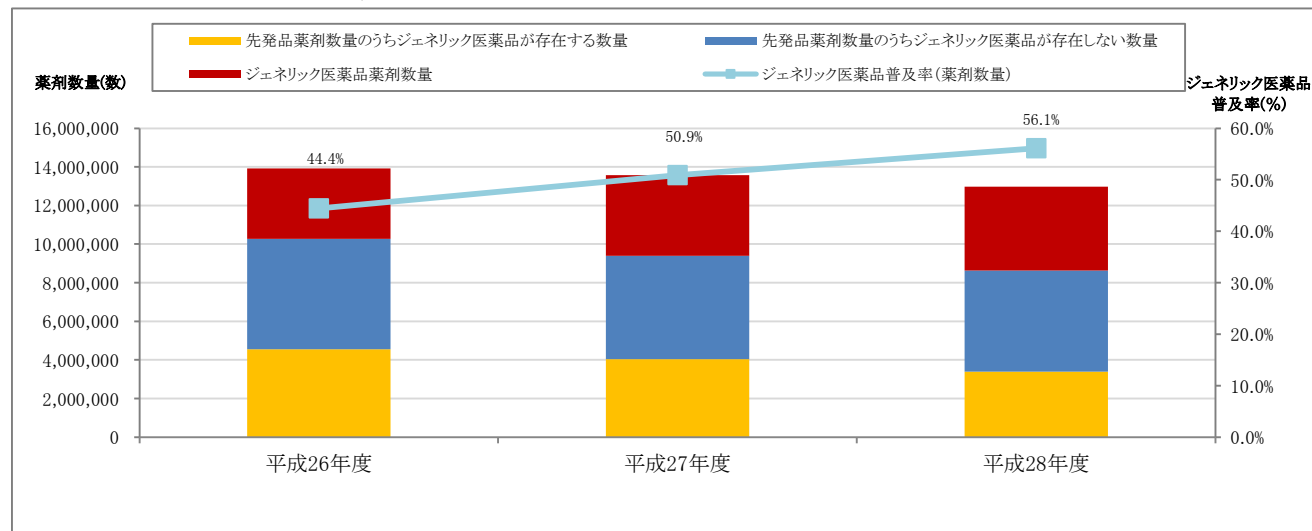


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



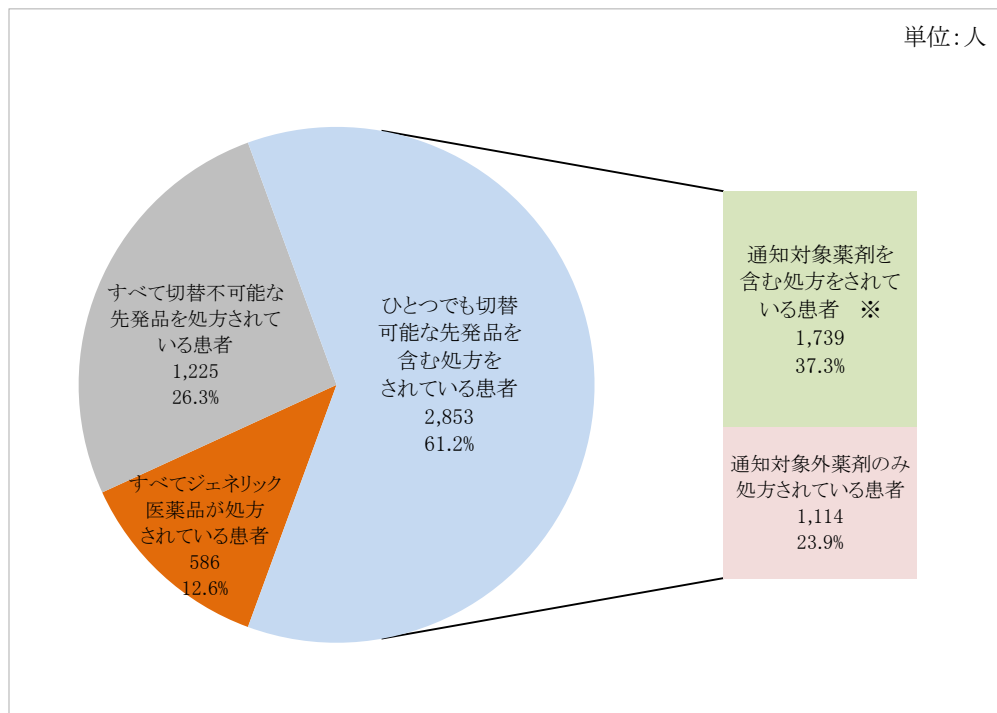
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は4,664人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は2,853人で患者数全体の61.2%を占める。さらにこのうち市基準の通知対象薬剤(※)のみに絞り込むと、1,739人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の37.3%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※市基準の通知対象薬剤…ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は325人、実人数は246人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	26	21	11	26	15	20	31	28	28	46	40	33
12カ月間の延べ人数											325	
12カ月間の実人数											246	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	246
件数合計(件)	455

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	41
2	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	32
3	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	25
4	内服	620004959	オーラップ細粒1%	内服	611170050	ウインタミン細粒(10%)	24
5	内服	620004959	オーラップ細粒1%	内服	610463221	レボトミン散10%	24
6	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	17
7	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	16
8	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	16
9	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	15
10	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	14
11	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	13
12	内服	620155101	スルトブリド塩酸塩錠200mg「アメル」	内服	622484101	オランザピンOD錠10mg「杏林」	12
13	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421116	ホクナリンテープ1mg	12
14	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	11
15	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	11
16	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	8
17	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	7
18	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	7
19	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	6
20	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	6
21	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620009062	ベネトリン吸入液0.5%	6
22	内服	620005364	エフビーOD錠2.5 2.5mg	内服	622135901	バキシルCR錠12.5mg	5
23	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	5
24	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	5
25	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	5
26	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950701	シムピコートタービュヘイラー30吸入	5
27	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムピコートタービュヘイラー60吸入	5
28	内服	620003929	クラリスロマイシン錠200mg「NPI」	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	4
29	内服	620155101	スルトブリド塩酸塩錠200mg「アメル」	内服	610451003	ジプレキサ錠10mg	4
30	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620160501	PL配合顆粒	4
31	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620004835	メブチン吸入液0.01%	4
32	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	621558101	SG配合顆粒	3
33	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	620002022	カロナール細粒20%	3
34	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	3
35	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	3
36	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	3
37	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	610451003	ジプレキサ錠10mg	3
38	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	2
39	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005619	リスベリドン錠2mg「サワイ」	2
40	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620160501	PL配合顆粒	2
41	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	2
42	内服	616140102	クラリシッド錠200mg	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	2
43	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	2
44	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	2
45	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	2
46	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620002519	ジプレキサザイディス錠10mg	2
47	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	2
48	内服	622374301	ベルソムラ錠20mg	内服	620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	2
49	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621781501	アドエア250ディスカス28吸入用 28プリストア	2
50	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621829601	アドエア250ディスカス60吸入用 60プリストア	2

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は506人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	2,225	536	588	531	723	1,298	2,216	2,656	10,773	
薬剤種類数	1種類	63	7	10	6	12	24	38	31	191
	2種類	37	4	5	6	11	36	60	44	203
	3種類	19	3	4	6	11	24	51	63	181
	4種類	13	1	7	7	10	36	55	73	202
	5種類	13	3	4	6	11	20	60	71	188
	6種類	4	2	5	4	5	21	40	60	141
	7種類	4	0	1	1	4	15	23	39	87
	8種類	3	1	5	4	8	9	19	32	81
	9種類	1	2	2	1	3	5	20	26	60
	10種類	3	2	1	0	1	6	18	14	45
	11種類	1	2	1	0	3	4	5	6	22
	12種類	0	0	0	2	1	1	6	10	20
	13種類	0	0	1	0	0	1	6	6	14
	14種類	0	0	1	1	2	0	2	5	11
	15種類	0	0	1	1	1	1	2	3	9
	16種類	1	1	0	2	0	0	1	1	6
	17種類	1	0	0	1	0	1	0	1	4
	18種類	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	19種類	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	20種類	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	21種類以上	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	164	28	48	49	85	205	406	486	1,471	



長期多剤服薬者数(人)※	506
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者506人が被保険者全体に占める割合は4.7%、長期服薬者全体に占める割合は34.4%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	2,225	536	588	531	723	1,298	2,216	2,656	10,773
B	長期服薬者数(人)※	164	28	48	49	85	205	406	486	1,471
C	長期多剤服薬者数(人)※	19	10	18	18	30	65	142	204	506
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.9%	1.9%	3.1%	3.4%	4.1%	5.0%	6.4%	7.7%	4.7%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	11.6%	35.7%	37.5%	36.7%	35.3%	31.7%	35.0%	42.0%	34.4%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	精神及び行動の障害	439,923,804円
2位	循環器系の疾患	413,859,234円
3位	新生物<腫瘍>	404,171,918円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	5,215人
2位	消化器系の疾患	4,674人
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,463人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	374,403円
2位	周産期に発生した病態	335,979円
3位	新生物<腫瘍>	142,164円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	296,628,254円
2位	高血圧性疾患	164,657,869円
3位	腎不全	157,274,254円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	3,020人
2位	糖尿病	2,937人
3位	その他の消化器系の疾患	2,733人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	824,885円
2位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	742,959円
3位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	737,881円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	880件
高額レセプト件数割合	0.6%
高額レセプト医療費割合	26.8%
高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)	患者一人当たりの医療費
1位 白血病	8,619,185円
2位 その他の周産期に発生した病態	6,976,010円
3位 真菌症	6,372,580円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	363人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	46人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	36人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	20人

【医療機関受診状況】

重複受診者	40人
頻回受診者	116人
重複服薬者	209人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	56.1%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	246人
-----------	------

【服薬状況】

長期多剤服薬者	506人
---------	------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成 26 年度	1位	循環器系の疾患	480,507,005円
	2位	精神及び行動の障害	452,570,245円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	351,797,863円
平成 27 年度	1位	精神及び行動の障害	462,068,241円
	2位	循環器系の疾患	442,576,715円
	3位	新生物<腫瘍>	353,891,396円
平成 28 年度	1位	精神及び行動の障害	439,923,804円
	2位	循環器系の疾患	413,859,234円
	3位	新生物<腫瘍>	404,171,918円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成 26 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	322,242,038円
	2位	高血圧性疾患	199,739,522円
	3位	糖尿病	159,315,491円
平成 27 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	321,199,762円
	2位	高血圧性疾患	187,943,351円
	3位	糖尿病	157,580,253円
平成 28 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	296,628,254円
	2位	高血圧性疾患	164,657,869円
	3位	腎不全	157,274,254円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	799件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	24.5%
平成 27 年度	高額レセプト件数	883件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	26.6%
平成 28 年度	高額レセプト件数	880件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	26.8%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	16,993,100円
	2位	腎不全	5,723,446円
	3位	くも膜下出血	5,238,270円
平成 27 年度	1位	くも膜下出血	11,926,940円
	2位	その他の精神及び行動の障害	8,294,830円
	3位	パーキンソン病	7,814,980円
平成 28 年度	1位	白血病	8,619,185円
	2位	その他の周産期に発生した病態	6,976,010円
	3位	真菌症	6,372,580円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	44.4%	50.9%	56.1%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

(平成28年度数値)

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が延べ10,567人存在し、医療費も692,755,828円と多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者が363人、生活習慣病治療中断者が46人存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が20人存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者が40人、頻回受診者が116人、重複服薬者が209人存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 本市の普及率は56.1%と国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知
<p>◆薬剤併用禁忌 薬剤併用禁忌対象者が246人存在する。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤併用禁忌防止
<p>◆服薬の状況 長期多剤服薬者が506人存在する。多剤服薬は副作用が起こりやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬情報通知

5. 保健事業実施計画

(1) 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
1	特定健康診査受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
2	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、訪問等で行う。
3	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
4	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
5	健診異常値放置者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
6	受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	対象者への通知率 100%	対象者の特定健康診査受診率 20% 増加 特定健康診査受診率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者の指導実施率 80% 以上	特定保健指導実施率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 80% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 80% 指導完了者の検査値改善率 80% 人工透析患者数 30人以下
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率 (数量ベース) 80%
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。 受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	健診異常値放置者 50% 減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 50% 以上	指導完了者の受診行動適正化 改善率 30% 指導完了者の医療費 10% 減少 重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少

(2) 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

① 特定健康診査受診勧奨事業

【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

実態把握事業

未受診理由のアンケート調査、分析

地域間格差による受診実態の把握

特定健康診査を受診していない者への受診勧奨

啓発事業

若年層対策_消防団の協力を得て受診勧奨

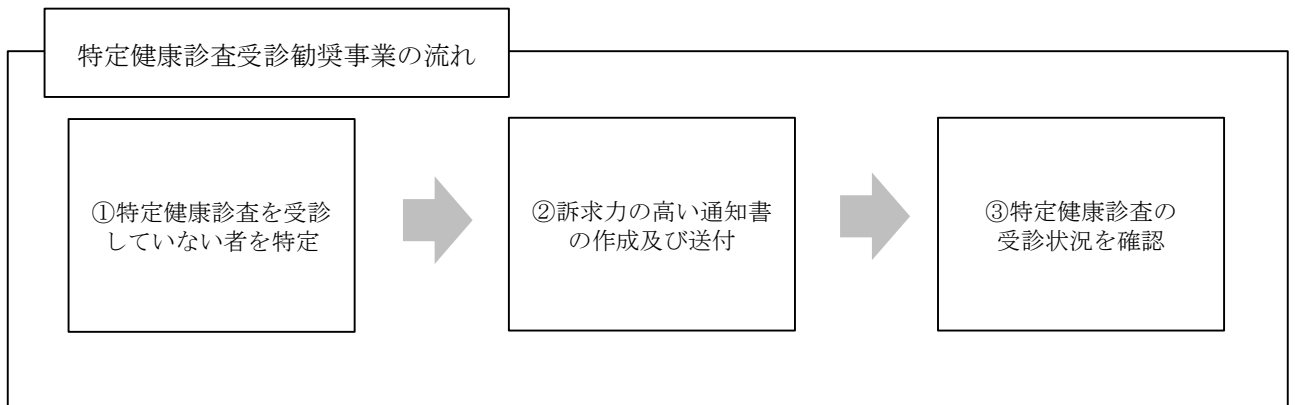
保健衛生委員、食生活改善推進委員などソーシャルキャピタルの育成と協力要請

訴求力の高い健康カレンダーを配布

啓発ポスターの掲示(地区公民館など)

医師会への協力要請

【実施内容】



年に一度、特定健診を受けましょう!!

近年、食生活の偏りや運動不足などにより生活習慣病にかかる方が増えています。生活習慣病は自覚症状が無く進行するため、体調の変化に気づかず重症化するケースが大変多いです。

自身の健康管理・維持のために毎年一度は健康診断を受ける習慣をつけましょう!

この通知は平成29年3月時点で特定健康診査の受診が確認されていない方にお送りさせていただいております。本状と行き違いです。受診またはご予約いただいている場合はなにとぞご容赦ください。

特定健診では

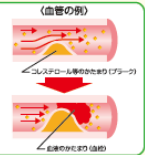


などの病気を未然に防ぐこと、また早期に見出し重症化させないことを目的としています。

気づかないうちにあなたのからだにも・・・

このまま病院を受診せずにいると、血管がもろくなったり、神経が痛ついたりしてきます。

(血管の例)



→ ストレスや喫煙等のためアテローム

→ 血管の弾力性(柔軟)

↓

知らぬ間に重症化し、深刻な状態になるおそれがあります。



心筋梗塞
狭心症
脳梗塞
下腿の壊死
突然死

山梨市個別医療機関特定健診のご案内

健診実施医療機関一覧

市	医療機関名	所在地	電話番号	健診日・時間
山梨市	新元病院	山梨市南台548	0553-22-7922	予約健診
	集積病院	山梨市小原259	0553-22-0019	予約健診
	基幹総合病院	山梨市上野内11309	0553-22-6351	予約健診(指定日あり)
	道のクリニック	山梨市東穂積964-8	0553-20-1860	予約健診
	武井病院	山梨市上野内11174	0553-22-0029	診察日の午前のみ受付
	中央内科クリニック	山梨市上野内1147	0553-22-1008	月曜日～土曜日(午前中)
	クロスクリニック	山梨市下石巻1338-25	0553-20-8188	予約健診
	赤本病院	山梨市下野内1208-3	0553-22-0121	月曜日～土曜日(午前・午後)
	山梨市立東郷人形病院	山梨市上野内11172	0553-20-1230	予約健診
	西川病院	山梨市牧野町772	0553-35-2951	月曜日～土曜日(午前・午後)
甲州市	東郷病院	山梨市三所1141	0553-20-1565	予約健診
	山梨市立病院	山梨市南台809	0553-23-1311	予約健診(指定日あり)
	あめみや病院	甲州市富山(上野内)419	0553-32-6511	月曜日～土曜日(午前・午後)
	池田小児科病院	甲州市藤原(南台)2961	0553-44-0613	予約健診(予約なし)
	富山市民病院	甲州市富山(西)433-1	0553-32-0111	予約健診
	富山クリニック	甲州市富山下町1133-2	0553-32-6507	予約健診
	東郷病院	甲州市富山上町277-1	0553-32-8111	予約健診
	富山 聖一内科クリニック	甲州市富山下町236-8	0553-38-8233	月曜日～土曜日(午前・午後)
	富山クリニック	甲州市富山(上野内)1965	0553-32-1151	予約健診(予約なし)
	私設診療所	甲州市富山(上野内)1842-1	0553-38-8333	予約健診
西野ファミリークリニック	甲州市富山下町1833	0553-44-1131	予約健診	
あめみや病院クリニック	甲州市下郷(南台)480-1	0553-33-6300	予約健診	

受診の手順

- 1 **市役所健康増進課に受診券発行依頼**
お問い合わせをして頂き、受診券を発行してください。
- 2 **健診のお申込み**
直接医療機関へ申し込みをしてください。
(※かかりつけの方のみ対応の医療機関もありますのでご注意ください。)
- 3 **持ち物の準備**
受診に必要なもの
・保険証 ・受診券
・自己負担金1,000円
- 4 **健診を受診**
受診に必要なもの
・保険証・自己負担金・受診券を持参の上、予約した医療機関で健診を受診してください。
- 5 **健診結果**
健診の結果は、受診した医療機関から直接お返しします。
—平成30年2月28日(水)まで受診できます。—

特定健診を受けるメリット

- ▶ ご自身の健康状態を確認できます。
- ▶ 糖尿病や心臓病・脳卒中等を予防し、いつまでも健やかな生活を送るにつながります

● 特定健康診査

40歳以上の山梨市国民健康保険加入者に対し、糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防を図るため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に重点した健康診査を実施します。

問診

血液検査

血圧測定

尿検査

◇

身体測定

診察

[検査項目]

[対象者および検査料金]

40歳以上の山梨市国民健康保険加入者

1,000円

お気軽にご相談・お問い合わせください

〒405-8501 山梨市小原西843
山梨市役所 健康増進課

☎ 0553-22-1111
(内線1162～1169)

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の特定健康診査受診率 55% 事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 60% 特定健康診査受診率を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定											←→	
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)		←→									←→		
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定											←→	
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)		←→									←→		
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定											←→	
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)		←→									←→		
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定											←→	
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)		←→									←→		
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定											←→	
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)		←→									←→		
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定											←→	
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)		←→									←→		



②特定保健指導事業

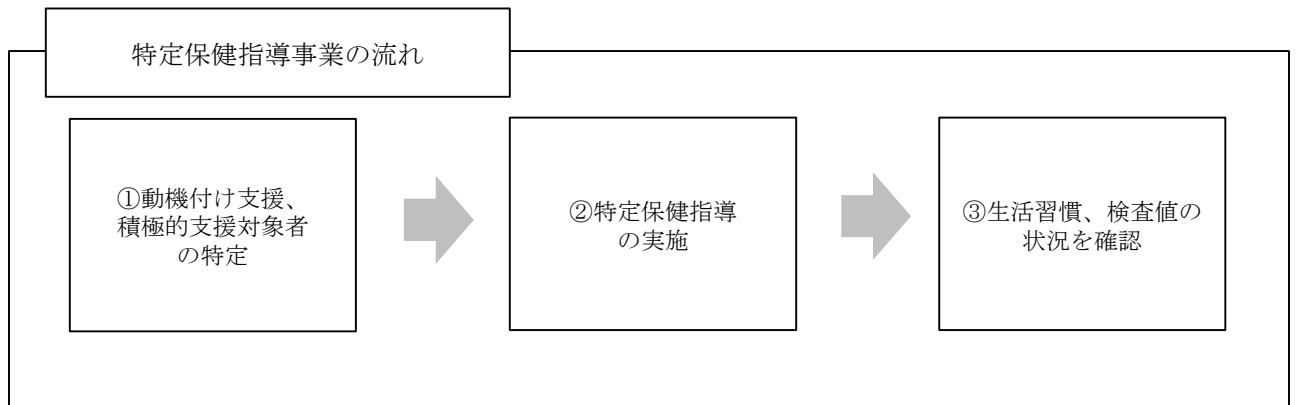
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者の指導実施率 80% 以上	特定保健指導実施率 60%	特定保健指導実施率の確認(法定報告値)

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施	←												
	C(効果測定)	効果測定										←			
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													←
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施	←												
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													←
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施	←												
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													←
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施	←												
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													←
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施	←												
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													←
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施	←												
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													←
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←	



③糖尿病性腎症重症化予防事業

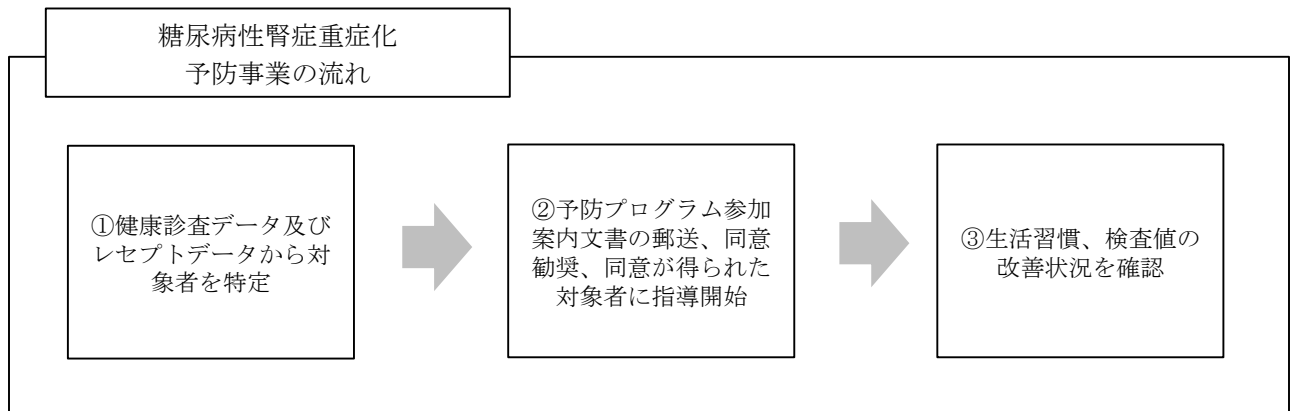
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 80% 以上	短期 指導完了者の生活習慣改善率 80%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期 人工透析患者数 30人以下	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→



④ジェネリック医薬品差額通知事業

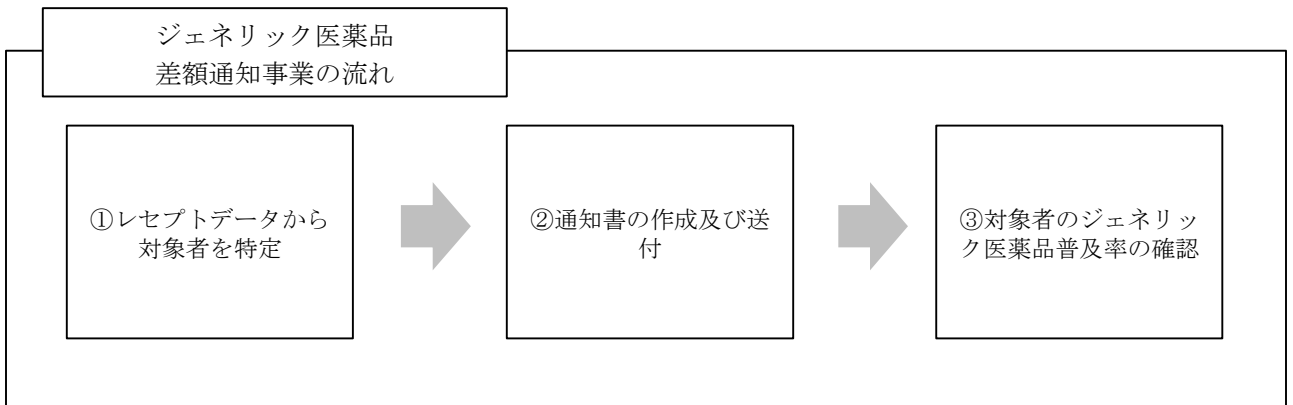
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が200円以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

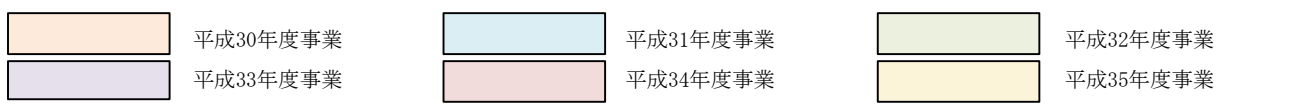
アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%
	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%を継続
		通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する。ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施		↔			↔			↔			↔		
	C(効果測定)	効果測定			←	→									
		効果確認			←	→									
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													↔	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施		↔			↔			↔			↔		
	C(効果測定)	効果測定			←	→									
		効果確認			←	→									
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													↔	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施		↔			↔			↔			↔		
	C(効果測定)	効果測定			←	→									
		効果確認			←	→									
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													↔	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施		↔			↔			↔			↔		
	C(効果測定)	効果測定			←	→									
		効果確認			←	→									
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													↔	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施		↔			↔			↔			↔		
	C(効果測定)	効果測定			←	→									
		効果確認			←	→									
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													↔	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施		↔			↔			↔			↔		
	C(効果測定)	効果測定			←	→									
		効果確認			←	→									
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													↔	



⑤健診異常値放置者受診勧奨事業

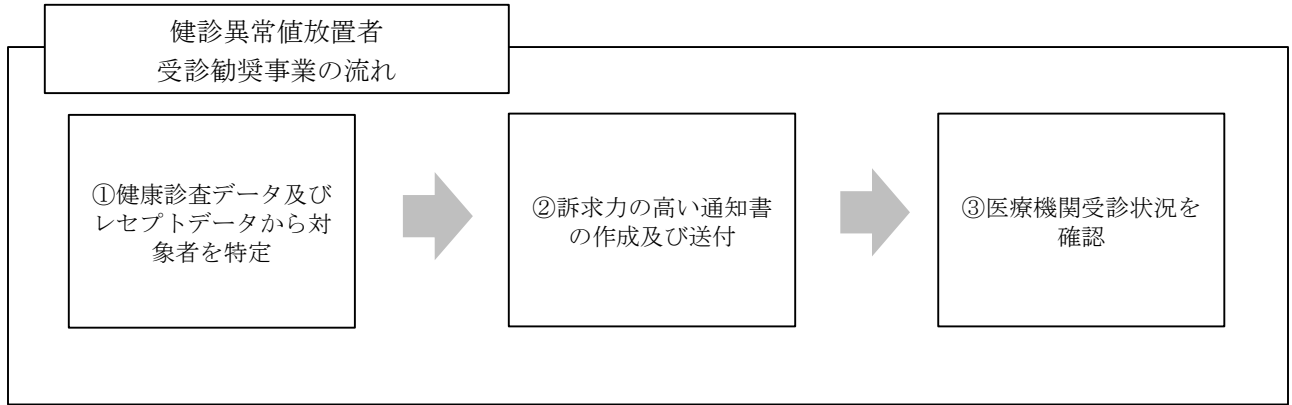
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

あなたの健康状態を確認しましょう。

**特定健康診査
レポート
の見た**

※あなたの検査数値が
円の外側に位置する
ほど要注意です。

糖尿病の発症リスク 4.3倍
※同性同年齢と比べた
あなたの現在のリスク

心血管病の発症リスク 1.6倍
※同性同年齢と比べた
あなたの現在のリスク

検査項目	検査値	基準値	リスク
空腹血糖	131	84	187
HbA1c	5.8	5.3	27
LDLコレステロール	139	80	102
総コレステロール	140	90	174
中性脂肪	140	90	164
尿酸	140	90	39
血圧	140/90	120/80	5.6
BMI	21.0	18.5	98
骨密度	1.00	1.00	30.3

あなたのデータは裏面でお知らせしています。

あなたのお体の状態についてのお知らせ

平成28年09月08日に受けられた特定健康診査結果は以下の通りです。
あなたの健康のため、医療機関の受診をお勧めします。

糖尿病の発症リスク 同性同年齢と比べたあなたの現在のリスク **2.8倍**

心血管病の発症リスク 同性同年齢と比べたあなたの現在のリスク **1.4倍**

※あなたの検査値をもとに、10年間の糖尿病、心血管病の発症リスク^{※1}を予測しています。

あなたの数値

検査項目	検査値	基準値	リスク
空腹血糖	130	84	187
HbA1c	5.8	5.3	27
LDLコレステロール	139	80	102
総コレステロール	140	90	174
中性脂肪	140	90	164
尿酸	140	90	39
血圧	140/90	120/80	5.6
BMI	21.0	18.5	98
骨密度	1.00	1.00	30.3

●平成28年09月08日結果
○平成27年10月26日結果
○平成28年11月09日結果

右図はあなたの特定健康診査の結果です。

●要治療・精密検査ゾーン
○要経過観察・生活改善ゾーン
○経過観察ゾーン
○健康なゾーン

※1 この発症予測は、福岡県久山地域における疫学研究に関する次の論文にもとづいています。
1. Arima H, et al. Hypertens Res 32:1119,2009 2. Doi Y, et al. Diabetic Med 29:107,2012

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の医療機関受診率 15%	通知後医療機関を受診したか確認 する。
	中長期 対象者の医療機関受診率 30%	

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		⇔										
		指導実施				⇔								
	C(効果測定)	効果測定					⇔							
		効果確認												⇔
	A(改善)	改善計画												⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												⇔	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		⇔										
		指導実施				⇔								
	C(効果測定)	効果測定					⇔							
		効果確認												⇔
	A(改善)	改善計画												⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												⇔	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		⇔										
		指導実施				⇔								
	C(効果測定)	効果測定					⇔							
		効果確認												⇔
	A(改善)	改善計画												⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												⇔	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		⇔										
		指導実施				⇔								
	C(効果測定)	効果測定					⇔							
		効果確認												⇔
	A(改善)	改善計画												⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												⇔	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		⇔										
		指導実施				⇔								
	C(効果測定)	効果測定					⇔							
		効果確認												⇔
	A(改善)	改善計画												⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												⇔	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		⇔										
		指導実施				⇔								
	C(効果測定)	効果測定					⇔							
		効果確認												⇔
	A(改善)	改善計画												⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												⇔	



⑥受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

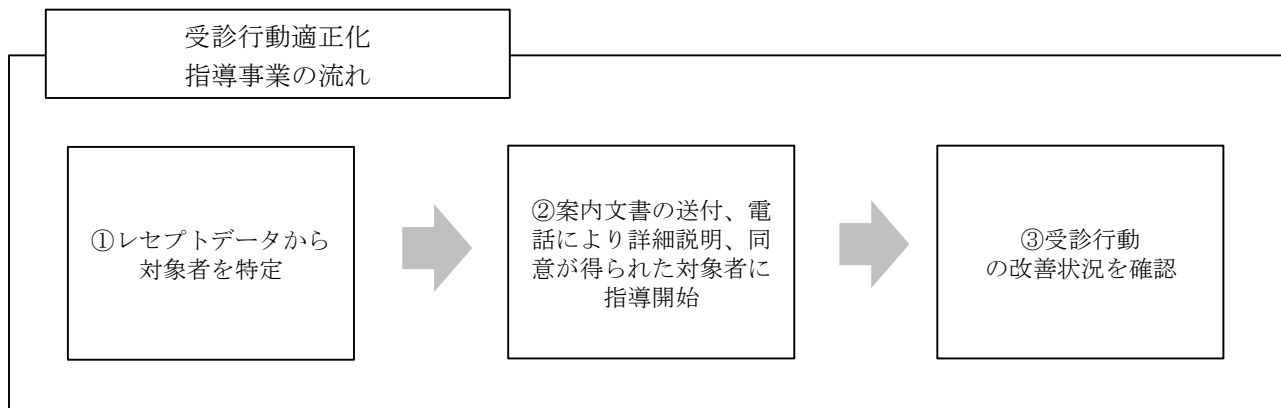
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 50% 以上	短期 指導完了者の受診行動適正化改善率 30% 指導完了者の医療費 10% 減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期 重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少	多受診対象者数の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→



6. 地域包括ケアに係る取り組み

現状と課題

本市の高齢化率(65歳以上)は31.5%と、全国の27.5%や山梨県の28.8%と比較しても高く、医療費の増加だけでなくロコモやフレイルといった健康問題も表出する可能性がある。本市は牧丘・三富地域などの山岳地域も含んでおり、高低差のあることが地理的な特徴として挙げられる。国保データにおいて、地域ごとの疾病別医療費統計では、地域ごとの患者数の順位に、特徴となる大きな違いはみられていない現状がある。しかし、実際の保健事業や介護予防事業を進めていく際には、地域の地理的な状況や地域柄、集落などの組織の力量といった(数字には見えないような)ネットワークなども勘案し事業を進めていく必要がある。

取り組み内容

- ①介護保険課を主体に、住み慣れた地域でできる限り継続して生活を送ることができるように、「地域包括ケアシステム」の構築を目指すものとする。地域包括ケアに係る現状分析では、「見える化システム」を活用するとともに、医療と介護の専門職を中心とし多職種が「山梨市の在宅医療と介護を語る会」を定期的に開催し、健康増進課や市民課国保担当者の協力を得ながら、市の医療と介護の連携における課題を分析し、対応策を検討する。
- ②国保年金担当が持つKDBデータ、地域包括支援担当が持つ地域包括ケアシステム、さらには地域の持つ住民力を元に、福祉課や政策秘書課(まちづくり政策部門)などの各面からの意見を取り入れていくことが重要になる。
- ③地域で被保険者を支える仕組みとして、“見守りネットワーク協定”の締結を増やし、ネットワーク化することにより、多くの目で被保険者を見守る体制を整備する。また、介護予防や健康増進に繋がる講座や、自主活動するサークルへの新規加入を促す講座を開催することが望まれる。
さらに、“ふれあいいいきサロン”未開設地域への働きかけをすると同時に、地域における人材発掘に努める。
- ④今後は医療・介護・保健・福祉、住まいなど暮らし全般を支えるため、国保担当者も含めた関係課による庁内検討会及び地域ケア会議を開催する予定であり、外部組織の関係者との情報共有の仕組みづくりを行うとともに、高齢者の居場所づくりなどの住民主体の地域活動の支援も実施していく。
- ⑤医療と介護の連携推進事業においては、市立牧丘病院に、事業の連携推進拠点「サポートやまなし」を設置し、在宅医療の推進と介護サービスの提供を切れ目なく行う仕組みづくりに向けた取り組みを継続して強化していく。

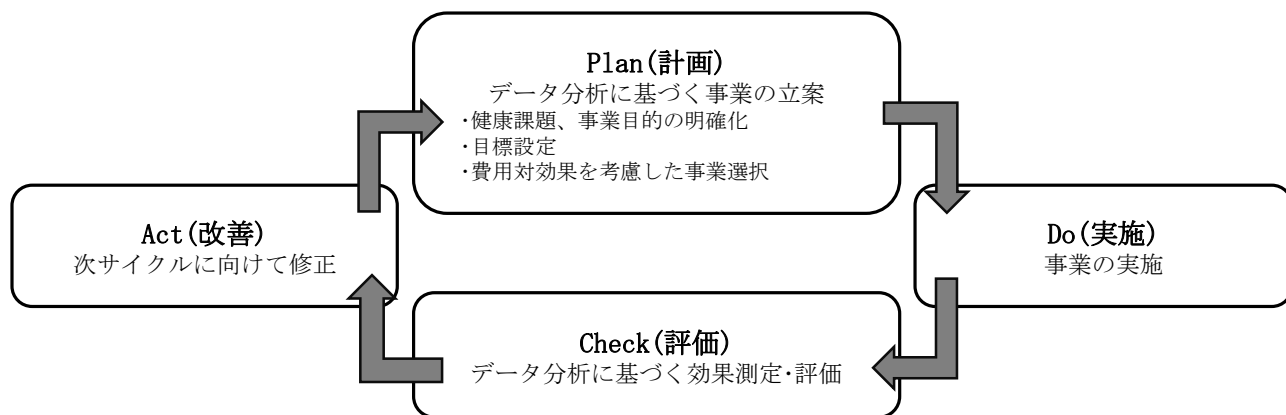
7. その他

(1) データヘルス計画の見直し

① 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

② 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

(2) 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について山梨市国民健康保険運営協議会に意見を求めるものとする。

(3) 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

第4章
第3期特定健康診査等実施計画

1. 計画の基本事項

第2期データヘルス計画に位置づけた6つの保健事業は、短期・中期・長期的な視点から被保険者の健康維持増進と医療費削減を目指すものであり、これらの中核をなす特定健康診査及び特定保健指導について、「第3期山梨市特定健康診査等実施計画」として本計画に位置づける。

(1) 特定健康診査及び特定保健指導

本計画に記載すべき事項は、国の「特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針」の定めによるものとする。

特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防し、生活習慣の改善を図ることを目的として、メタボリックシンドロームに着目した健康診査(特定健康診査)を行い、その結果から生活習慣病のリスクの高い者を抽出し、その対象者に対して生活習慣の改善のための保健指導を行うことになる。

(2) 生活習慣病予防の意義

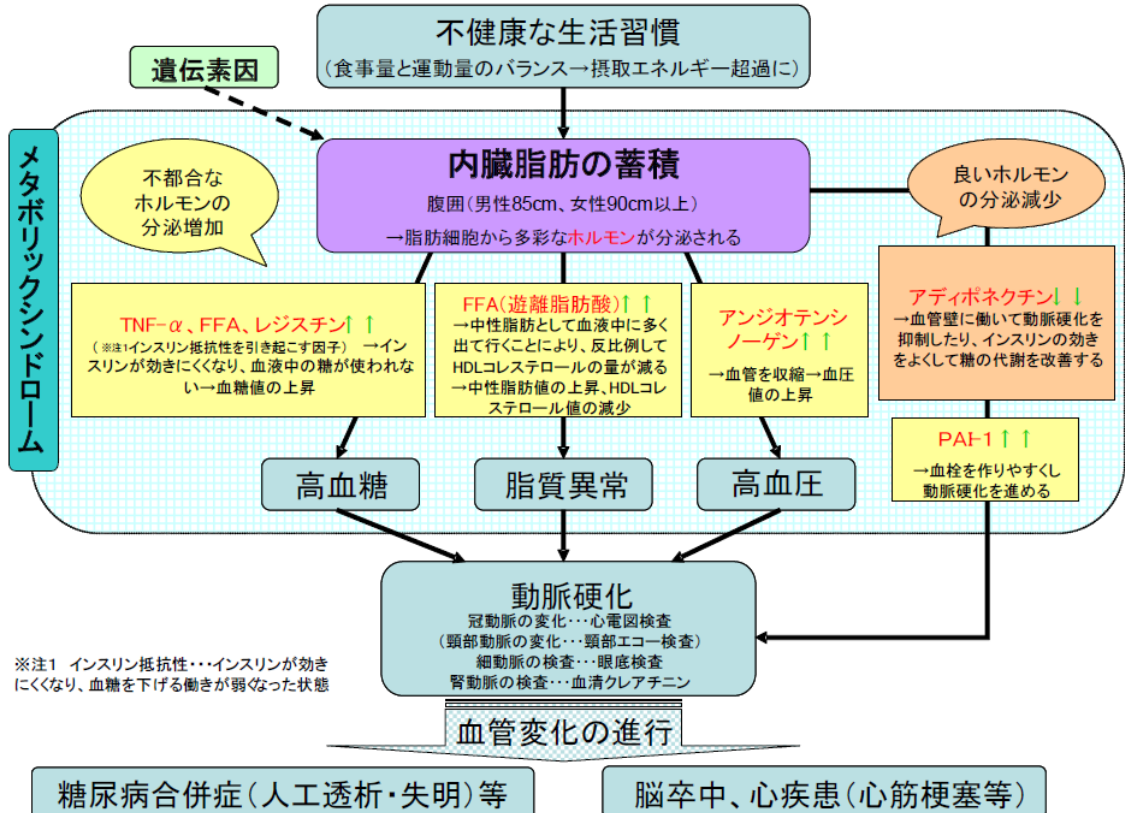
不適切な食生活や運動不足等の不健康な生活習慣は、やがて高血圧症、糖尿病、脂質異常症、肥満症等の発症を招き、通院及び投薬が始まり、生活習慣の改善がないままであれば、虚血性心疾患や脳血管疾患等の発症に至るという経過をたどることになる。

このため、生活習慣の改善による糖尿病等の生活習慣病の予防対策を進め、生活習慣を予防することができれば、被保険者の健康の維持及び生活の質の向上を図るだけでなく、医療費総額の約22%を占める生活習慣病の医療費の伸びの抑制を実現することが可能となる。

(3) メタボリックシンドローム(内臓脂肪型症候群)への着目

糖尿病等の生活習慣病の発症には、内臓脂肪の蓄積(内臓脂肪型肥満)が関与しており、肥満に加え、高血糖、高血圧等の状態が重複した場合には、虚血性心疾患、脳血管疾患等の重篤な疾患の発症リスクが高くなる。このため、適度な運動やバランスのとれた食事の定着など生活習慣の改善を行うことにより、それらの発症リスクの低減を図ることが可能となる。

メタボリックシンドロームはなぜ重要か



参考資料: 今後の生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)平成15日 厚生科学審議会健康増進学業部会

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ
平成26年度～平成28年度 (3年分)
- ・ 入院 (DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分 (12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分 (12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分 (12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分 (12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分 (12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分 (12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分 (12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分 (12カ月分)

2. 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況

(1) 特定健康診査の受診率

平成20年度から平成29年度における、特定健康診査の受診状況等は以下の通りである。

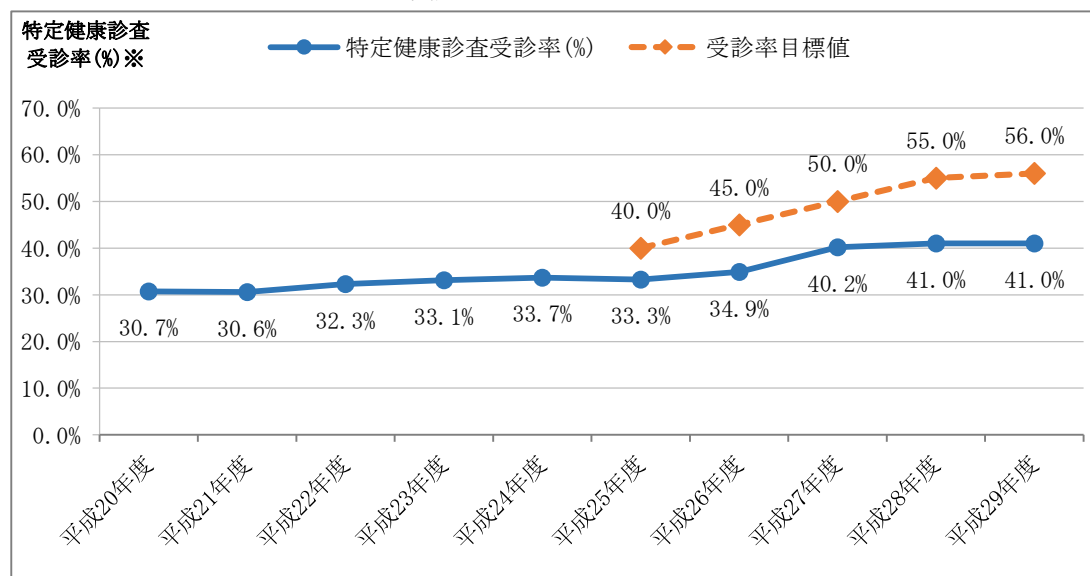
特定健康診査受診率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定健康診査対象者数(人)	7,864	7,827	7,726	7,655	7,671
特定健康診査受診者数(人)	2,415	2,396	2,494	2,531	2,582
特定健康診査受診率(%)※	30.7%	30.6%	32.3%	33.1%	33.7%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	7,575	7,494	7,271	7,072	6,928
特定健康診査受診者数(人)	2,526	2,613	2,920	2,900	2,835
特定健康診査受診率(%)※	33.3%	34.9%	40.2%	41.0%	41.0%
受診率目標値(%)	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

(2) 特定保健指導の実施率

平成20年度から平成29年度における、特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

特定保健指導実施率及び目標値

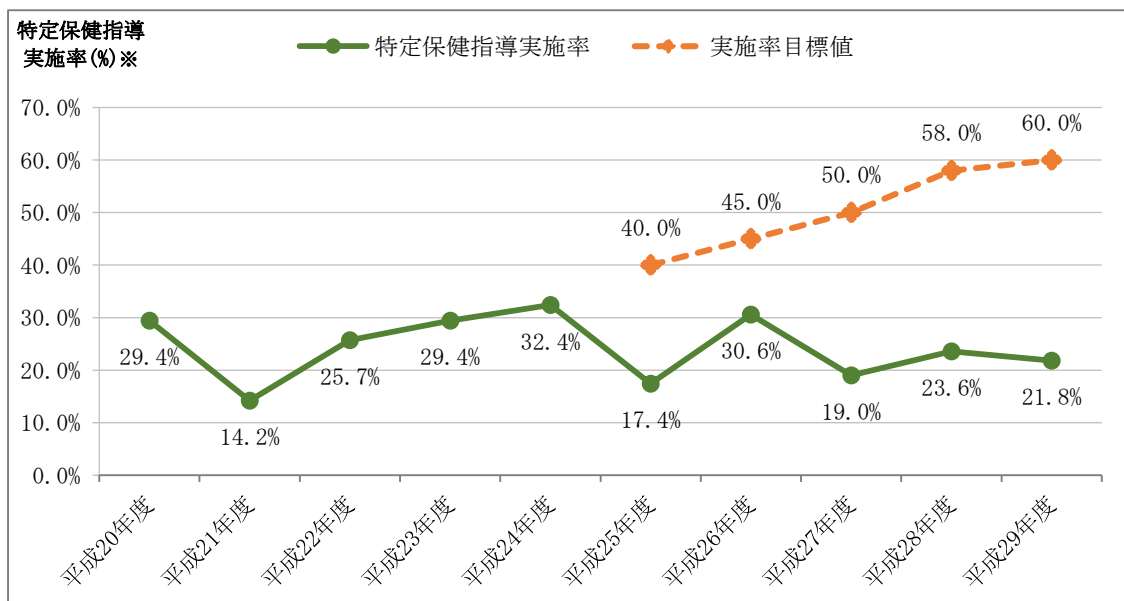
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定保健指導対象者数(人)	286	268	265	282	244
特定保健指導利用者数(人)	87	46	87	85	84
特定保健指導実施者数(人)※	84	38	68	83	79
特定保健指導実施率(%)※	29.4%	14.2%	25.7%	29.4%	32.4%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定保健指導対象者数(人)	270	255	274	267	262
特定保健指導利用者数(人)	85	72	58	53	57
特定保健指導実施者数(人)※	47	78	52	63	57
特定保健指導実施率(%)※	17.4%	30.6%	19.0%	23.6%	21.8%
実施率目標値(%)	40.0%	45.0%	50.0%	58.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

支援レベル別の特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

積極的支援実施状況

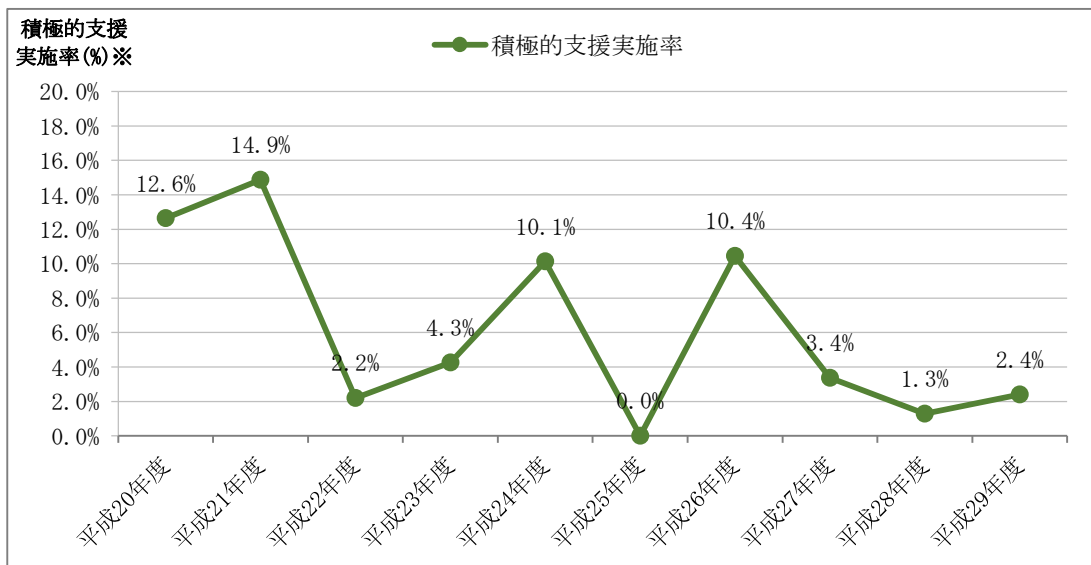
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
積極的支援対象者数(人)	87	74	91	94	79
積極的支援利用者数(人)	11	13	7	0	12
積極的支援実施者数(人)※	11	11	2	4	8
積極的支援実施率(%)※	12.6%	14.9%	2.2%	4.3%	10.1%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
積極的支援対象者数(人)	82	67	89	78	82
積極的支援利用者数(人)	7	6	5	1	2
積極的支援実施者数(人)※	0	7	3	1	2
積極的支援実施率(%)※	0.0%	10.4%	3.4%	1.3%	2.4%

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況

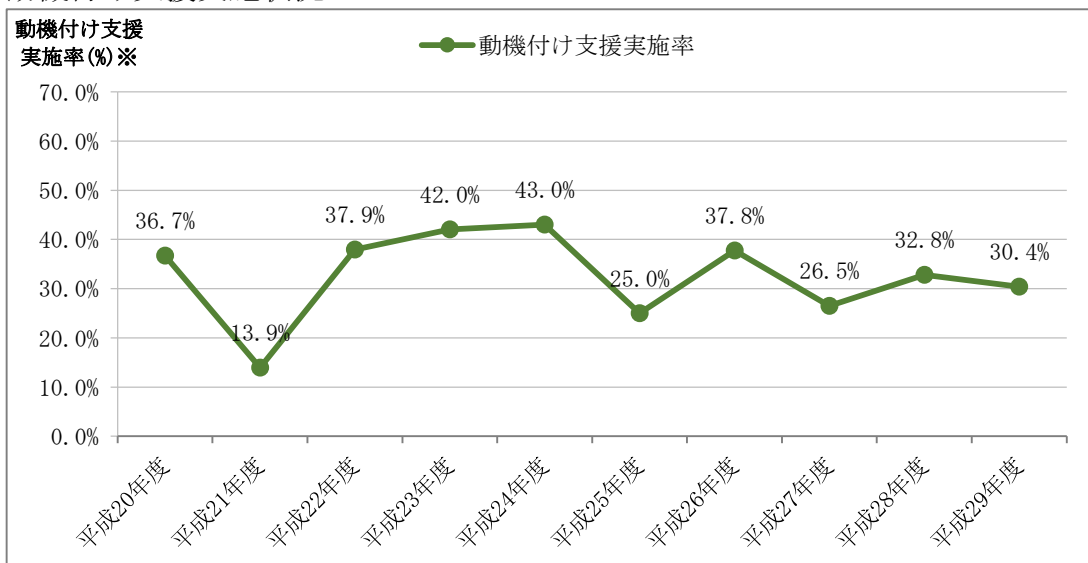
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
動機付け支援対象者数(人)	199	194	174	188	165
動機付け支援利用者数(人)	76	33	80	85	72
動機付け支援実施者数(人)※	73	27	66	79	71
動機付け支援実施率(%)※	36.7%	13.9%	37.9%	42.0%	43.0%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
動機付け支援対象者数(人)	188	188	185	189	181
動機付け支援利用者数(人)	78	66	53	52	55
動機付け支援実施者数(人)※	47	71	49	62	55
動機付け支援実施率(%)※	25.0%	37.8%	26.5%	32.8%	30.4%

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

3. 特定健康診査及び特定保健指導に係る主な取り組み

特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

【特定健康診査】

取り組み	目的	概要	実施状況
広報・ホームページへの掲載 健康カレンダーの作成	特定健康診査の周知	特定健康診査の重要性を知ってもらうため、広報やホームページ、健康カレンダーを利用し周知する。	広報5月号、健康カレンダーの全戸配布(4月) ホームページに掲載
土・日曜日健診の実施	平日に受診が困難な人に、土曜日や日曜日の健診日を設ける	平日に受診が困難な対象者に、日曜日の健診日を設ける。	土日健診を年間3回程実施
まとめ健診の実施	特定健診の受診体制の拡充	年内に健診を受けることができなかった人を対象に、1月に健診を実施する。	年明けの1月下旬に2回特定健診を実施
特定健康診査受診勧奨	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。	前年度のレセプトデータから、特定健診を受けていない人や生活習慣病関連の受診歴がない人を対象に、特定健診の受診勧奨通知を送付

【特定保健指導】

取り組み	目的	概要	実施状況
特定保健指導利用勧奨	特定保健指導実施率の向上	特定保健指導対象者の中でも人数の多い動機づけ支援の対象者に、初回面接を受けるように電話勧奨を行った後に通知文を送付する。	対象者すべてに実施

4. 特定健康診査及び特定保健指導に係る分析結果

(1) 特定健康診査結果の分析

① 有所見者割合

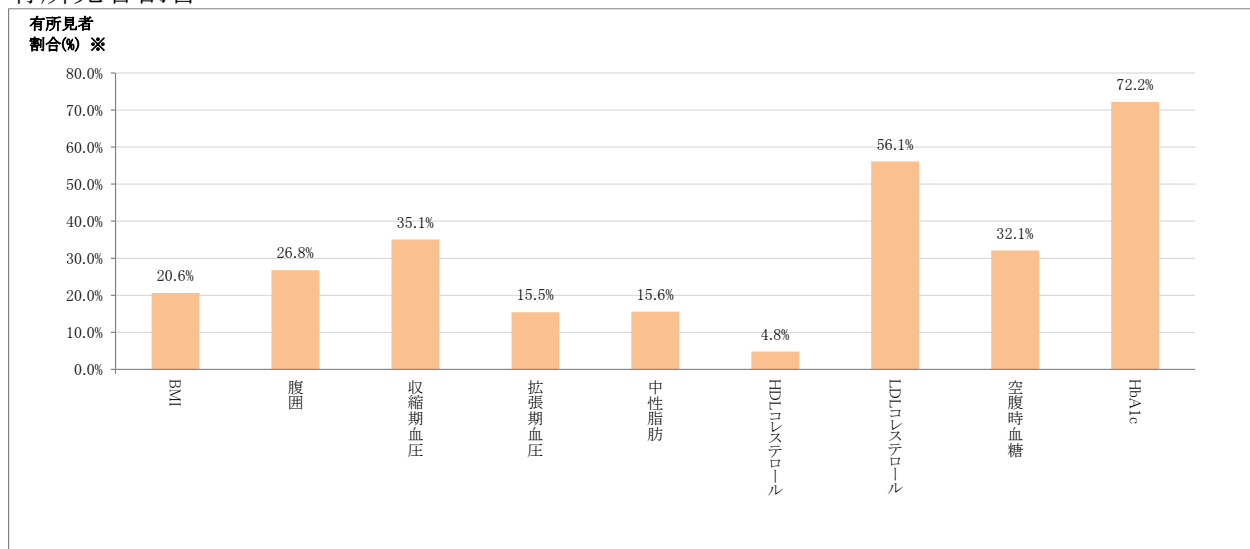
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下の通りである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,310	2,310	2,310	2,310
有所見者数(人) ※	476	619	810	357
有所見者割合(%) ※	20.6%	26.8%	35.1%	15.5%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,310	2,310	2,310	2,195	2,295
有所見者数(人) ※	360	111	1,296	705	1,656
有所見者割合(%) ※	15.6%	4.8%	56.1%	32.1%	72.2%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	464	494	476
	有所見者割合(%) ※	19.1%	20.4%	20.6%
腹囲	対象者数(人) ※	2,432	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	582	606	619
	有所見者割合(%) ※	23.9%	25.0%	26.8%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	868	864	810
	有所見者割合(%) ※	35.7%	35.7%	35.1%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	356	405	357
	有所見者割合(%) ※	14.6%	16.7%	15.5%
中性脂肪	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	386	381	360
	有所見者割合(%) ※	15.9%	15.7%	15.6%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	70	90	111
	有所見者割合(%) ※	2.9%	3.7%	4.8%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	1,514	1,432	1,296
	有所見者割合(%) ※	62.2%	59.1%	56.1%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	2,269	2,266	2,195
	有所見者数(人) ※	730	715	705
	有所見者割合(%) ※	32.2%	31.6%	32.1%
HbA1c	対象者数(人) ※	2,407	2,413	2,295
	有所見者数(人) ※	1,535	1,656	1,656
	有所見者割合(%) ※	63.8%	68.6%	72.2%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

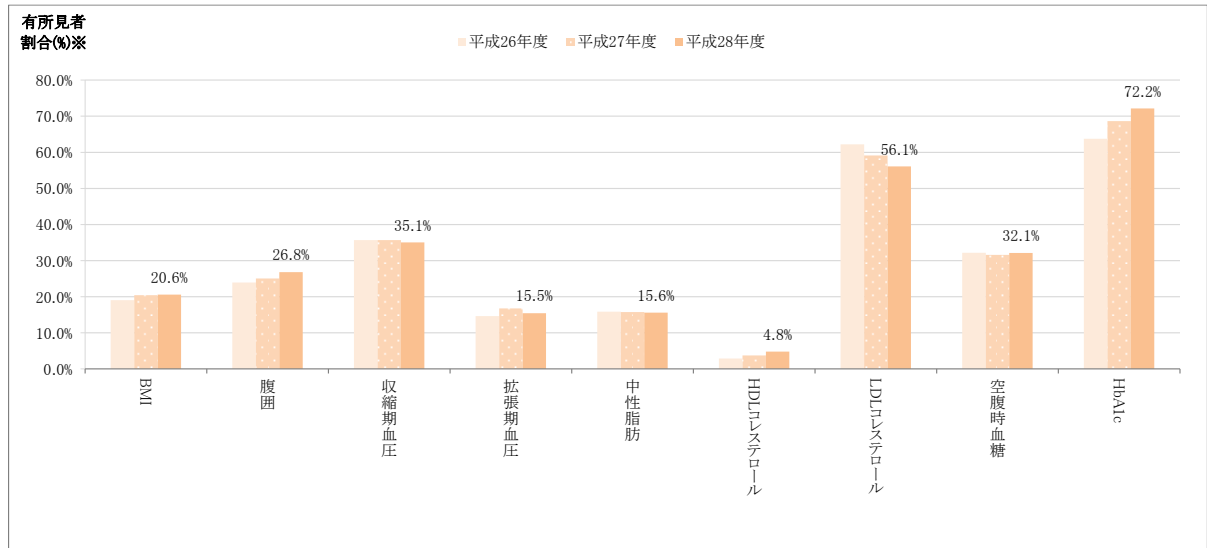
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

②質問別回答状況

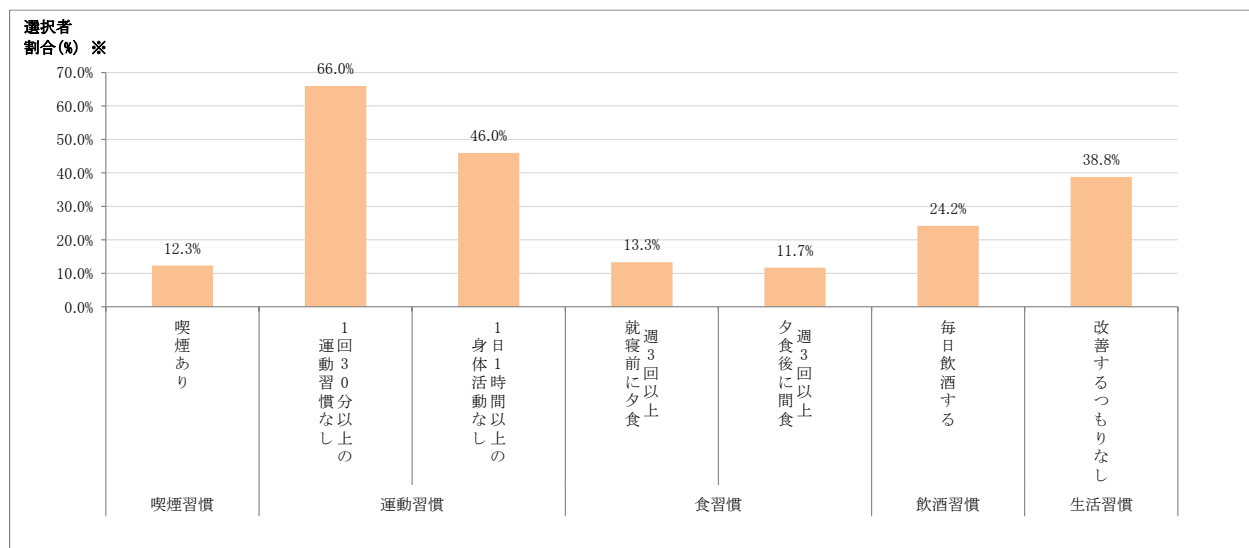
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況は以下の通りである。

質問別 回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,310	2,310	2,310
選択者数(人) ※	285	1,524	1,062
選択者割合(%) ※	12.3%	66.0%	46.0%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,310	2,310	2,309	2,309
選択者数(人) ※	308	271	559	896
選択者割合(%) ※	13.3%	11.7%	24.2%	38.8%

質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況を年度別に示す。

年度・質問別 回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
		選択者数(人) ※	294	296	285
		選択者割合(%) ※	12.1%	12.2%	12.3%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	2,294	2,422	2,310
		選択者数(人) ※	1,536	1,585	1,524
		選択者割合(%) ※	67.0%	65.4%	66.0%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	2,294	2,422	2,310
		選択者数(人) ※	963	1,039	1,062
		選択者割合(%) ※	42.0%	42.9%	46.0%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	2,294	2,422	2,310
		選択者数(人) ※	285	326	308
		選択者割合(%) ※	12.4%	13.5%	13.3%
	週3回以上夕食後に間食	質問回答者数(人) ※	2,293	2,422	2,310
		選択者数(人) ※	257	279	271
		選択者割合(%) ※	11.2%	11.5%	11.7%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	2,294	2,421	2,309
		選択者数(人) ※	514	544	559
		選択者割合(%) ※	22.4%	22.5%	24.2%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	2,294	2,422	2,309
		選択者数(人) ※	1,006	1,096	896
		選択者割合(%) ※	43.9%	45.3%	38.8%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

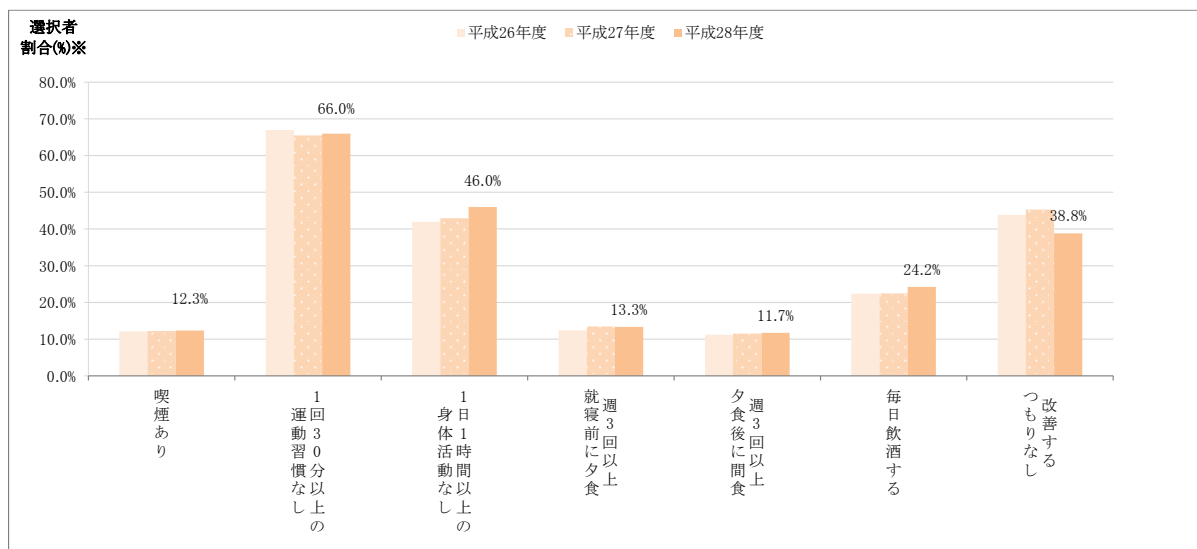
毎日飲酒する

…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

年度・質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

③特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の45.8%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の45.7%である。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	2,502	33.9%	2,882,559	103,351,993	106,234,552
健診未受診者	4,870	66.1%	20,141,313	246,265,157	266,406,470
合計	7,372		23,023,872	349,617,150	372,641,022

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	32	1.3%	1,145	45.8%	1,145	45.8%	90,080	90,264	92,781
健診未受診者	183	3.8%	2,207	45.3%	2,226	45.7%	110,062	111,584	119,679
合計	215	2.9%	3,352	45.5%	3,371	45.7%	107,088	104,301	110,543

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

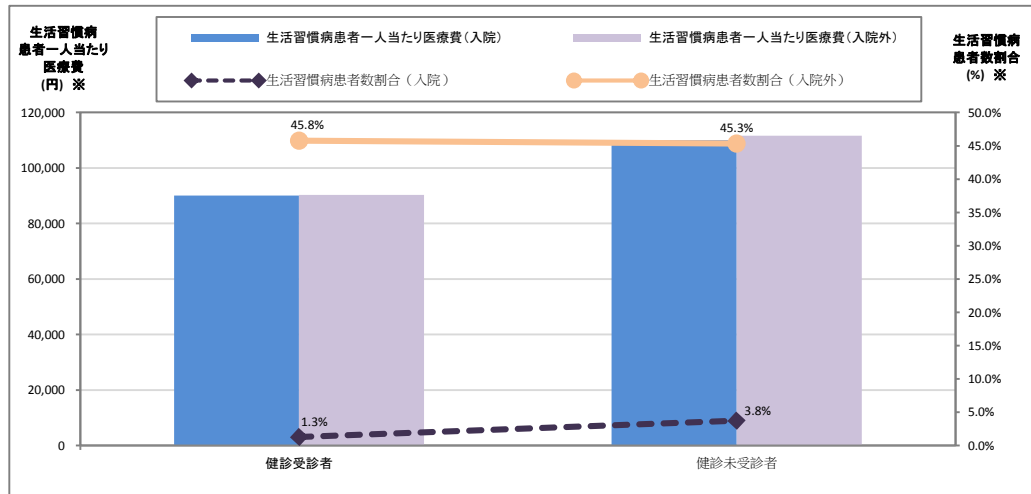
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

(2) 特定保健指導の効果分析

特定保健指導の効果について、平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況より分析する。基準該当317人、予備群該当216人である。

メタボリックシンドローム該当状況

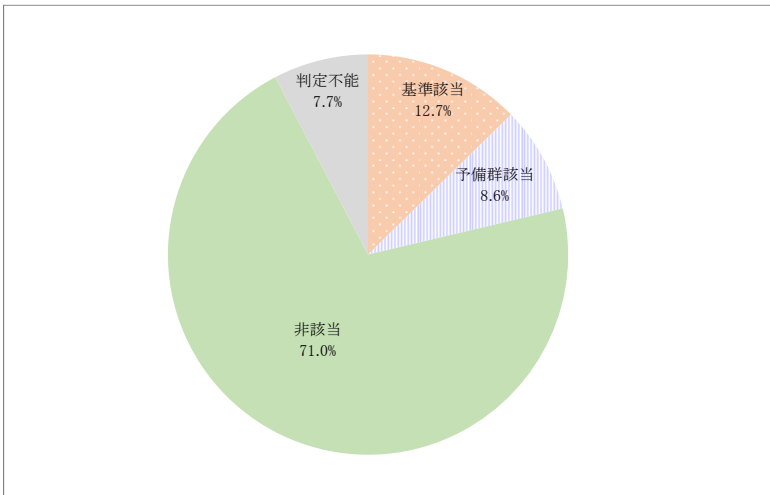
	特定健康診査 受診者(人)	該当レベル			
		基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	2,502	317	216	1,777	192
割合※(%)	-	12.7%	8.6%	71.0%	7.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。平成28年度基準該当12.7%は平成26年度11.6%より上昇しており、平成28年度予備群該当8.6%は平成26年度8.5%より上昇している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
平成26年度	2,433
平成27年度	2,422
平成28年度	2,502

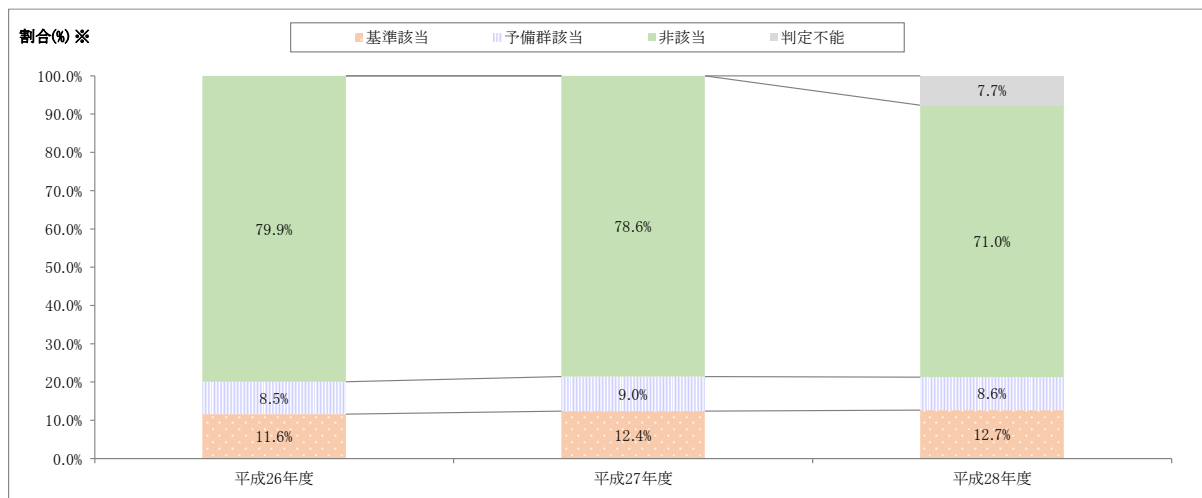
年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	283	11.6%	206	8.5%	1,944	79.9%	0	0.0%
平成27年度	301	12.4%	218	9.0%	1,903	78.6%	0	0.0%
平成28年度	317	12.7%	216	8.6%	1,777	71.0%	192	7.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(3) 特定保健指導対象者の分析

①保健指導レベル該当状況

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。積極的支援対象者は62人、動機付け支援対象者は154人である。

保健指導レベル該当状況

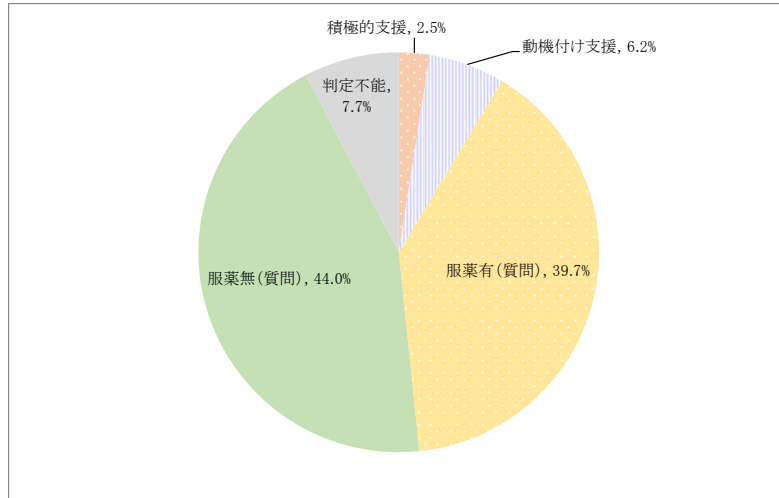
	健診受診者数 (人)	該当レベル					
		特定保健指導対象者(人)			情報提供		判定不能
		積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)		
該当者数(人)	2,502	216	62	154	994	1,100	192
割合※(%)	-	8.6%	2.5%	6.2%	39.7%	44.0%	7.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク ①血糖 ②脂質 ③血压	喫煙歴(注)	対象	
			40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血压:収縮期血压130mmHg以上、または拡張期血压85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下の通りである。

年齢階層別 保健指導レベル該当状況

年齢階層	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
40歳～44歳	121	14	9	7.4	5	4.1
45歳～49歳	140	20	12	8.6	8	5.7
50歳～54歳	123	15	11	8.9	4	3.3
55歳～59歳	197	22	7	3.6	15	7.6
60歳～64歳	431	37	23	5.3	14	3.2
65歳～69歳	842	67	0	0.0	67	8.0
70歳～	648	41	0	0.0	41	6.3
合計	2,502	216	62	2.5	154	6.2

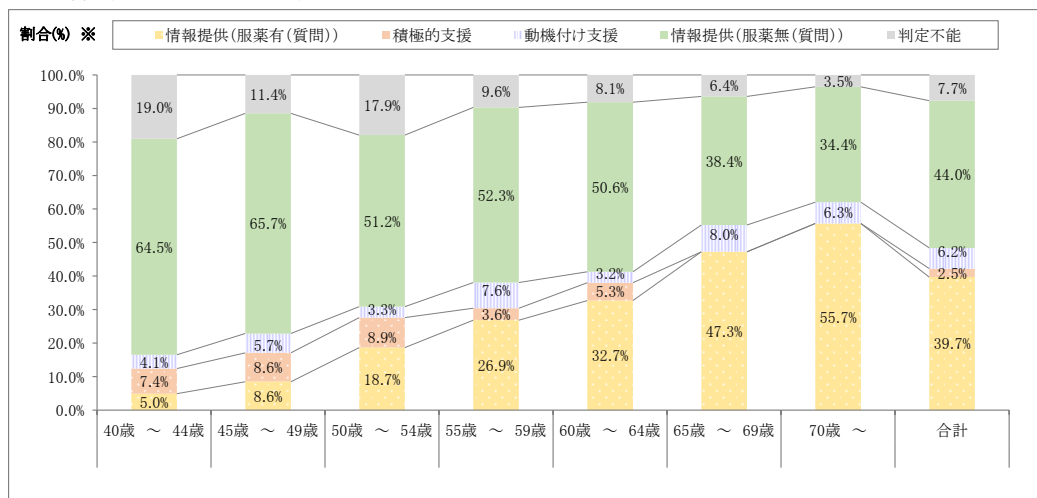
年齢階層	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳～44歳	121	6	5.0	78	64.5	23	19.0
45歳～49歳	140	12	8.6	92	65.7	16	11.4
50歳～54歳	123	23	18.7	63	51.2	22	17.9
55歳～59歳	197	53	26.9	103	52.3	19	9.6
60歳～64歳	431	141	32.7	218	50.6	35	8.1
65歳～69歳	842	398	47.3	323	38.4	54	6.4
70歳～	648	361	55.7	223	34.4	23	3.5
合計	2,502	994	39.7	1,100	44.0	192	7.7

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年齢階層別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

平成26年度から平成28年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。平成28年度積極的支援62人は平成26年度61人より増加しており、平成28年度動機付け支援154人は平成26年度157人より減少している。

年度別 保健指導レベル該当状況

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
平成26年度	2,433	218	61	2.5%	157	6.5%
平成27年度	2,422	244	81	3.3%	163	6.7%
平成28年度	2,502	216	62	2.5%	154	6.2%

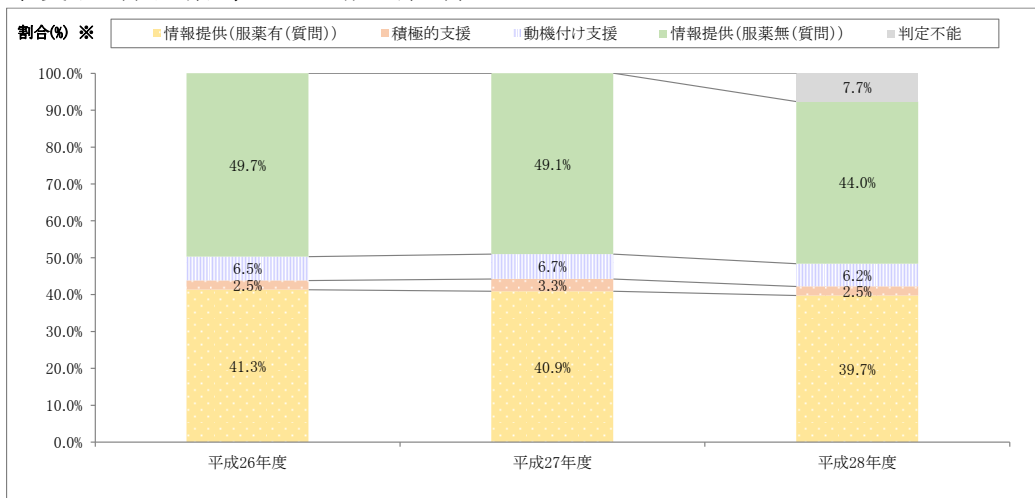
年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	2,433	1,005	41.3%	1,210	49.7%	0	0.0%
平成27年度	2,422	990	40.9%	1,188	49.1%	0	0.0%
平成28年度	2,502	994	39.7%	1,100	44.0%	192	7.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

②特定保健指導リスク因子別該当状況

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況を以下に示す。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			216人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	3人	62人 29%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	8人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	4人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	5人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	6人	
	●	●				因子数2	血糖＋血圧	
	●		●		血糖＋脂質		5人	
		●	●		血圧＋脂質		9人	
	●			●	血糖＋喫煙		4人	
		●		●	血圧＋喫煙		5人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	2人	
	●					血糖	0人	
		●				血圧	0人	
			●			脂質	0人	
				●	喫煙	0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	2人	154人 71%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	7人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	2人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	3人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●				因子数2	血糖＋血圧	
	●		●		血糖＋脂質		9人	
		●	●		血圧＋脂質		11人	
	●			●	血糖＋喫煙		1人	
		●		●	血圧＋喫煙		3人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	4人	
	●					血糖	28人	
		●				血圧	37人	
			●			脂質	20人	
				●	喫煙	0人		
				因子数0	なし	2人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

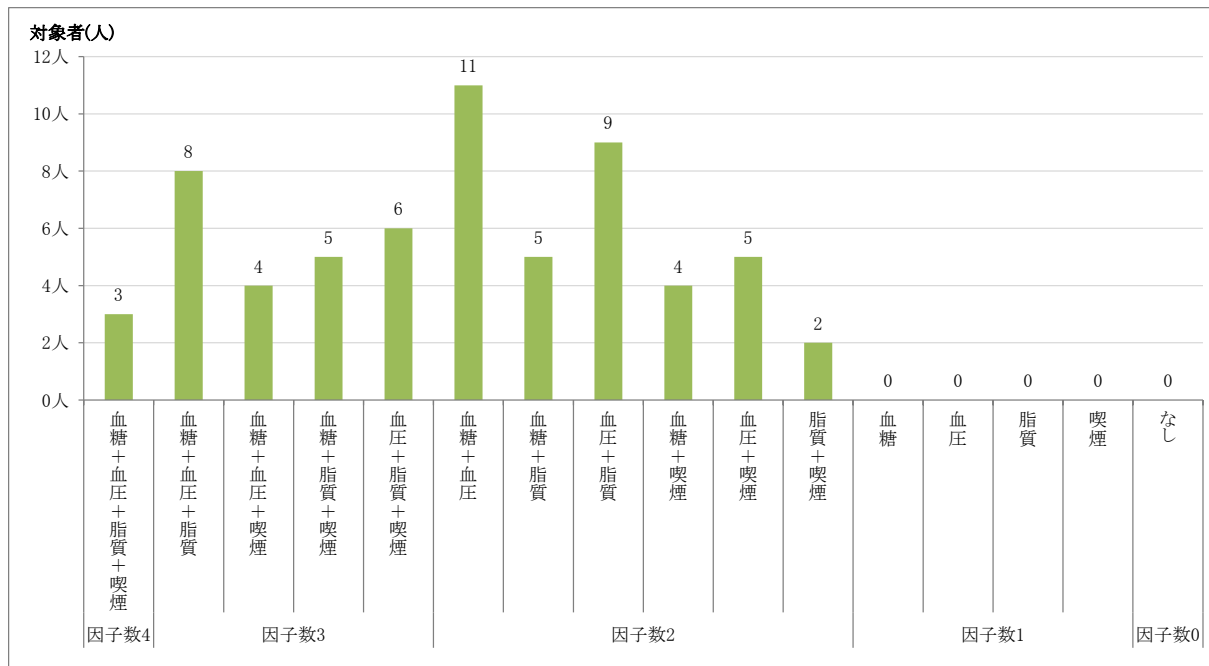
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

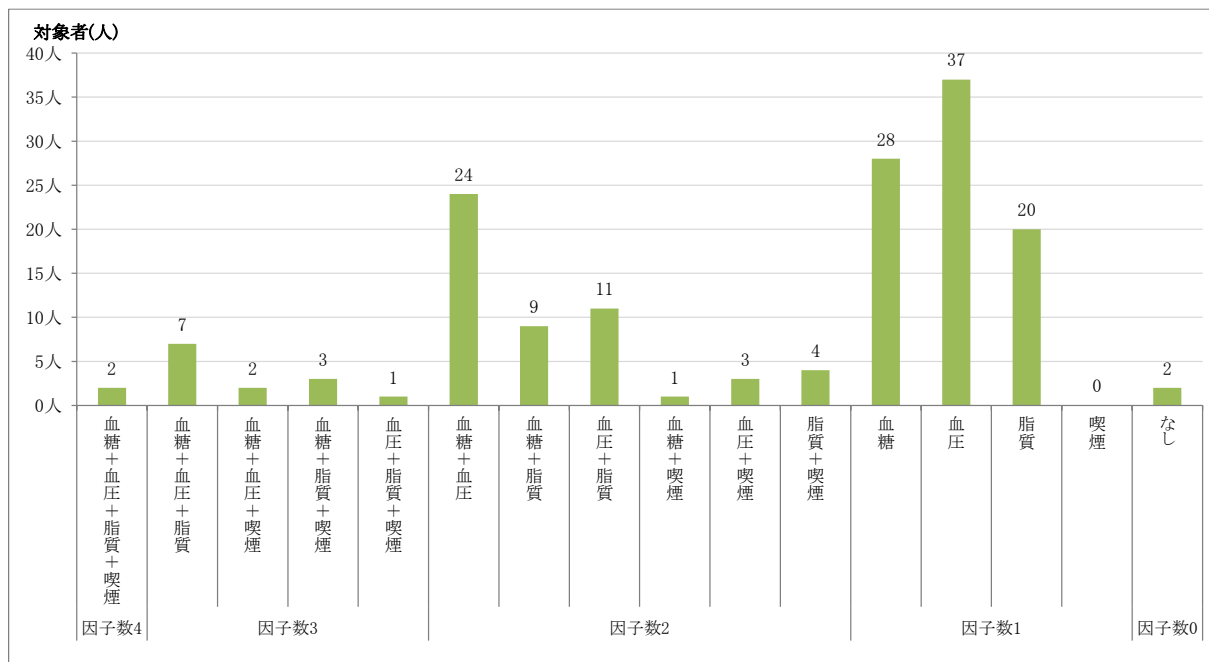
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

③特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	216	12,581	1,916,271	1,928,852	2	42	42
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	1,100	300,978	3,453,849	3,754,827	4	91	91
	情報提供 (服薬有(質問))	994	2,568,790	96,763,045	99,331,835	25	986	986

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	216	6,291	45,626	45,925
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	1,100	75,245	37,954	41,262
	情報提供 (服薬有(質問))	994	102,752	98,137	100,742

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

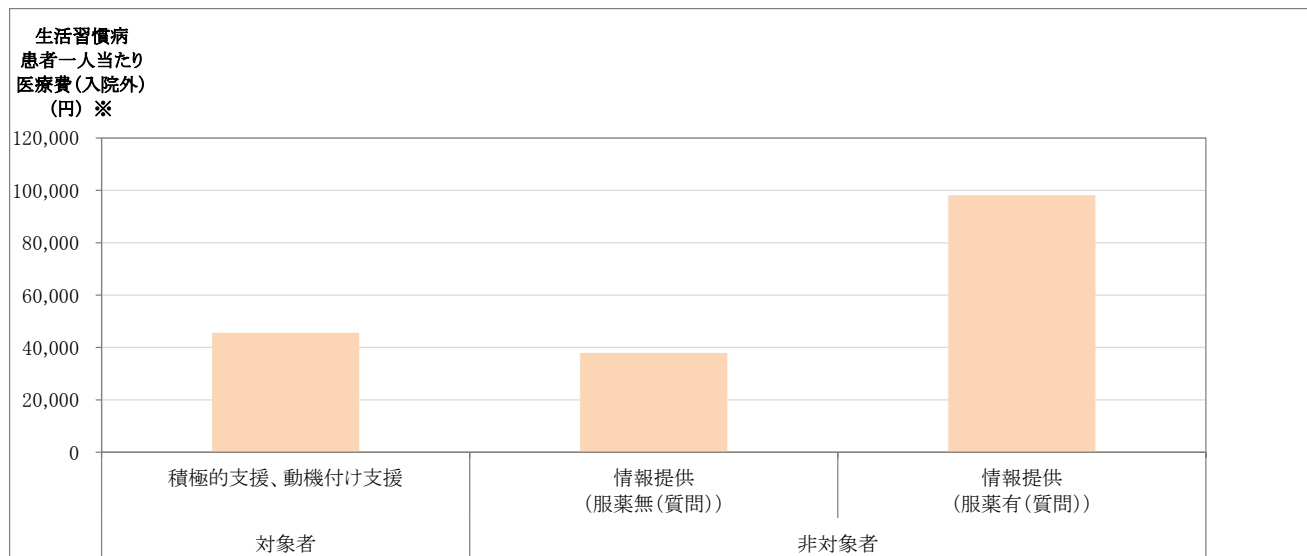
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区別なく集計した実人数。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

5. 特定健康診査及び特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

【特定健康診査】

◆特定健康診査受診率

平成28年度特定健康診査受診率41.0%は、市区町村国保の平成29年度到達目標値60%に未到達である。受診率向上を目指し、受診勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※法定報告値より算出

◆有所見者の状況

HbA1c、LDLコレステロール、収縮期血圧の有所見者割合が高い。特定健康診査の結果を活用することで被保険者に生活習慣を見直すきっかけを提供し、生活習慣病を予防する。

※健康診査データより算出

◆質問票の回答状況

喫煙習慣では「喫煙あり」12.3%、飲酒習慣では「毎日飲酒する」24.2%、生活習慣では「改善するつもりなし」38.8%である。ポピュレーションアプローチで生活習慣改善を促す取り組みが必要である。

※健康診査データより算出

【特定保健指導】

◆特定保健指導実施率

平成28年度特定保健指導実施率23.6%は、市区町村国保の平成29年度到達目標値60%に未到達である。実施率向上を目指し、利用勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※法定報告値より算出

◆メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況

メタボリックシンドローム基準該当割合は12.7%、予備群該当割合は8.6%である。また、積極的支援対象者割合は2.5%、動機付け支援対象者割合は6.2%である。メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に対して優先的に指導する等、効果的・効率的な特定保健指導を実施する必要がある。

※健康診査データより算出

6. 特定健康診査等実施計画

(1) 目標

国では、市区町村国保において、計画期間の最終年度である平成35年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上を達成することとしている。本市においては各年度の目標値を以下の通り設定する。

目標値

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成35年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	50.0%	55.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※						25.0%	25.0%以上

※平成20年度比

(2) 対象者数推計

① 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示す。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査対象者数(人)	6,668	6,326	6,088	5,899	5,628	5,222
特定健康診査受診率(%) (目標値)	50.0%	55.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%
特定健康診査受診者数(人)	3,334	3,479	3,470	3,421	3,320	3,133

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	3,373	3,123	2,881	2,666	2,466	2,275
	65歳～74歳	3,295	3,203	3,207	3,233	3,162	2,947
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	1,253	1,283	1,235	1,155	1,094	1,023
	65歳～74歳	2,081	2,196	2,235	2,266	2,226	2,110

②特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示す。

特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定保健指導対象者数(人)	403	388	379	362	351	334
特定保健指導実施率(%) (目標値)	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%
特定保健指導実施者数(人)	161	174	189	199	203	200

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
積極的 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	133	127	123	115	111	106
	実施者数(人)	40歳～64歳	53	57	62	63	65	63
動機付け 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	77	73	70	64	61	58
		65歳～74歳	193	188	186	183	179	170
	実施者数(人)	40歳～64歳	29	31	32	33	33	33
		65歳～74歳	79	86	95	103	105	104

(3) 実施方法

① 特定健康診査の実施方法

ア. 対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む)。ただし、妊産婦、刑務所入所者、海外在住、長期入院等厚生労働省令で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

イ. 実施場所

山梨市保健センター
委託契約を結んだ医療機関

ウ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

健診項目

■ 基本的な健診項目(全員に実施)
○質問票(服薬歴、喫煙歴等) ○身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)
○血圧測定 ○理学的検査(身体診察) ○尿検査(尿糖、尿蛋白)
○血液検査
・脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)
・血糖検査(空腹時血糖またはHbA1c)
・肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))
■ 詳細な健診項目(医師が必要と判断した場合に実施)
○心電図 ○眼底検査 ○貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット値)
○血清クレアチニン検査(eGFRによる腎機能の評価を含む)

エ. 実施時期

6月から1月に実施する。

オ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診票と受診案内を個別に発送する。また、広報やホームページ、健康カレンダー等で周知を図る。

②特定保健指導の実施方法

ア. 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、

内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	/	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	/	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

イ. 実施場所

委託契約を結んだ医療機関

山梨市保健センター及び、山梨市民体育館、市内各公民館

ウ. 実施項目

保健指導レベルに応じた内容の保健指導を実施する。

保健指導の内容

	支援形態	支援内容
積極的支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループ当たりおおむね 80分以上のグループ支援。 b. 3カ月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電 話、e-mail等の通信手段を組み合 わせて行う。 c. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行 う。	特定健康診査の結果から、対象者自ら が自分の身体に起こっている変化を理 解し、生活習慣改善の必要性を実感で きるような働きかけを行う。また、具 体的に実践可能な行動目標を対象者が 選択できるように支援する。 支援者は目標達成のために必要な支援 計画を立て、行動が継続できるように 定期的・継続的に介入する。
動機付け支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループ当たりおおむね 80分以上のグループ支援。 b. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行 う。	対象者自らが、自分の生活習慣の改善 すべき点を自覚することで行動目標を 設定し、目標達成に向けた取り組みが 継続できるように動機付け支援を行う。

エ. 実施時期

4月から3月に実施する。

※保健指導は年内行っているが、対象年の指導開始は7月から翌6月に行う。

オ. 案内方法

対象者に対して、特定保健指導についての案内を発送する。

(4) 実施スケジュール

	実施項目	当年度												次年度			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
特定健康 診査	対象者抽出	↔															
	問診票(受診券)送 付	↔															
	特定健康診査実施				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔					
	未受診者受診勧奨				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔					
特定保 健指 導	対象者抽出				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔						
	対象者案内送付				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔						
	特定保健指導実施				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	前年度の評価						↔	↔									
	次年度の計画									↔	↔						

7. その他

(1) 個人情報の保護

① 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び山梨市個人情報保護条例に従い、厳格な運用管理を行い、役員・職員の義務(データの正確性の確保、漏洩防止措置、従業者の監督、委託先の監督)について周知を図る。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に明示し、委託先の契約遵守状況を管理する。

② データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。また、他の医療保険に異動する等で被保険者でなくなった場合は、異動年度の翌年度末まで保管し、その後適切に破棄する。

(2) 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあるため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

(3) 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

① 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行う。

② 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとする。

(4) 事業運営上の留意事項

① 各種検(健)診等との連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

② 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導の対象となる年代だけでなく、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

巻末資料

1. 地区分析
2. 年度別 特定健康診査結果分析
3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方
4. 用語解説集
5. 疾病分類

■ データ分析期間

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
平成26年度・・・平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度・・・平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度・・・平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

1. 地区分析

(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【岩手】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	968,437	1.0%	13	349	13	81	10	11,956	14
II. 新生物<腫瘍>	11,465,665	11.6%	3	381	12	87	8	131,789	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	161,924	0.2%	16	68	17	17	16	9,525	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,923,859	13.1%	2	1,573	1	148	3	87,323	4
V. 精神及び行動の障害	9,632,008	9.7%	4	503	8	38	15	253,474	1
VI. 神経系の疾患	4,033,398	4.1%	11	778	6	78	11	51,710	8
VII. 眼及び付属器の疾患	4,486,485	4.5%	10	440	9	100	7	44,865	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	625,751	0.6%	15	142	15	39	14	16,045	13
IX. 循環器系の疾患	20,609,555	20.8%	1	1,363	2	121	5	170,327	2
X. 呼吸器系の疾患	6,146,210	6.2%	6	1,118	4	160	1	38,414	10
X I. 消化器系の疾患 ※	5,216,381	5.3%	8	1,340	3	154	2	33,873	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,065,577	2.1%	12	548	7	106	6	19,487	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	9,469,218	9.6%	5	1,067	5	130	4	72,840	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,505,712	4.6%	9	393	10	58	13	77,685	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,110	0.0%	20	1	20	1	20	1,110	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	11,689	0.0%	19	23	19	5	19	2,338	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	865,789	0.9%	14	391	11	84	9	10,307	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,643,579	5.7%	7	247	14	68	12	82,994	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	38,758	0.0%	18	103	16	13	17	2,981	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	53,215	0.1%	17	37	18	8	18	6,652	17
合計	98,924,320			4,776		282		350,795	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【日下部】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	14,700,540	2.8%	12	2,038	12	508	9	28,938	13
II. 新生物<腫瘍>	63,025,725	12.0%	3	2,228	10	556	7	113,356	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,310,899	0.6%	15	428	16	108	16	30,656	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	55,700,964	10.6%	4	8,760	2	801	3	69,539	6
V. 精神及び行動の障害	46,767,056	8.9%	5	2,712	8	227	14	206,022	1
VI. 神経系の疾患	22,763,613	4.4%	9	4,480	6	419	11	54,328	8
VII. 眼及び付属器の疾患	18,293,553	3.5%	10	2,636	9	582	6	31,432	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,257,951	0.2%	16	452	15	124	15	10,145	19
IX. 循環器系の疾患	83,979,466	16.1%	1	8,832	1	696	5	120,660	2
X. 呼吸器系の疾患	32,610,492	6.2%	7	5,893	5	956	1	34,111	10
X I. 消化器系の疾患 ※	40,389,622	7.7%	6	7,690	3	841	2	48,026	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,888,589	1.9%	13	2,769	7	548	8	18,045	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	70,992,478	13.6%	2	6,249	4	699	4	101,563	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	32,069,788	6.1%	8	1,978	13	352	12	91,107	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	235,206	0.0%	18	41	20	10	20	23,521	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	79,842	0.0%	21	10	21	4	21	19,961	15
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	183,206	0.0%	19	104	19	29	19	6,317	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,318,358	1.4%	14	2,041	11	439	10	16,671	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	18,199,620	3.5%	11	895	14	285	13	63,858	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,189,574	0.2%	17	410	17	64	17	18,587	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	170,448	0.0%	20	129	18	30	18	5,682	21
合計	523,126,990			25,672		1,655		316,089	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【後屋敷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,484,695	2.8%	11	964	13	281	8	26,636	13
II. 新生物<腫瘍>	47,143,830	17.6%	1	1,179	11	281	8	167,772	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,405,723	0.5%	16	197	17	57	16	24,662	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	24,051,435	9.0%	5	4,202	2	417	2	57,677	8
V. 精神及び行動の障害	36,258,650	13.6%	3	1,280	9	113	14	320,873	2
VI. 神経系の疾患	8,039,929	3.0%	10	2,144	6	195	12	41,230	10
VII. 眼及び付属器の疾患	9,218,891	3.4%	9	1,476	8	354	5	26,042	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	692,589	0.3%	17	232	15	85	15	8,148	18
IX. 循環器系の疾患	37,368,415	14.0%	2	4,250	1	370	4	100,996	5
X. 呼吸器系の疾患	18,523,524	6.9%	7	3,197	4	568	1	32,612	12
X I. 消化器系の疾患 ※	20,194,165	7.6%	6	3,348	3	398	3	50,739	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,065,126	2.3%	13	1,553	7	323	7	18,777	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	24,635,961	9.2%	4	3,042	5	338	6	72,887	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,318,365	2.7%	12	1,007	12	205	11	35,699	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	619,355	0.2%	18	9	20	5	20	123,871	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,903,940	0.7%	15	4	21	3	21	634,647	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	158,580	0.1%	19	84	18	30	18	5,286	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,566,016	1.7%	14	1,267	10	255	10	17,906	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,525,472	4.3%	8	618	14	172	13	67,009	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	98,201	0.0%	20	224	16	41	17	2,395	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	64,258	0.0%	21	36	19	16	19	4,016	20
合計	267,337,120			13,440		917		291,534	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【加納岩】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	33,137,275	5.6%	9	2,119	12	483	9	68,607	9
II. 新生物<腫瘍>	71,267,162	12.1%	2	2,136	10	542	8	131,489	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,776,169	1.2%	15	456	16	109	16	62,167	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	50,600,524	8.6%	5	8,265	2	741	3	68,287	10
V. 精神及び行動の障害	97,069,518	16.5%	1	2,866	8	215	14	451,486	2
VI. 神経系の疾患	36,112,665	6.1%	8	4,465	6	398	11	90,735	6
VII. 眼及び付属器の疾患	16,385,664	2.8%	11	2,444	9	616	6	26,600	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,454,041	0.4%	17	441	17	158	15	15,532	19
IX. 循環器系の疾患	62,735,401	10.7%	3	8,940	1	721	4	87,012	7
X. 呼吸器系の疾患	30,496,689	5.2%	10	5,255	5	940	1	32,443	14
X I. 消化器系の疾患 ※	40,376,804	6.9%	6	6,762	3	812	2	49,725	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	14,931,807	2.5%	13	3,030	7	550	7	27,149	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	52,796,136	9.0%	4	5,782	4	633	5	83,406	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	39,285,557	6.7%	7	1,963	13	340	12	115,546	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,307,475	0.2%	19	23	20	7	20	186,782	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,928,726	1.0%	16	11	21	3	21	1,976,242	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	173,286	0.0%	21	147	19	42	19	4,126	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,613,185	1.3%	14	2,122	11	406	10	18,752	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	16,064,455	2.7%	12	1,092	14	326	13	49,277	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,362,897	0.4%	18	491	15	80	17	29,536	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	249,894	0.0%	20	189	18	59	18	4,235	20
合計	588,125,330			25,664		1,663		353,653	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【日川】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,124,233	1.7%	13	1,045	11	276	8	18,566	15
II. 新生物<腫瘍>	41,859,011	13.9%	2	933	13	245	10	170,853	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	838,714	0.3%	18	252	16	59	16	14,215	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	26,801,810	8.9%	4	4,249	2	402	3	66,671	9
V. 精神及び行動の障害	21,322,542	7.1%	7	1,107	10	93	15	229,275	1
VI. 神経系の疾患	21,574,607	7.2%	6	2,216	6	205	11	105,242	6
VII. 眼及び付属器の疾患	9,216,245	3.1%	10	1,420	8	349	5	26,408	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,343,210	0.4%	16	285	15	96	14	13,992	19
IX. 循環器系の疾患	54,630,187	18.2%	1	4,623	1	374	4	146,070	3
X. 呼吸器系の疾患	20,328,827	6.8%	9	3,071	5	525	1	38,722	12
X I. 消化器系の疾患 ※	21,215,809	7.1%	8	3,471	3	424	2	50,037	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,834,178	1.9%	12	1,796	7	327	7	17,842	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	32,689,372	10.9%	3	3,268	4	343	6	95,304	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	21,660,492	7.2%	5	1,005	12	182	13	119,014	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,036,851	0.3%	17	21	20	8	20	129,606	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	94,398	0.0%	21	10	21	5	21	18,880	14
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,922,742	0.6%	15	83	19	25	19	76,910	8
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,454,278	1.5%	14	1,264	9	254	9	17,537	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,311,497	2.8%	11	584	14	199	12	41,766	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	103,209	0.0%	20	232	17	40	18	2,580	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	132,698	0.0%	19	112	18	43	17	3,086	20
合計	300,494,910			13,677		909		330,577	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【山梨】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	22,516,980	4.8%	9	1,645	12	373	9	60,367	8
II. 新生物<腫瘍>	52,577,102	11.3%	2	1,518	13	390	7	134,813	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,972,233	0.4%	15	304	16	60	16	32,871	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	45,865,097	9.8%	5	6,971	2	627	3	73,150	7
V. 精神及び行動の障害	89,636,263	19.2%	1	1,872	7	146	14	613,947	1
VI. 神経系の疾患	16,289,822	3.5%	11	3,518	6	310	11	52,548	9
VII. 眼及び付属器の疾患	12,635,859	2.7%	12	1,824	9	449	6	28,142	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,774,174	0.4%	16	410	15	116	15	15,295	17
IX. 循環器系の疾患	46,415,784	10.0%	4	7,197	1	570	4	81,431	6
X. 呼吸器系の疾患	22,250,061	4.8%	10	4,066	5	700	1	31,786	13
X I. 消化器系の疾患 ※	24,568,655	5.3%	8	5,506	3	649	2	37,856	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,962,393	1.7%	13	1,829	8	383	8	20,790	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	50,054,716	10.7%	3	4,975	4	497	5	100,714	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	38,805,453	8.3%	6	1,722	10	271	12	143,194	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	52,750	0.0%	21	15	20	5	20	10,550	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	141,670	0.0%	18	8	21	4	21	35,418	11
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	116,887	0.0%	19	74	19	22	19	5,313	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,132,927	1.1%	14	1,720	11	364	10	14,101	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	26,444,958	5.7%	7	762	14	213	13	124,155	4
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,044,488	0.2%	17	286	17	45	17	23,211	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	97,918	0.0%	20	96	18	26	18	3,766	21
合計	466,356,190			18,509		1,169		398,936	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【八幡】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,770,137	1.5%	13	1,053	12	257	8	18,561	16
II. 新生物<腫瘍>	31,805,897	9.8%	5	1,049	13	256	9	124,242	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,267,441	0.4%	16	220	17	49	17	25,866	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	32,914,158	10.2%	4	5,274	1	469	3	70,179	7
V. 精神及び行動の障害	70,355,424	21.7%	1	1,645	7	118	14	596,232	1
VI. 神経系の疾患	9,855,284	3.0%	9	2,554	6	221	11	44,594	11
VII. 眼及び付属器の疾患	8,937,238	2.8%	10	1,396	9	315	6	28,372	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,391,288	0.4%	15	337	15	81	15	17,176	17
IX. 循環器系の疾患	41,369,057	12.8%	2	5,255	2	409	4	101,147	5
X. 呼吸器系の疾患	14,996,895	4.6%	8	2,926	5	496	1	30,236	12
X I. 消化器系の疾患 ※	25,629,403	7.9%	6	4,395	3	476	2	53,843	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,674,060	2.4%	12	1,566	8	297	7	25,839	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	37,445,178	11.5%	3	3,623	4	387	5	96,758	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	22,341,305	6.9%	7	1,316	10	204	12	109,516	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	885,774	0.3%	17	9	20	3	20	295,258	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	173,213	0.1%	18	6	21	3	20	57,738	8
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	56,629	0.0%	21	46	19	7	19	8,090	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,372,150	1.0%	14	1,177	11	231	10	14,598	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,807,538	2.7%	11	649	14	197	13	44,708	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	83,666	0.0%	19	259	16	51	16	1,641	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	75,085	0.0%	20	89	18	22	18	3,413	20
合計	324,206,820			14,821		888		365,098	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【牧丘】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,194,022	2.9%	12	1,654	11	438	8	30,123	15
II. 新生物<腫瘍>	71,452,186	15.6%	1	1,740	10	429	9	166,555	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,418,878	0.5%	15	436	16	113	15	21,406	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	45,556,510	9.9%	4	6,709	2	731	3	62,321	11
V. 精神及び行動の障害	47,723,598	10.4%	3	2,340	7	175	14	272,706	1
VI. 神経系の疾患	23,657,720	5.2%	8	3,730	6	348	11	67,982	9
VII. 眼及び付属器の疾患	13,964,015	3.0%	11	2,228	8	488	6	28,615	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	793,601	0.2%	18	292	17	87	16	9,122	20
IX. 循環器系の疾患	57,974,139	12.6%	2	6,946	1	660	4	87,840	6
X. 呼吸器系の疾患	22,966,805	5.0%	9	3,961	5	739	2	31,078	14
X I. 消化器系の疾患 ※	40,482,480	8.8%	5	5,786	3	785	1	51,570	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,540,262	1.6%	13	2,214	9	470	7	16,043	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	40,226,611	8.8%	6	5,193	4	592	5	67,950	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	36,653,434	8.0%	7	1,575	13	273	13	134,262	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	622,144	0.1%	19	53	20	9	20	69,127	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	412,555	0.1%	20	8	21	3	21	137,518	3
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,189,338	0.5%	17	120	18	22	18	99,515	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,465,409	1.2%	14	1,602	12	388	10	14,086	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	22,943,609	5.0%	10	970	14	304	12	75,472	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,236,487	0.5%	16	449	15	70	17	31,950	13
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	86,597	0.0%	21	61	19	22	18	3,936	21
合計	458,560,400			19,419		1,414		324,300	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【三富】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,275,196	5.8%	9	302	12	62	10	101,213	7
II. 新生物<腫瘍>	13,477,061	12.4%	2	205	13	52	12	259,174	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,627,710	7.0%	8	112	16	18	15	423,762	2
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,094,319	7.5%	6	1,298	2	112	3	72,271	9
V. 精神及び行動の障害	19,997,292	18.4%	1	513	7	34	14	588,156	1
VI. 神経系の疾患	8,133,524	7.5%	5	897	5	70	8	116,193	5
VII. 眼及び付属器の疾患	1,319,473	1.2%	13	346	11	71	7	18,584	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	306,482	0.3%	16	132	15	17	16	18,028	14
IX. 循環器系の疾患	7,806,562	7.2%	7	1,451	1	108	4	72,283	8
X. 呼吸器系の疾患	5,361,868	4.9%	10	762	6	121	1	44,313	10
X I. 消化器系の疾患 ※	4,500,840	4.2%	11	1,116	4	117	2	38,469	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,654,846	1.5%	12	474	8	90	6	18,387	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,622,012	9.8%	4	1,186	3	102	5	104,137	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,377,986	10.5%	3	424	9	42	13	270,904	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,885	0.0%	19	6	19	3	18	3,628	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	915,953	0.8%	14	381	10	69	9	13,275	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	858,373	0.8%	15	150	14	54	11	15,896	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	46,815	0.0%	17	70	17	11	17	4,256	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	26,133	0.0%	18	16	18	3	18	8,711	17
合計	108,413,330			3,579		225		481,837	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	174,693	1.2%	11	51	11	11	7	15,881	13
II. 新生物<腫瘍>	98,279	0.7%	13	15	14	5	14	19,656	11
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	55,083	0.4%	14	15	14	3	15	18,361	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,570,422	11.2%	3	178	4	15	4	104,695	3
V. 精神及び行動の障害	1,161,453	8.3%	5	317	3	16	3	72,591	7
VI. 神経系の疾患	4,158,199	29.6%	1	350	1	20	1	207,910	2
VII. 眼及び付属器の疾患	227,775	1.6%	9	61	10	7	13	32,539	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	27,860	0.2%	16	9	16	1	16	27,860	10
IX. 循環器系の疾患	970,668	6.9%	6	164	5	12	6	80,889	4
X. 呼吸器系の疾患	796,867	5.7%	7	108	7	10	9	79,687	5
X I. 消化器系の疾患 ※	1,334,035	9.5%	4	337	2	18	2	74,113	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	195,421	1.4%	10	102	8	13	5	15,032	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,586,149	18.4%	2	142	6	11	7	235,104	1
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	540,266	3.8%	8	75	9	9	10	60,030	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,041	0.3%	15	44	12	9	10	4,671	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	125,591	0.9%	12	29	13	8	12	15,699	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,318	0.0%	17	6	17	1	16	1,318	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	14,066,120			812		28		502,361	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【岩手】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0903 その他の心疾患	11,507,395	11.6%	36
2	0402 糖尿病	8,584,535	8.7%	99
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	6,647,897	6.7%	9
4	0901 高血圧性疾患	4,591,969	4.6%	92
5	1901 骨折	3,465,402	3.5%	16
6	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,285,377	3.3%	1
7	0606 その他の神経系の疾患	3,246,042	3.3%	73
8	0403 脂質異常症	3,237,880	3.3%	81
9	0905 脳内出血	2,984,562	3.0%	5
10	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	2,914,404	2.9%	24

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

【日下部】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	30,130,307	5.8%	550
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	27,680,687	5.3%	231
3	0901 高血圧性疾患	27,377,339	5.2%	508
4	1402 腎不全	23,815,636	4.6%	49
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	23,379,665	4.5%	58
6	0903 その他の心疾患	21,849,575	4.2%	231
7	1113 その他の消化器系の疾患	20,675,516	4.0%	478
8	1309 骨の密度及び構造の障害	19,083,665	3.6%	208
9	0403 脂質異常症	16,365,162	3.1%	449
10	1301 炎症性多発性関節障害	16,238,895	3.1%	116

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【後屋敷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,738,830	10.0%	41
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	19,788,883	7.4%	110
3	0901 高血圧性疾患	14,114,196	5.3%	272
4	1113 その他の消化器系の疾患	11,941,834	4.5%	237
5	0402 糖尿病	11,086,944	4.1%	258
6	0403 脂質異常症	9,895,063	3.7%	236
7	0903 その他の心疾患	7,845,574	2.9%	141
8	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	7,408,668	2.8%	143
9	0902 虚血性心疾患	6,805,234	2.5%	92
10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	6,410,339	2.4%	18

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

【加納岩】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	75,992,648	12.9%	85
2	0901 高血圧性疾患	31,227,313	5.3%	542
3	1402 腎不全	29,080,053	4.9%	48
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	27,917,008	4.7%	229
5	0105 ウイルス性肝炎	26,332,429	4.5%	70
6	0402 糖尿病	25,469,834	4.3%	472
7	1113 その他の消化器系の疾患	22,953,196	3.9%	468
8	0606 その他の神経系の疾患	18,915,717	3.2%	352
9	1302 関節症	17,194,420	2.9%	177
10	0403 脂質異常症	16,201,767	2.8%	391

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【日川】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	19,130,448	6.4%	100
2	1402 腎不全	16,800,272	5.6%	20
3	0901 高血圧性疾患	16,351,412	5.4%	265
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	14,394,713	4.8%	25
5	0903 その他の心疾患	13,996,601	4.7%	133
6	1113 その他の消化器系の疾患	13,432,692	4.5%	245
7	0402 糖尿病	13,057,652	4.3%	238
8	1301 炎症性多発性関節障害	10,244,526	3.4%	73
9	0606 その他の神経系の疾患	10,011,033	3.3%	186
10	0403 脂質異常症	8,803,418	2.9%	205

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

【山梨】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	54,873,431	11.8%	54
2	1402 腎不全	32,647,352	7.0%	36
3	0901 高血圧性疾患	26,365,593	5.7%	454
4	0402 糖尿病	22,600,444	4.8%	376
5	0403 脂質異常症	17,618,836	3.8%	381
6	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	16,923,202	3.6%	55
7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	13,403,869	2.9%	171
8	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	13,304,515	2.9%	154
9	0105 ウイルス性肝炎	13,268,123	2.8%	49
10	1113 その他の消化器系の疾患	13,099,164	2.8%	390

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【八幡】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	47,413,913	14.6%	46
2	0402 糖尿病	17,150,976	5.3%	328
3	1402 腎不全	16,244,508	5.0%	32
4	0901 高血圧性疾患	14,744,209	4.5%	316
5	1113 その他の消化器系の疾患	14,116,698	4.4%	297
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	12,723,853	3.9%	106
7	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	11,877,382	3.7%	57
8	0403 脂質異常症	11,132,090	3.4%	262
9	0903 その他の心疾患	10,157,500	3.1%	126
10	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	8,518,753	2.6%	152

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

【牧丘】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	27,158,934	5.9%	55
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	26,634,657	5.8%	186
3	1113 その他の消化器系の疾患	26,276,341	5.7%	427
4	0402 糖尿病	25,320,916	5.5%	528
5	0901 高血圧性疾患	25,221,283	5.5%	481
6	1402 腎不全	24,457,383	5.3%	36
7	0403 脂質異常症	15,022,410	3.3%	386
8	0606 その他の神経系の疾患	14,466,668	3.2%	323
9	0903 その他の心疾患	14,112,138	3.1%	254
10	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	13,406,194	2.9%	103

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【三富】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	19,288,963	17.8%	18
2	1402 腎不全	10,632,547	9.8%	9
3	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,542,051	7.0%	5
4	1301 炎症性多発性関節障害	4,545,301	4.2%	25
5	0901 高血圧性疾患	4,214,372	3.9%	83
6	0105 ウイルス性肝炎	4,084,392	3.8%	9
7	0606 その他の神経系の疾患	3,516,583	3.2%	60
8	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,205,720	3.0%	42
9	0209 白血病	3,194,561	2.9%	1
10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	3,166,010	2.9%	4

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,369,095	16.8%	3
2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2,225,824	15.8%	2
3	0603 てんかん	1,495,059	10.6%	11
4	0402 糖尿病	973,850	6.9%	13
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	739,260	5.3%	11
6	1113 その他の消化器系の疾患	629,585	4.5%	15
7	1004 肺炎	509,809	3.6%	3
8	0901 高血圧性疾患	450,183	3.2%	7
9	0403 脂質異常症	428,905	3.0%	5
10	1404 その他の腎尿路系の疾患	346,958	2.5%	6

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療費分解技術は、月毎に疾病項目別の集計をするため、月遅れ等のレセプトの集計はできない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【岩手】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0402 糖尿病	8,584,535	99	35.1%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,200,957	95	33.7%
3	0901 高血圧性疾患	4,591,969	92	32.6%
4	1113 その他の消化器系の疾患	2,674,578	91	32.3%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	865,789	84	29.8%
6	1006 アレルギー性鼻炎	1,146,509	83	29.4%
7	0403 脂質異常症	3,237,880	81	28.7%
8	1003 その他の急性上気道感染症	571,578	74	26.2%
9	0606 その他の神経系の疾患	3,246,042	73	25.9%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	705,292	73	25.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【日下部】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0402 糖尿病	30,130,307	550	33.2%
2	1006 アレルギー性鼻炎	6,937,916	521	31.5%
3	0901 高血圧性疾患	27,377,339	508	30.7%
4	1113 その他の消化器系の疾患	20,675,516	478	28.9%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	6,694,092	467	28.2%
6	0403 脂質異常症	16,365,162	449	27.1%
7	1003 その他の急性上気道感染症	2,949,258	443	26.8%
8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,318,358	439	26.5%
9	0703 屈折及び調節の障害	1,922,710	399	24.1%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	4,554,306	398	24.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【後屋敷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1006 アレルギー性鼻炎	3,893,876	315	34.4%
2	1003 その他の急性上気道感染症	1,739,101	274	29.9%
3	0901 高血圧性疾患	14,114,196	272	29.7%
4	0402 糖尿病	11,086,944	258	28.1%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,566,016	255	27.8%
6	0703 屈折及び調節の障害	929,678	241	26.3%
7	1113 その他の消化器系の疾患	11,941,834	237	25.8%
8	0403 脂質異常症	9,895,063	236	25.7%
9	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1,615,384	218	23.8%
10	0701 結膜炎	1,257,032	210	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【加納岩】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	31,227,313	542	32.6%
2	0402 糖尿病	25,469,834	472	28.4%
3	1113 その他の消化器系の疾患	22,953,196	468	28.1%
4	1006 アレルギー性鼻炎	6,321,709	458	27.5%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	5,009,842	456	27.4%
6	0703 屈折及び調節の障害	1,853,713	449	27.0%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,613,185	406	24.4%
8	0403 脂質異常症	16,201,767	391	23.5%
9	1003 その他の急性上気道感染症	2,561,505	379	22.8%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	6,205,373	377	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【日川】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0703 屈折及び調節の障害	1,170,421	271	29.8%
2	0901 高血圧性疾患	16,351,412	265	29.2%
3	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,454,278	254	27.9%
4	1006 アレルギー性鼻炎	3,302,058	251	27.6%
5	1003 その他の急性上気道感染症	1,387,674	246	27.1%
6	1113 その他の消化器系の疾患	13,432,692	245	27.0%
7	0402 糖尿病	13,057,652	238	26.2%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,355,226	235	25.9%
9	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1,701,825	232	25.5%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	2,727,726	230	25.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【山梨】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	26,365,593	454	38.8%
2	1113 その他の消化器系の疾患	13,099,164	390	33.4%
3	0403 脂質異常症	17,618,836	381	32.6%
4	0402 糖尿病	22,600,444	376	32.2%
5	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,132,927	364	31.1%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,432,589	350	29.9%
7	1006 アレルギー性鼻炎	4,241,141	344	29.4%
8	0703 屈折及び調節の障害	1,115,576	290	24.8%
9	0606 その他の神経系の疾患	9,515,450	284	24.3%
10	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1,645,239	275	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【八幡】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	17,150,976	328	36.9%
2	0901 高血圧性疾患	14,744,209	316	35.6%
3	1113 その他の消化器系の疾患	14,116,698	297	33.4%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,392,622	280	31.5%
5	0403 脂質異常症	11,132,090	262	29.5%
6	1006 アレルギー性鼻炎	3,624,270	245	27.6%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,372,150	231	26.0%
8	0703 屈折及び調節の障害	928,742	221	24.9%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	2,026,293	210	23.6%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	5,107,918	202	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【牧丘】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	25,320,916	528	37.3%
2	0901 高血圧性疾患	25,221,283	481	34.0%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,371,836	453	32.0%
4	1113 その他の消化器系の疾患	26,276,341	427	30.2%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,465,409	388	27.4%
6	0403 脂質異常症	15,022,410	386	27.3%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	3,786,562	331	23.4%
8	1006 アレルギー性鼻炎	3,922,036	330	23.3%
9	0606 その他の神経系の疾患	14,466,668	323	22.8%
10	0703 屈折及び調節の障害	1,388,453	313	22.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

岩手	日下部	後屋敷	加納岩	日川
山梨	八幡	牧丘	三富	その他

【三富】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	2,661,615	85	37.8%
2	0901 高血圧性疾患	4,214,372	83	36.9%
3	0402 糖尿病	2,525,797	75	33.3%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	915,953	69	30.7%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	760,515	66	29.3%
6	1006 アレルギー性鼻炎	880,362	63	28.0%
6	1202 皮膚炎及び湿疹	669,870	63	28.0%
8	0606 その他の神経系の疾患	3,516,583	60	26.7%
9	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	649,973	52	23.1%
10	0403 脂質異常症	2,018,895	51	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	629,585	15	53.6%
2	0402 糖尿病	973,850	13	46.4%
3	0603 てんかん	1,495,059	11	39.3%
3	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	739,260	11	39.3%
3	0606 その他の神経系の疾患	308,767	11	39.3%
6	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	53,499	10	35.7%
7	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	296,496	9	32.1%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	136,056	9	32.1%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,041	9	32.1%
10	0107 真菌症	110,427	8	28.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

2. 年度別 特定健康診査結果分析

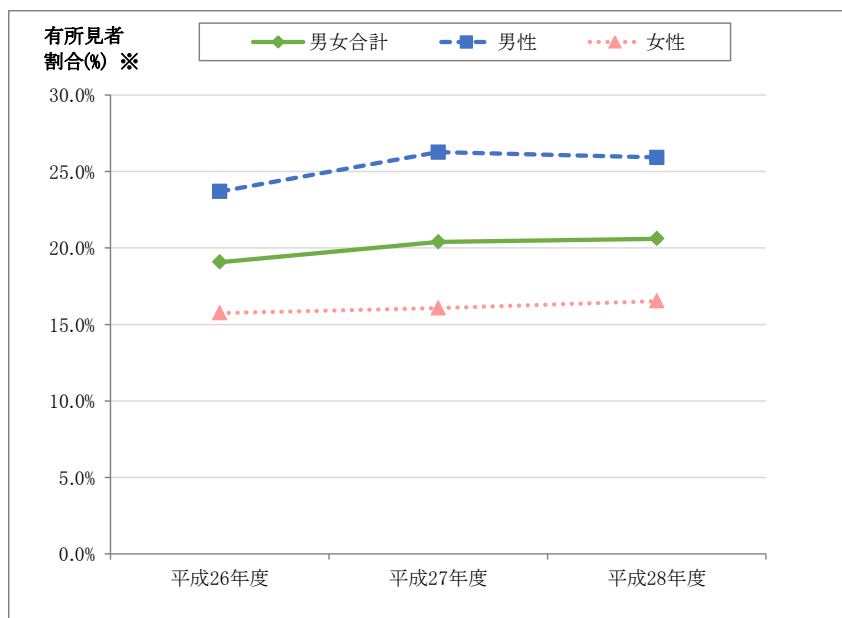
(1) 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	464	494	476
	有所見者割合(%) ※	19.1%	20.4%	20.6%
男性	対象者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	有所見者数(人) ※	241	270	260
	有所見者割合(%) ※	23.7%	26.3%	25.9%
女性	対象者数(人) ※	1,416	1,394	1,307
	有所見者数(人) ※	223	224	216
	有所見者割合(%) ※	15.7%	16.1%	16.5%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

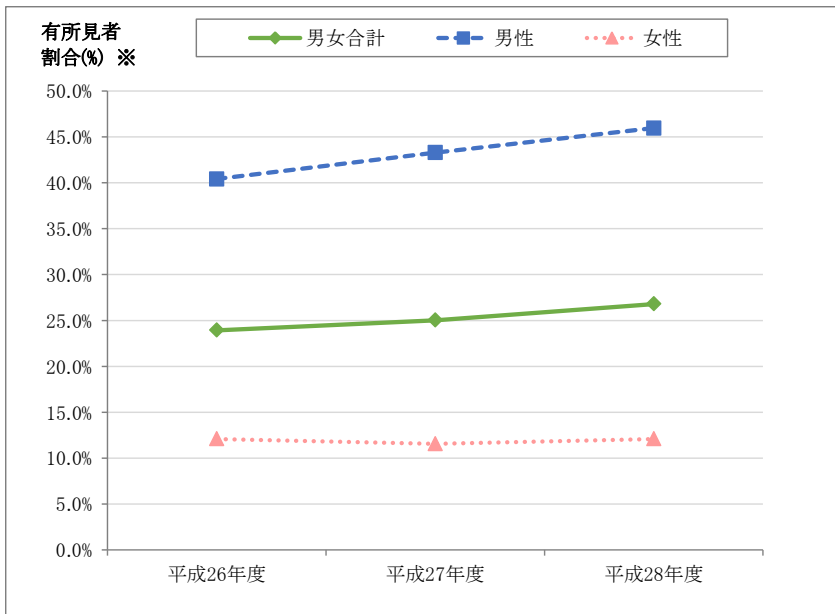
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,432	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	582	606	619
	有所見者割合(%) ※	23.9%	25.0%	26.8%
男性	対象者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	有所見者数(人) ※	411	445	461
	有所見者割合(%) ※	40.4%	43.3%	46.0%
女性	対象者数(人) ※	1,415	1,394	1,307
	有所見者数(人) ※	171	161	158
	有所見者割合(%) ※	12.1%	11.5%	12.1%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

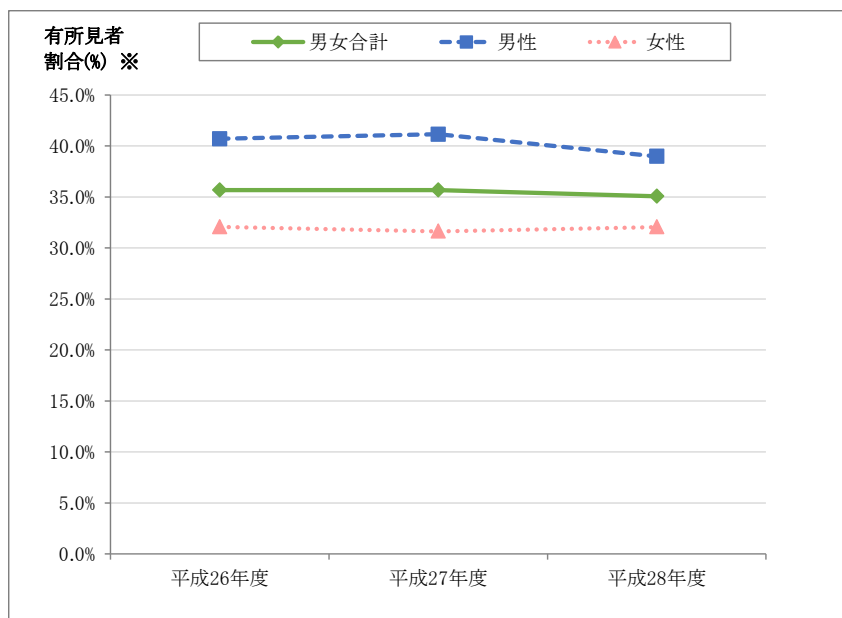
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	868	864	810
	有所見者割合(%) ※	35.7%	35.7%	35.1%
男性	対象者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	有所見者数(人) ※	414	423	391
	有所見者割合(%) ※	40.7%	41.1%	39.0%
女性	対象者数(人) ※	1,416	1,394	1,307
	有所見者数(人) ※	454	441	419
	有所見者割合(%) ※	32.1%	31.6%	32.1%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

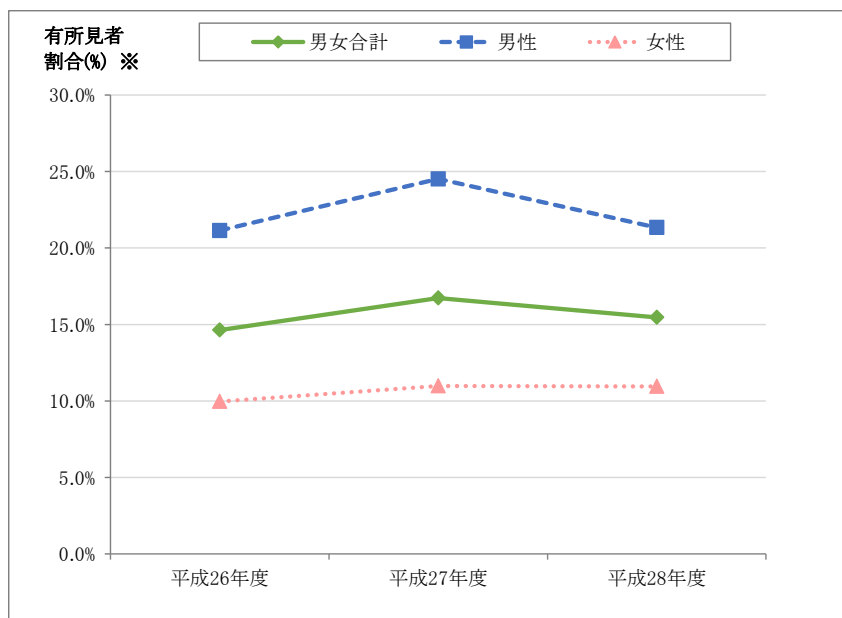
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	356	405	357
	有所見者割合(%) ※	14.6%	16.7%	15.5%
男性	対象者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	有所見者数(人) ※	215	252	214
	有所見者割合(%) ※	21.1%	24.5%	21.3%
女性	対象者数(人) ※	1,416	1,394	1,307
	有所見者数(人) ※	141	153	143
	有所見者割合(%) ※	10.0%	11.0%	10.9%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

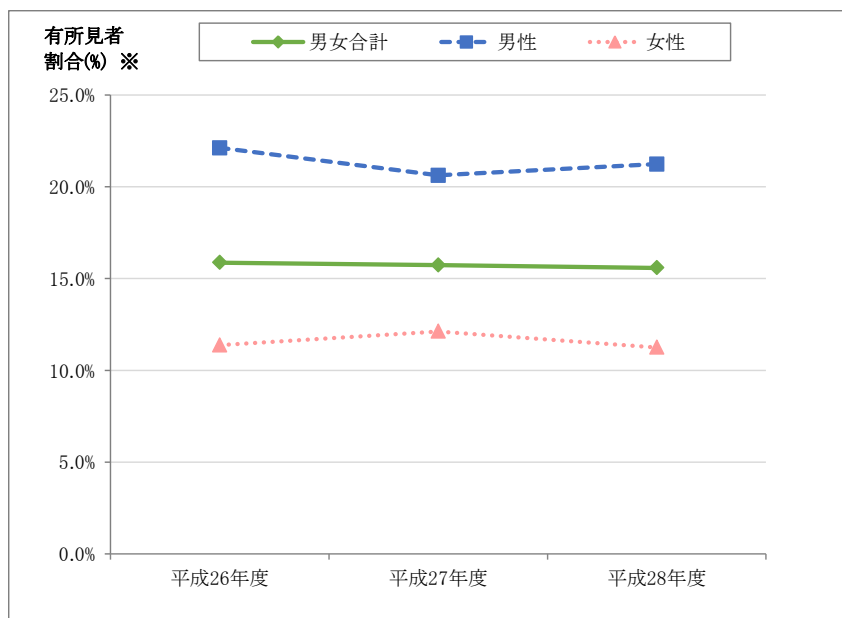
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	386	381	360
	有所見者割合(%) ※	15.9%	15.7%	15.6%
男性	対象者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	有所見者数(人) ※	225	212	213
	有所見者割合(%) ※	22.1%	20.6%	21.2%
女性	対象者数(人) ※	1,416	1,394	1,307
	有所見者数(人) ※	161	169	147
	有所見者割合(%) ※	11.4%	12.1%	11.2%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

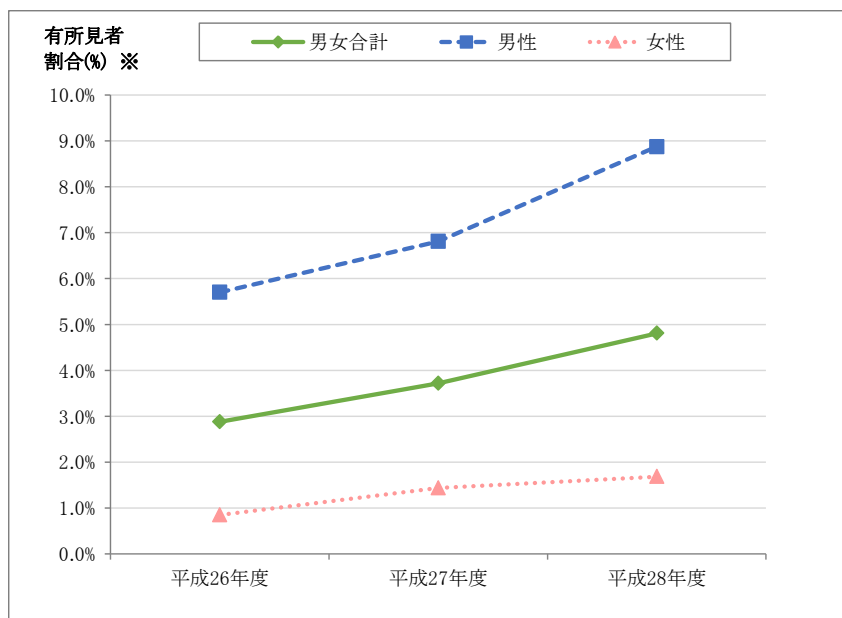
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	70	90	111
	有所見者割合(%) ※	2.9%	3.7%	4.8%
男性	対象者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	有所見者数(人) ※	58	70	89
	有所見者割合(%) ※	5.7%	6.8%	8.9%
女性	対象者数(人) ※	1,416	1,394	1,307
	有所見者数(人) ※	12	20	22
	有所見者割合(%) ※	0.8%	1.4%	1.7%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

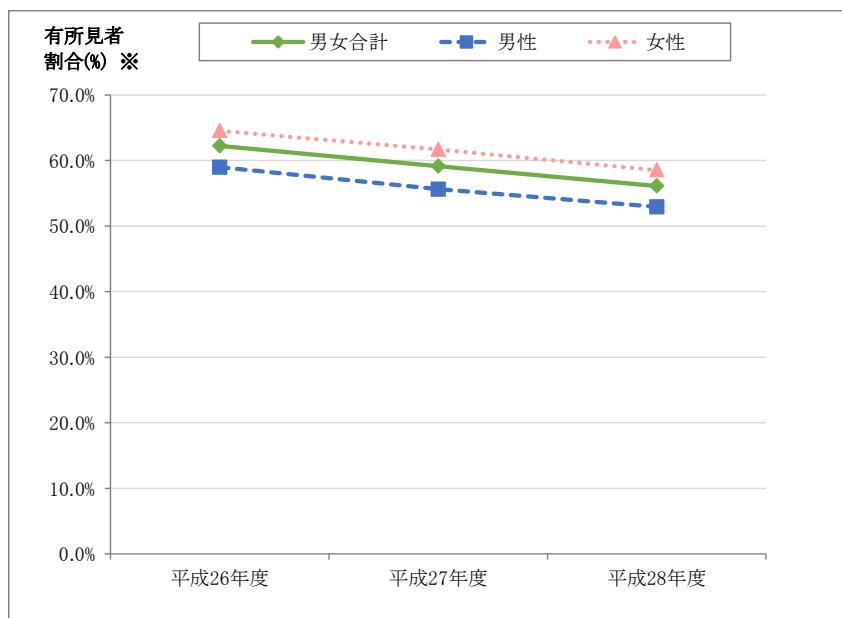
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	有所見者数(人) ※	1,514	1,432	1,296
	有所見者割合(%) ※	62.2%	59.1%	56.1%
男性	対象者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	有所見者数(人) ※	600	572	531
	有所見者割合(%) ※	59.0%	55.6%	52.9%
女性	対象者数(人) ※	1,416	1,394	1,307
	有所見者数(人) ※	914	860	765
	有所見者割合(%) ※	64.5%	61.7%	58.5%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

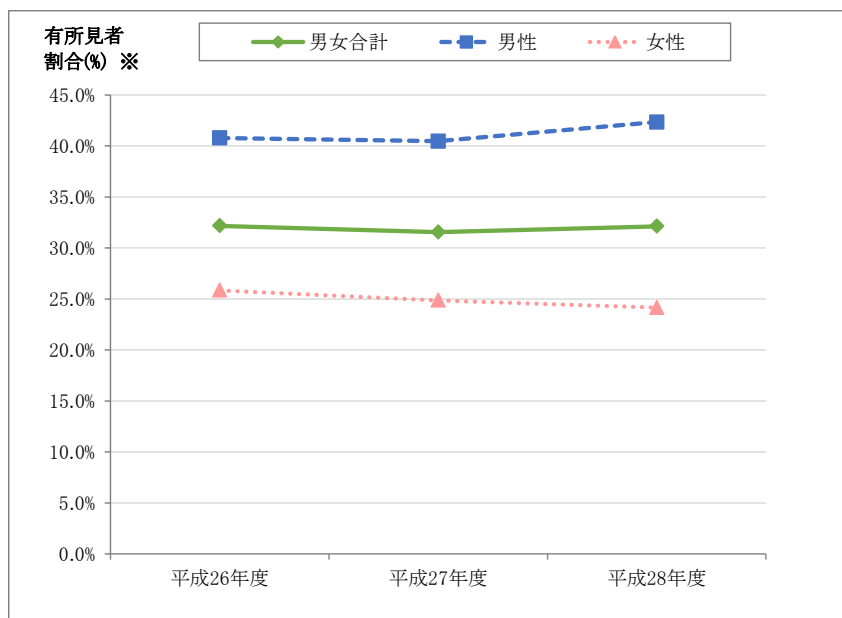
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,269	2,266	2,195
	有所見者数(人) ※	730	715	705
	有所見者割合(%) ※	32.2%	31.6%	32.1%
男性	対象者数(人) ※	961	971	961
	有所見者数(人) ※	392	393	407
	有所見者割合(%) ※	40.8%	40.5%	42.4%
女性	対象者数(人) ※	1,308	1,295	1,234
	有所見者数(人) ※	338	322	298
	有所見者割合(%) ※	25.8%	24.9%	24.1%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

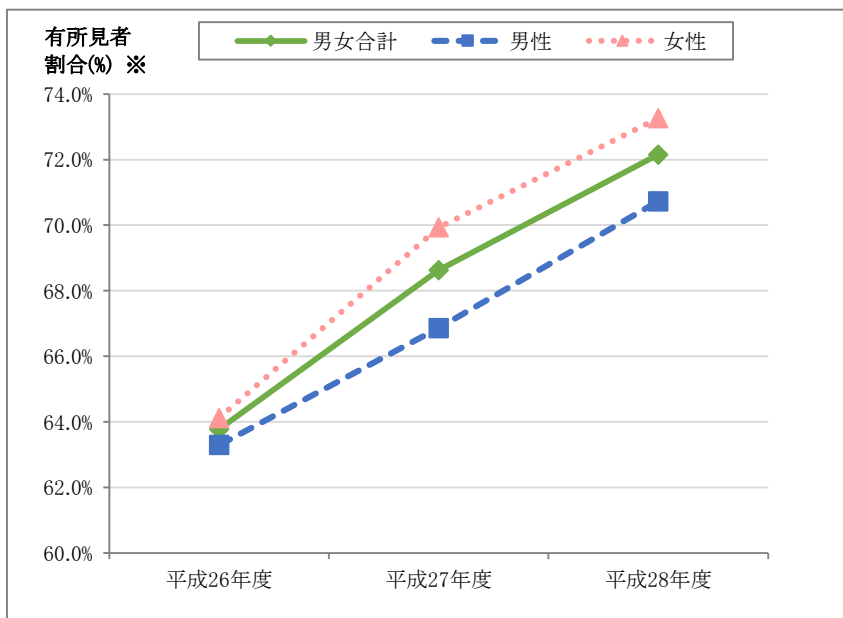
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,407	2,413	2,295
	有所見者数(人) ※	1,535	1,656	1,656
	有所見者割合(%) ※	63.8%	68.6%	72.2%
男性	対象者数(人) ※	1,008	1,026	1,001
	有所見者数(人) ※	638	686	708
	有所見者割合(%) ※	63.3%	66.9%	70.7%
女性	対象者数(人) ※	1,399	1,387	1,294
	有所見者数(人) ※	897	970	948
	有所見者割合(%) ※	64.1%	69.9%	73.3%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

(2) 質問別回答状況

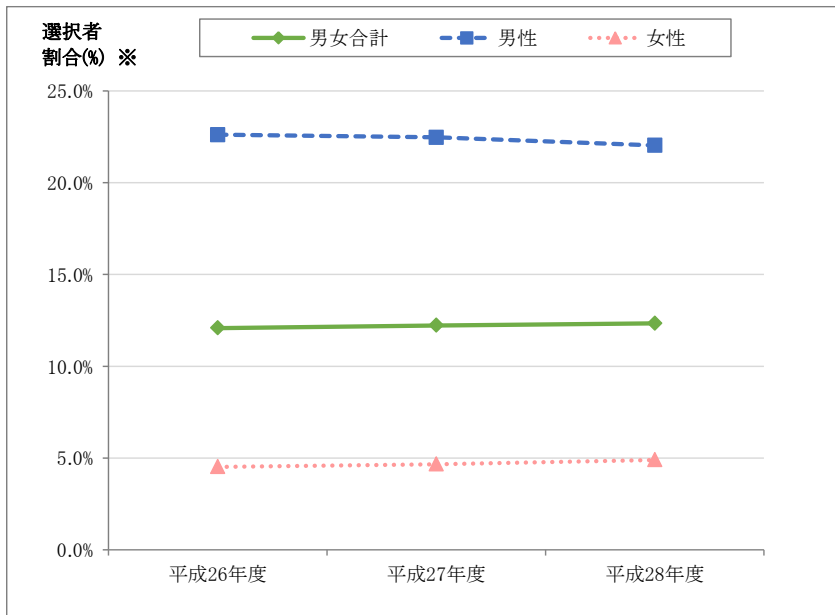
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,433	2,422	2,310
	選択者数(人) ※	294	296	285
	選択者割合(%) ※	12.1%	12.2%	12.3%
男性	質問回答者数(人) ※	1,017	1,028	1,003
	選択者数(人) ※	230	231	221
	選択者割合(%) ※	22.6%	22.5%	22.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,416	1,394	1,307
	選択者数(人) ※	64	65	64
	選択者割合(%) ※	4.5%	4.7%	4.9%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

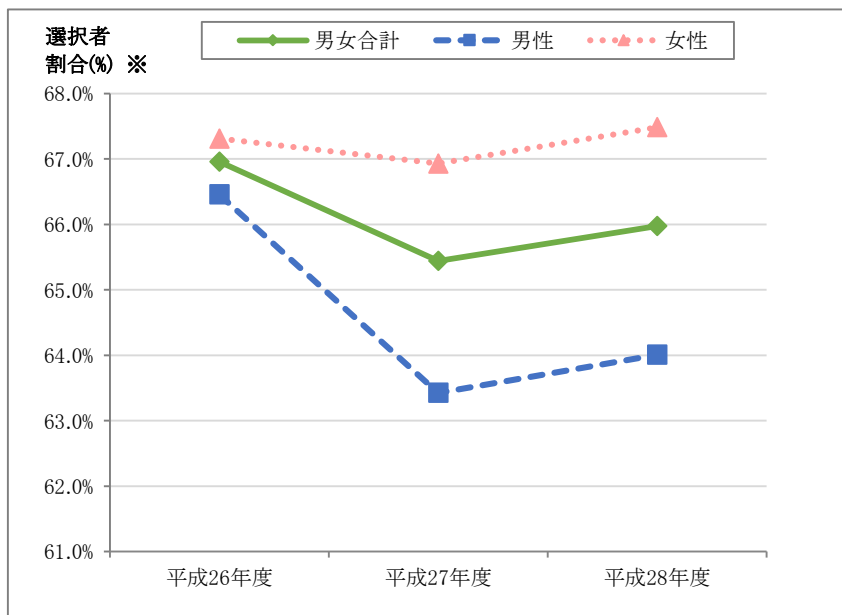
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,294	2,422	2,310
	選択者数(人) ※	1,536	1,585	1,524
	選択者割合(%) ※	67.0%	65.4%	66.0%
男性	質問回答者数(人) ※	948	1,028	1,003
	選択者数(人) ※	630	652	642
	選択者割合(%) ※	66.5%	63.4%	64.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,346	1,394	1,307
	選択者数(人) ※	906	933	882
	選択者割合(%) ※	67.3%	66.9%	67.5%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

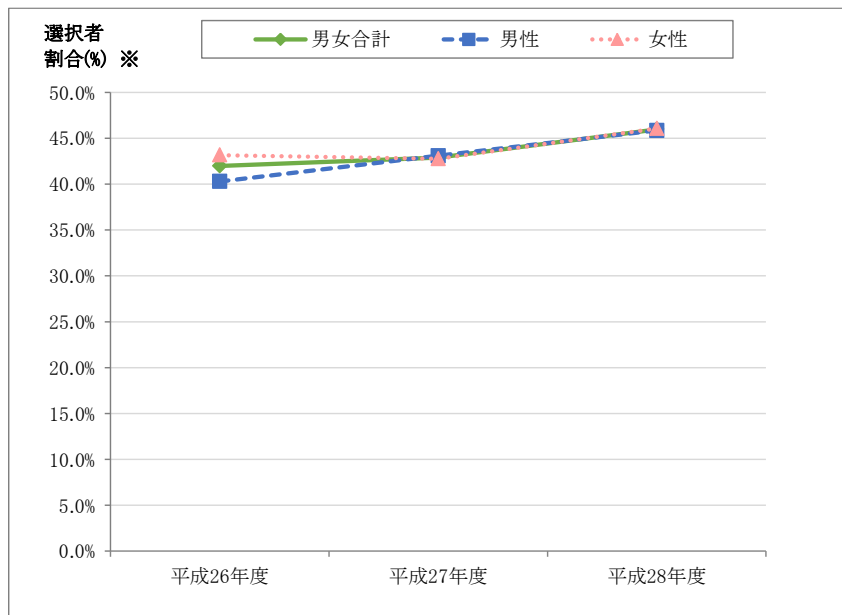
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,294	2,422	2,310
	選択者数(人) ※	963	1,039	1,062
	選択者割合(%) ※	42.0%	42.9%	46.0%
男性	質問回答者数(人) ※	948	1,028	1,003
	選択者数(人) ※	382	443	460
	選択者割合(%) ※	40.3%	43.1%	45.9%
女性	質問回答者数(人) ※	1,346	1,394	1,307
	選択者数(人) ※	581	596	602
	選択者割合(%) ※	43.2%	42.8%	46.1%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

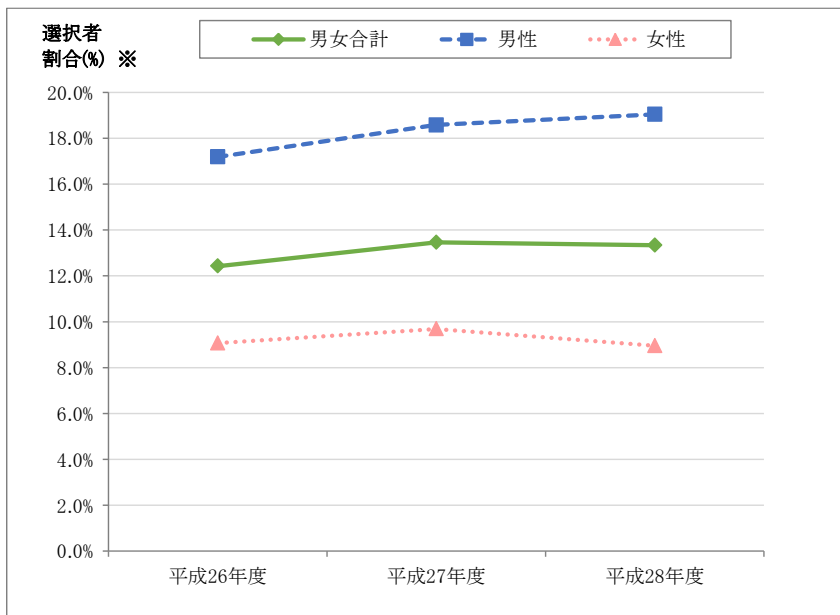
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,294	2,422	2,310
	選択者数(人) ※	285	326	308
	選択者割合(%) ※	12.4%	13.5%	13.3%
男性	質問回答者数(人) ※	948	1,028	1,003
	選択者数(人) ※	163	191	191
	選択者割合(%) ※	17.2%	18.6%	19.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,346	1,394	1,307
	選択者数(人) ※	122	135	117
	選択者割合(%) ※	9.1%	9.7%	9.0%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

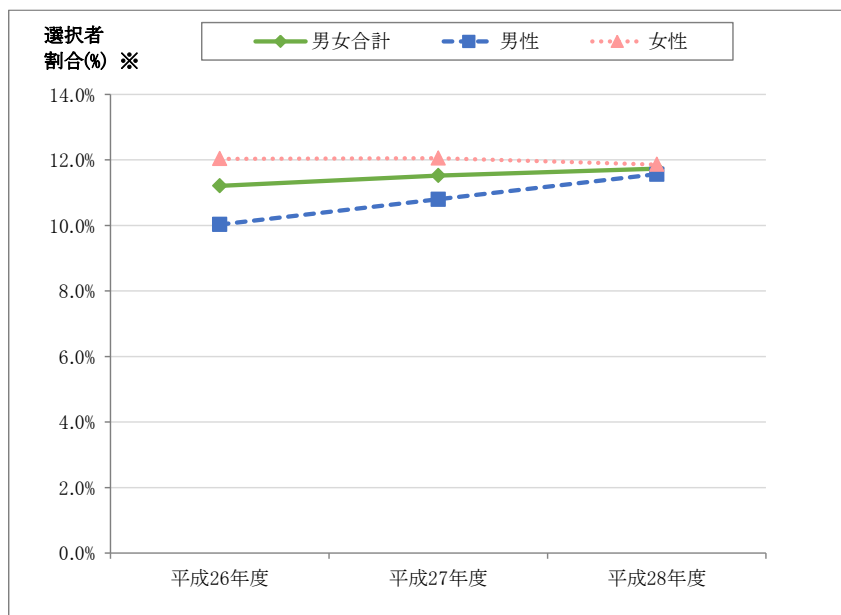
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,293	2,422	2,310
	選択者数(人) ※	257	279	271
	選択者割合(%) ※	11.2%	11.5%	11.7%
男性	質問回答者数(人) ※	947	1,028	1,003
	選択者数(人) ※	95	111	116
	選択者割合(%) ※	10.0%	10.8%	11.6%
女性	質問回答者数(人) ※	1,346	1,394	1,307
	選択者数(人) ※	162	168	155
	選択者割合(%) ※	12.0%	12.1%	11.9%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

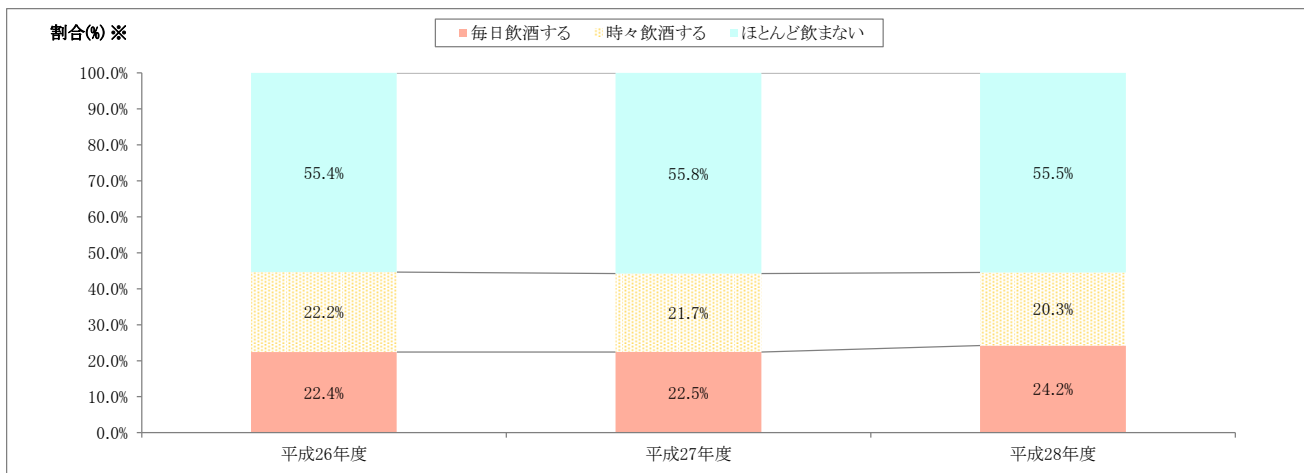
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,294	514	22.4%	510	22.2%	1,270	55.4%
平成27年度	2,421	544	22.5%	526	21.7%	1,351	55.8%
平成28年度	2,309	559	24.2%	469	20.3%	1,281	55.5%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

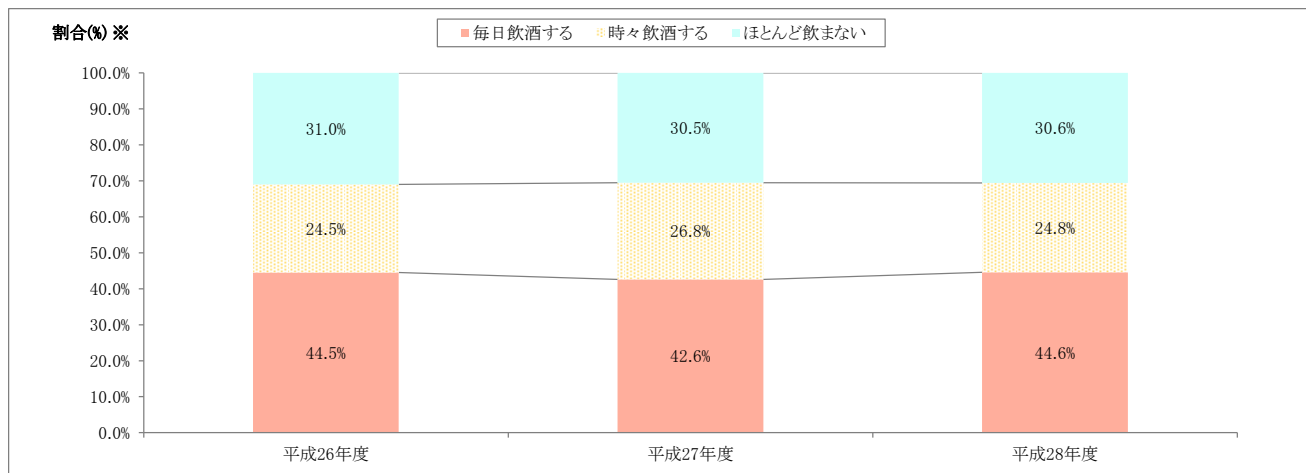
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	948	422	44.5%	232	24.5%	294	31.0%
平成27年度	1,028	438	42.6%	276	26.8%	314	30.5%
平成28年度	1,003	447	44.6%	249	24.8%	307	30.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

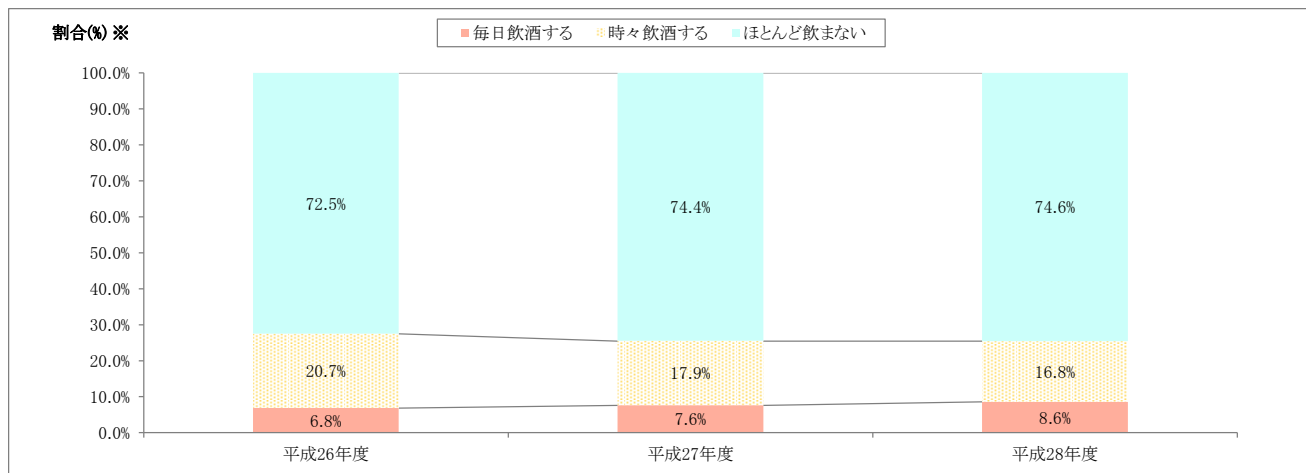
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,346	92	6.8%	278	20.7%	976	72.5%
平成27年度	1,393	106	7.6%	250	17.9%	1,037	74.4%
平成28年度	1,306	112	8.6%	220	16.8%	974	74.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

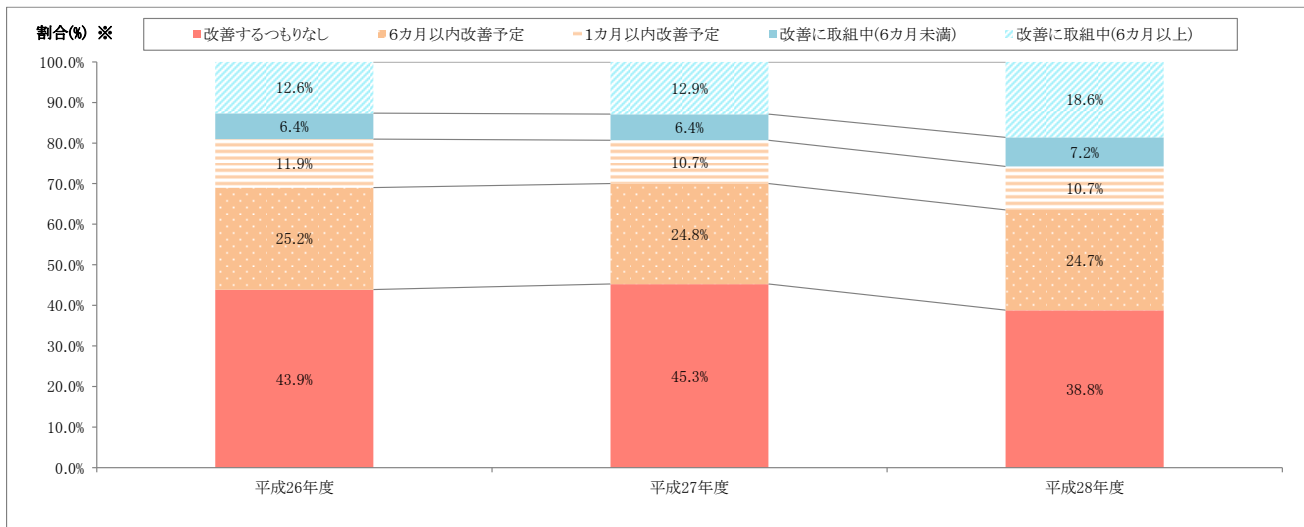
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,294	1,006	43.9%	578	25.2%	274	11.9%
平成27年度	2,422	1,096	45.3%	600	24.8%	259	10.7%
平成28年度	2,309	896	38.8%	571	24.7%	247	10.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,294	146	6.4%	290	12.6%
平成27年度	2,422	155	6.4%	312	12.9%
平成28年度	2,309	166	7.2%	429	18.6%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

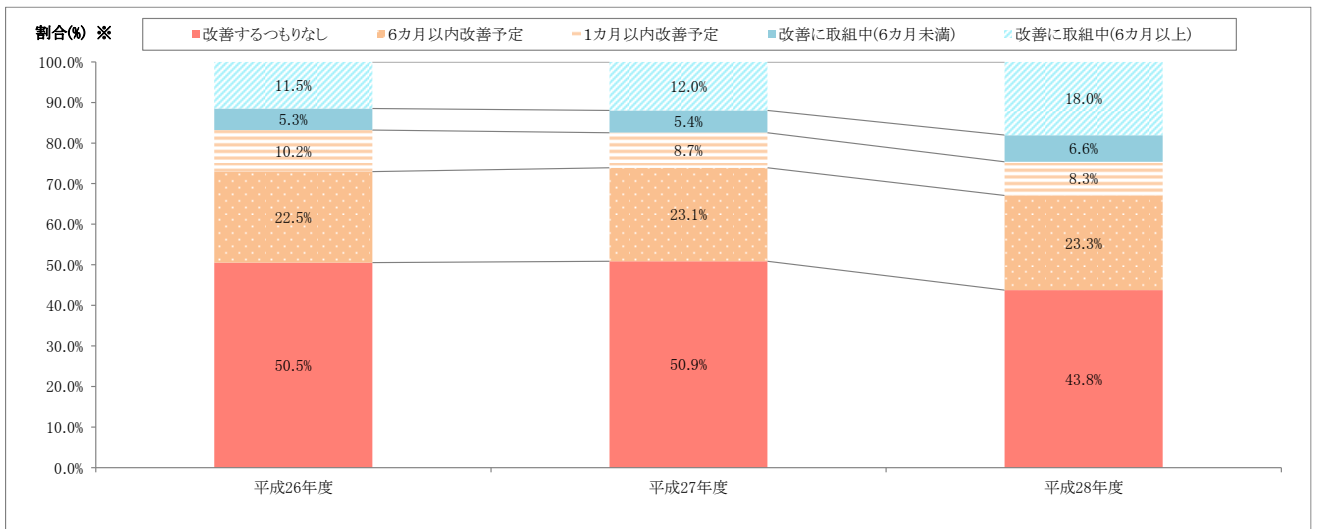
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	948	479	50.5%	213	22.5%	97	10.2%
平成27年度	1,028	523	50.9%	237	23.1%	89	8.7%
平成28年度	1,003	439	43.8%	234	23.3%	83	8.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	948	50	5.3%	109	11.5%
平成27年度	1,028	56	5.4%	123	12.0%
平成28年度	1,003	66	6.6%	181	18.0%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

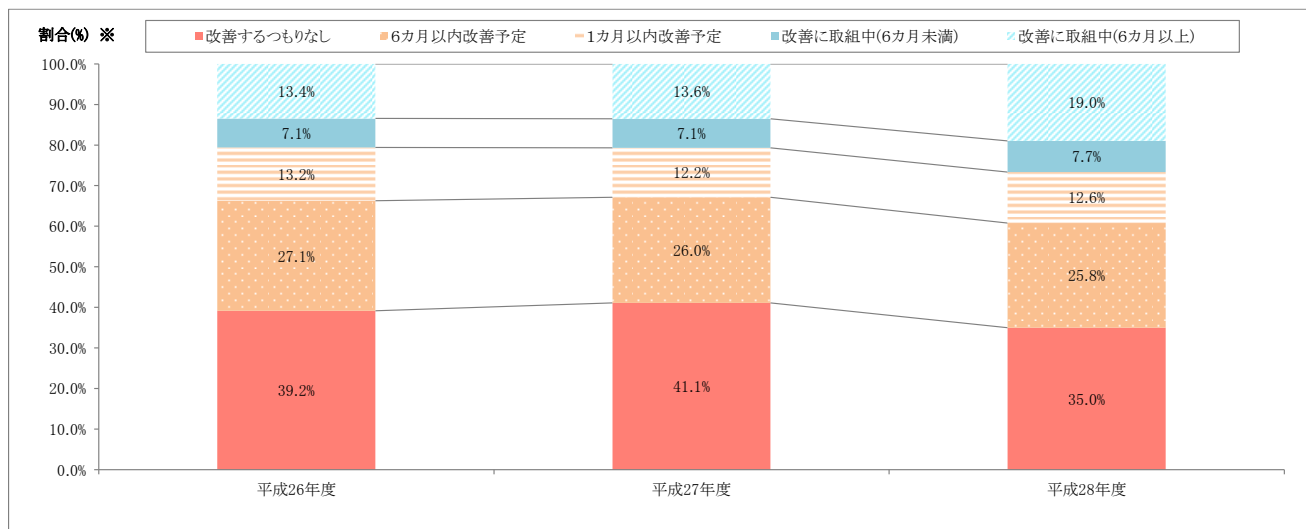
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,346	527	39.2%	365	27.1%	177	13.2%
平成27年度	1,394	573	41.1%	363	26.0%	170	12.2%
平成28年度	1,306	457	35.0%	337	25.8%	164	12.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,346	96	7.1%	181	13.4%
平成27年度	1,394	99	7.1%	189	13.6%
平成28年度	1,306	100	7.7%	248	19.0%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

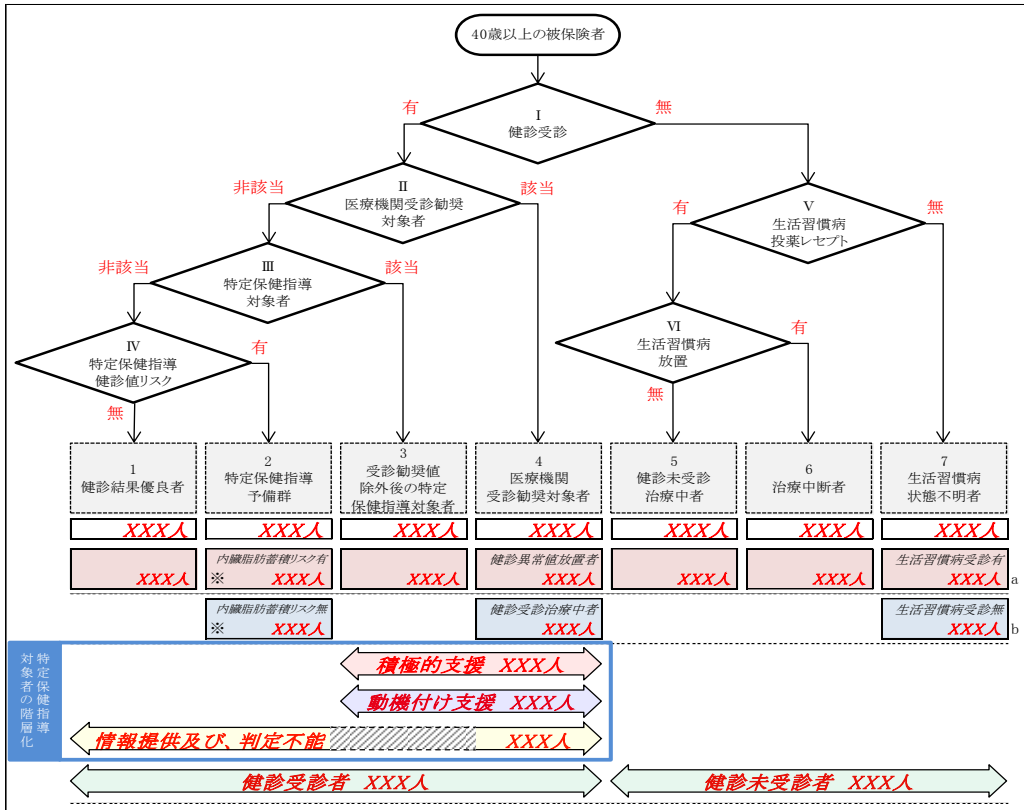
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 健診異常値放置者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

4. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わせたり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

5. 疾病分類

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	咽喉炎	急性咽喉炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

山梨市国民健康保険
第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画
発行日 平成30年3月
編集 山梨市
〒405-8501
発行者 TEL 0553-22-1111
FAX 0553-23-2800
URL <http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp>